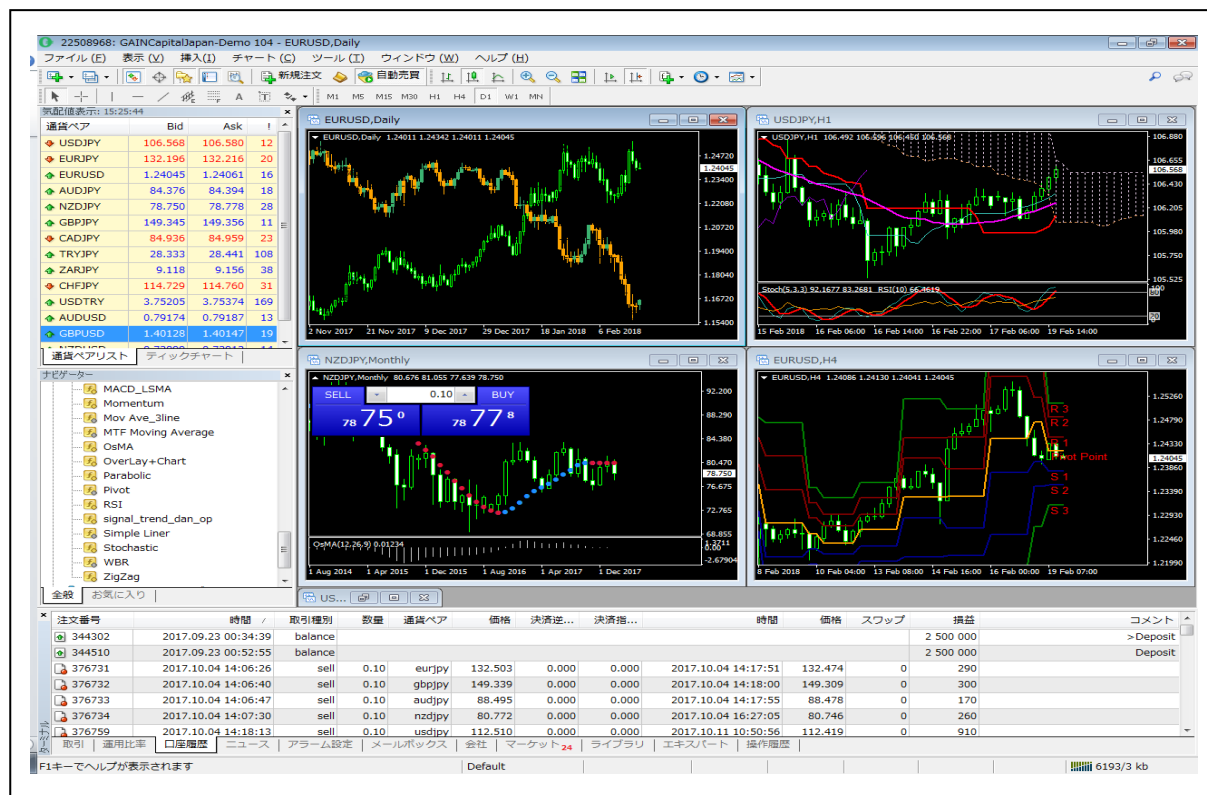


で始めるFX

操作マニュアル



投資にかかる手数料およびリスクなどについて

【お取引に関する注意事項】

・当社の外国為替証拠金取引（FX 取引）及びオプション取引（以下、両取引を「取引」といいます。）は、元本および収益が保証されているものではありません。FX 取引はレバレッジを利用して取引代金に比較して少額の証拠金で取引を行うために、相場の変動による価格変動やスワップポイントの変動により、思わぬ損失が発生する場合があります。取引に必要な証拠金は、個人の場合は売買代金の 4%、法人の場合は金融先物取引業協会が算出した通貨ごとの為替リスク想定比率を取引の額に乗じて得た額（＝法定レバレッジで計算した必要証拠金額）以上の証拠金額が必要となります。但し、リスク管理のため、特定の通貨には上記より高い証拠金率（＝低いレバレッジ）が適用されています。オプション取引の場合、予測と反対方向に外国為替市場が動き原資産価格がロックアウトレベルに達すると価値はゼロとなります。想定した前提と異なる場合、口座残高がマイナスとなるリスクがあります。（詳しくは当社 HP をご確認ください）。

・両取引は、相場の急変時や週初めの取引開始時等に、ロスカット、注文形態、価格配信の停止・再開により発注レートと約定レートが大きく乖離したり、停止時と再開時の配信価格にギャップが生じる等の理由で預託証拠金以上の損失が生じる可能性があります。

・両取引の前に「店頭デリバティブ取引に係るご注意」「お取引前の重要説明事項」「顧客取引契約書」等の規程、約款、マニュアルを必ず熟読し、取引の内容、危険性等をご理解いただいた上で、ご自身の判断と責任にてお取引ください。各書類につきましては当社ウェブサイトのダウンロードセンターをご確認ください。

・取引手数料は無料ですが、当社が提示するレートには、買値と売値に差（スプレッド）があります。主要国政策金利の極端な変更や雇用統計など重要経済指標の発表前後、為替市場の流動性が著しく低下した場合（年末年始・クリスマス時期など）や相場急変時（震災などの天変地異や戦争など）においては、スプレッドが拡大することがあります。

・市場環境の急激な変化、パソコンの不具合、ネットワークの不具合、システム障害等、予期せぬ事象の発生などにより、取引ができなくなることおよび損失が生じる場合があります。

◆当社の概要

商号等：StoneX証券株式会社（StoneX Securities Co., Ltd.）
金融商品取引業：関東財務局長（金商）第291号
加入協会：一般社団法人 金融先物取引業協会 会員番号1539
HP：<https://www.forex.com/jp/>

◆苦情相談窓口

StoneX証券株式会社 クライアントサービス
受付時間：平日 9:00～17:00
夜間対応：平日 17:00～翌1:30（混雑時など対応が難しい場合もございます。
恐れ入りますがあらかじめご了承ください）

◆指定紛争解決機関

<外国為替証拠金取引>
証券・金融商品あっせん相談センター
東京都中央区日本橋茅場町2-1-1 第二証券会館
電話：0120-64-5005 月曜-金曜（祝祭日を除く 9:00-17:00）

◆取引時間

米国夏時間（日本時間 月曜朝6:00～土曜朝6:00）
米国冬時間（日本時間 月曜朝7:00～土曜朝7:00）

MetaTrader 4 の動作環境について

OS	Windows 7/8/10/11	○
	Mac OS	×
通信環境	ブロードバンド以上	
プロセッサ (CPU)	マルチコア CPU 3.0GHz 以上	
メインメモリ (RAM)	512MB 以上 (推奨: 1GB 以上)	
ハードディスク空き容量	約 100MB 以上	
ディスプレイ解像度	1024 × 768 以上 (1280 × 1024 推奨)	

FOREX.com の MetaTrader 4 でできること

MetaTrader 4は、MetaQuotes Software社が開発したFX取引ソフトウェアです。

次のような優れた機能を備えるため、MetaTrader 4は世界中の投資家に選ばれ、広く支持されています。※FOREX.com MT4 Web はEAや外部プログラムはご利用になれません。また、ダウンロード版と比較すると、使用できる機能が限定されておりますのでご注意ください。

1,000 通貨から取引できるので資金効率が高い

MetaTrader 4で取引できる会社は他にもありますが、FOREX.comでは1,000通貨から取引できます。少ない証拠金で取引できるため、高い資金効率を実現できます。

クイック入金でチャンスを逃さない

証拠金が不足していると、取引のチャンスが到来したときに大きな取引を行えません。口座振込で入金しても取引口座に反映されるまで時間がかかるため、取引のチャンスを逃しかねません。しかし、FOREX.comには「クイック入金」があるため、証拠金を即座に追加でき、取引のチャンスを逃しません。さらに、クイック入金は振込手数料が無料です。

デモ口座を使って経験を積める

MetaTrader 4では、いくつでも、何度でもデモ口座を作ることができます。デモ口座を使った疑似取引は、実際の口座を使った取引と何も変わりません。MetaTrader 4の使い方を学ぶだけでなく、資金を使わずにFX取引の経験を積むことができます。なお、デモ口座の有効期限は60日間です。口座ごとにメールアドレスを変更してご登録ください。

チャートを使って為替の動向を分析できる

MetaTrader 4は高度なチャートソフトです。あらかじめ用意された30種類以上のテクニカルインディケーターで様々なチャートを作り、為替の動向を分析できます。さらに、世界中の投資家が開発したインディケーターを追加して、思い通りにチャートを作成できます。

チャートに基づいて FX 取引できる

MetaTrader 4のチャート機能があまりに優れているため、チャート専用ソフトと誤解する人もいます。しかし、MetaTrader 4は優れたFX取引ソフトでもあります。作成したチャートに基づいて取引できます。

自動的に取引できる

世界中の投資家がMetaTrader 4用の自動売買プログラム(EA: Expert Advisor)を開発しています。これを追加することで、MetaTrader 4に自動的にFX取引させることができます。日中や寝ているときなどチャートを見られない時間帯でも、取引のチャンスを逃がしません。

目次

第1章 取引前の準備

MetaTrader 4 をインストールする.....	6
MetaTrader 4 をアップデートする.....	7
MetaTrader 4 をアンインストールする.....	7
デモ口座を開設する.....	8
取引用サーバーにログインする.....	9
複数の口座を使い分ける.....	11
MetaTrader 4 の画面と役割.....	13

第2章 取引(売買)する

取引の流れ.....	14
新規注文する.....	15
カウントダウン注文する.....	15
指値または逆指値で注文する [Limit / Stop].....	16
新規注文と同時に決済注文を設定する [イフダン注文].....	18
決済逆指値を相場に連動させる [トレイリング・ストップ].....	19
決済注文する.....	20
カウントダウンで決済注文する.....	20
指値または逆指値で決済注文する.....	20
決済逆指値を相場に連動させる [トレイリング・ストップ].....	21
注文を変更または取り消す.....	22
新規注文を変更または取り消す.....	22
決済指値や決済逆指値を変更または取り消す.....	22
注文/ポジション/履歴などを確認する.....	24
注文/ポジション/口座情報を確認する [取引].....	24
取引結果を確認する [口座履歴].....	25
その他の情報を見る [アラーム設定/メールボックス/操作履歴].....	25

第3章 為替の動向を予想・分析する

通貨ペアのチャートを表示する.....	26
チャートの通貨ペアを変更する.....	26
チャートを増やす.....	26
チャートから為替の動向を予想する.....	27
チャートの表示方法を変更する.....	27
テクニカルインディケーターを使う [罫線分析ツール].....	28
チャートをカスタマイズして分析する.....	30
トレンドライン／等距離幅チャネルを引く.....	30
フィボナッチリトレースメントを引く.....	31
テキストや矢印などを挿入する.....	32
チャートの状態を保存する.....	33
チャートの組み合わせに名前を付けて切り替える [組表示].....	33
チャートの表示設定を別のチャートに適用する [定型].....	34
チャートの内容をほかのソフトで使う.....	35
チャートを画像として保存する.....	35
チャートをデータとして保存する.....	36

第4章 自動的に売買する

自動売買するまでの流れ.....	37
EA ファイルをインストールする(Build600 未満).....	37
過去の相場データでテストする [Strategy Tester].....	38
バックテストを開始する.....	38
バックテストの結果を評価する.....	39
EA のパラメーターを調整する.....	41
周期設定を変更する.....	41
EA のパラメーターを変更する.....	41
EA のパラメーターを自動的に変更する [最適化].....	42
自動売買を実行する [Expert Advisors].....	45
自動売買を準備する.....	45
自動売買を開始する.....	45
テクニカルインディケーターや EA ファイルを作る.....	48
MetaEditor を起動する.....	48
カスタムインディケーターを確認する.....	48

第5章 ライブ口座に入金する

実際の口座を開設する.....	49
Web のマイアカウントでできること.....	50
マイアカウントにログインする.....	50
オンラインで入金する [クイック入金].....	51
オンラインで出金する[出金依頼].....	53
登録情報を変更する [登録情報].....	54
リサーチ情報やニュースを読む.....	55
リサーチ情報を読む.....	55

第6章 付録

よくあるご質問.....	56
メニュー索引.....	57
ツールバー索引.....	59
用語索引.....	60
MetaTrader 4 ショートカットキー一覧.....	61

第1章 取引前の準備

MetaTrader 4をインストールする

MetaTrader 4で取引をするには、お使いのPCにMetaTrader 4をインストールする必要があります。MetaTrader 4をインストールしていない場合は、ダウンロードセンターのページからインストールしてください。



① ブラウザのURL欄に次のURLを入力
<https://www.forex.com/jp/>

② Enterキーを押す
FOREX.comのサイトが表示されます。

③ [デモ口座開設] をクリック
[無料デモ取引口座申込み]ページが表示されます。

④ MetaTrader 4の[デモ口座申し込みはこちら]をクリック

[MetaTrader 4無料デモ口座申込]画面が表示されます。



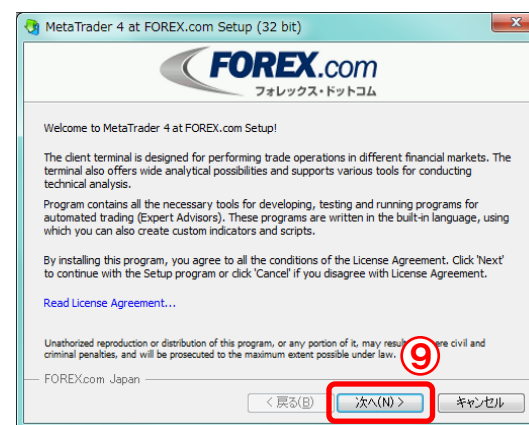
⑤ [デモ口座開設お申し込みフォーム] 内に入力

⑥ [MetaTrader 4ダウンロード] をクリック
次の画面が表示されます。



⑦ [ダウンロード] をクリック
実行か保存かを選ぶ画面が表示されます。

⑧ [実行] をクリック
インストールの準備が完了するまで、しばらく待ちます。



⑨ [次へ] をクリック
画面の指示に従います。

□ インストールが完了すると、MetaTrader 4が起動し、デモ口座の申請画面が表示されます。
➡ P.8

MetaTrader 4をインストールする

[セキュリティの警告] 画面が表示されたら

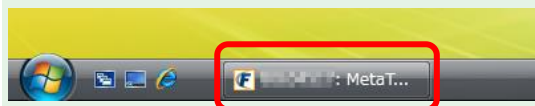
[実行]または[開く]をクリックしてください。

[ユーザーアカウント制御] 画面が表示されたら

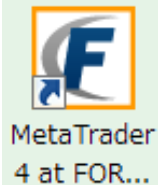
[続行]または[はい]をクリックしてください。

MetaTrader 4 が起動しないときは

タスクバーを確認してください。

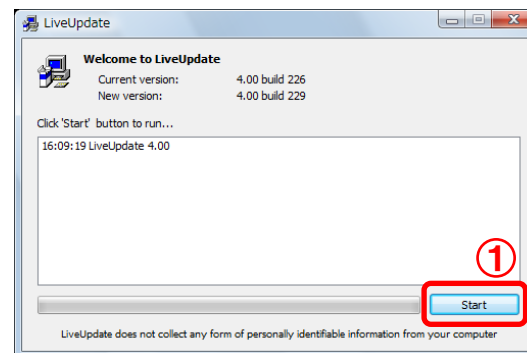


タスクバーにないときは、デスクトップの[MetaTrader 4 at FOREX.com]アイコンをダブルクリックして起動します。



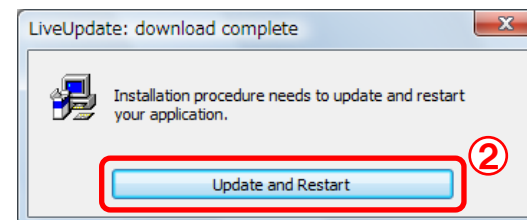
MetaTrader 4をアップデートする

[LiveUpdate]画面が表示されたときは、次の操作でMetaTrader 4を最新版にアップデートします。



① [Start] をクリック

アップデートが完了するまで、しばらく待ちます。



② [Update and Restart] をクリック

MetaTrader 4が終了し、再び起動します。

MetaTrader 4をアンインストールする

Windowsのコントロールパネルの[プログラムのアンインストールまたは変更]を開き、[MetaTrader 4 at FOREX.com]を選択し、[アンインストールと変更]をクリックします。

デモ口座を開設する

MetaTrader 4をはじめて起動すると、「デモ口座の申請」画面が表示されます。
MetaTrader 4の操作に慣れるため、まずはデモ口座を使って取引を練習することをおすすめします。2021年3月現在、MT4からのデモ口座申請は受け付けておりません。当社ウェブサイトよりデモ申請をお願いいたします。

① 必要事項を入力し、「貴社からの…」にチェック(✓)を入れる

- ☐ 必要事項に空欄が残っていると、次の画面に進めません。
- ☐ レバレッジは「1:25」のまま変更しません。

② [次へ] をクリック

③ [次へ] をクリック

- ☐ [次へ]が薄く表示される場合は、先に[Scan]をクリックします。

④ [完了] をクリック

- ☐ 画面に表示されるログインID、パスワード、Investorは、MetaTrader 4の[メールボックス]に通知されます。
→ P.9

[LiveUpdate] 画面が表示されたら

[Start]をクリックしてください。

→ P.7

新しいデモ口座を開設するとき

ファイルメニューの[デモ口座の申請]を選ぶと、新しいデモ口座を開設できます。
デモ口座の有効期限(60日間以内)が切れたときや、複数のデモ口座を使うときに行ってください。

実際の口座(ライブ口座)を開設するとき

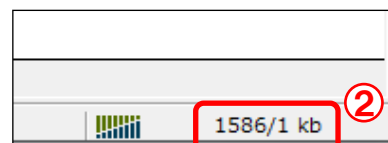
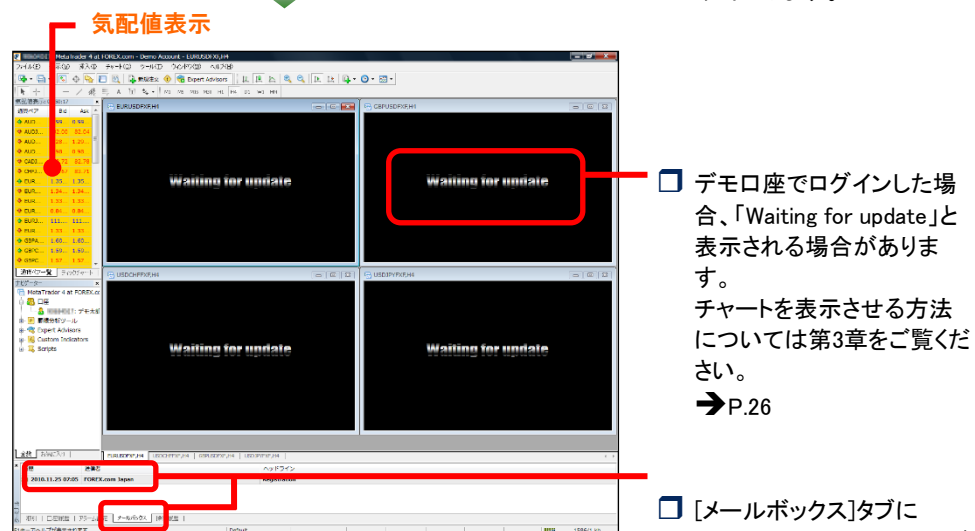
FOREX.comの[口座申込み]ページで、[MetaTrader 4口座開設]をクリックします。

→ 第5章 P.46

取引用サーバーにログインする

れていることを確認

MetaTrader 4を起動すると、取引用サーバーに自動的にログインし、取引できる状態になります。



取引用サーバーにログインする

「回線不通！」と表示されたときは

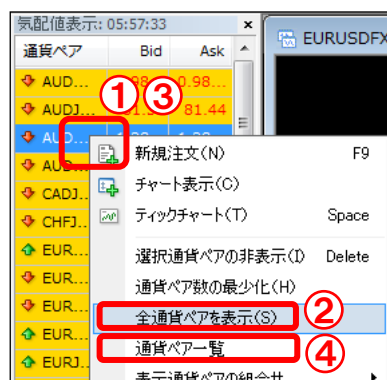
取引用サーバーに接続されていません。パソコンがインターネットに接続できるように設定してください。

複数の口座を開設したときは、ログインIDとパスワードの入力、取引用サーバーの選択をご確認ください。

→P.11

表示する通貨ペアを変更する

[気配値表示](左図参照)には、一部の通貨ペアだけが表示されています。はじめて使うときは、必要な通貨ペアを表示するために、次の操作を行います。



① [気配値表示] をマウスの右ボタンでクリック(右クリック)

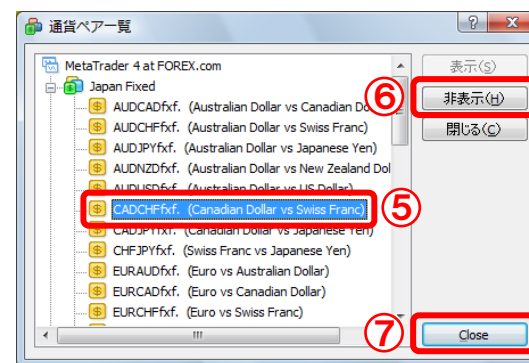
ポップアップメニューが表示されます。

② [全通貨ペアを表示] をクリック

[気配値表示]にすべての通貨ペアが表示されます。

③ [気配値表示] を右クリック

④ [通貨ペア一覧] をクリック



⑤ 不要な通貨ペアをクリック

⑥ [非表示] をクリック

選択した通貨ペアが[通貨ペア一覧]画面から消えます。

☐ 不要な通貨ペアがすべて消えるまで、手順⑤～手順⑥を繰り返します。

⑦ [Close] をクリック

必要な通貨ペアだけが、[気配値表示]に表示されます。

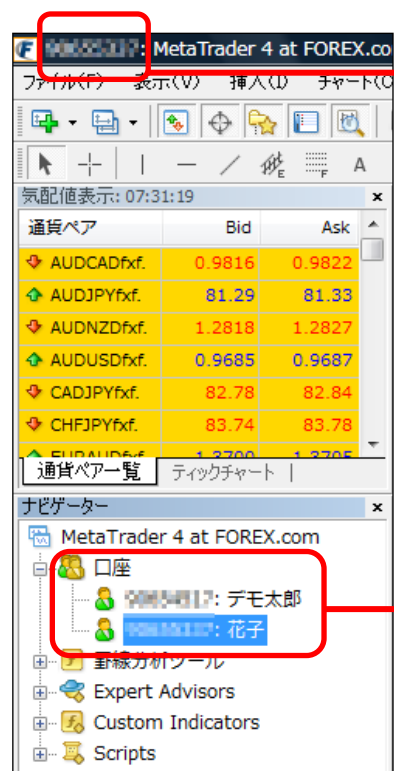
取引用サーバーからログアウトするとき

ファイルメニューの[プログラムの終了]をクリックして、MetaTrader 4を終了します。

複数の口座を使い分ける

デモ口座を残したままライブ口座を開設したときや複数のデモ口座を開設したときは、MetaTrader 4の起動時に、前回使った口座で自動的にログインします。
誤操作を防止するため、取引の前に、どの口座でログインしているかを必ず確認してください。

ログインしている口座を確認する



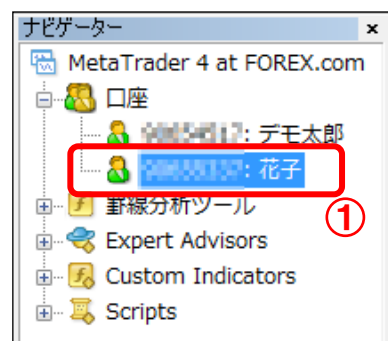
□ ログインした口座の「ログイン ID」が表示されます。

下の[ナビゲーター]の[口座]と見比べると、ログインした口座を確認できます。

□ 開設した口座の名前と、その「ログイン ID」が表示されます。

取引用サーバーにログインする

別の口座でログインし直す



- ① [ナビゲーター] の [口座] で、取引に使う口座をダブルクリック

[取引口座のログイン情報]画面が表示されます。



- ③ [ログイン] をクリック
いったんログアウトし、選択した口座でログインし直します。

- ④ 選んだ口座でログインしたことを確認

☐ 前ページをご覧ください。

FOREX.com MT4Web にログインするとき

以下のURLからアクセスすることができます。ログイン方法はインストール版と同じです。ホームページ右上の【ログイン】→【FOREX.com MT4 Web】からもアクセスできます。

<https://www.forex.com/jp/metatrader-web/>

MetaTrader 4の画面と役割

MetaTrader 4の画面は、様々なパーツから成り立っています。
ここでは、それぞれのパーツの名前と役割の概要を紹介します。

●気配値表示

取引通貨ペアの気配値を確認
できます。

→P.14

ティックチャートを表示することも
できます。

●ナビゲーター

罫線分析ツールや

Expert Advisorを使うときは、
ここで選択します。

→P.287

●Strategy Tester(テスター)

自動売買を行う前に、

Expert Advisorの有用性を
検証できます。(初期状態
では非表示)

●メニューバー

さまざまな機能を利用できます。→P.54

●ツールバー

メニューバーの中から、主要な機
能を抜粋したメニューです。主に
チャートの操作に利用します。

→P.56

●データ・ウィンドウ

選択したチャートについて確認で
きます。(初期状態では非表示)

●チャート

各通貨ペアの値動きを確認できま
す。チャートをカスタマイズすれ
ば、より便利になります。

→P.26

●ターミナル

さまざまな情報を確認できます。

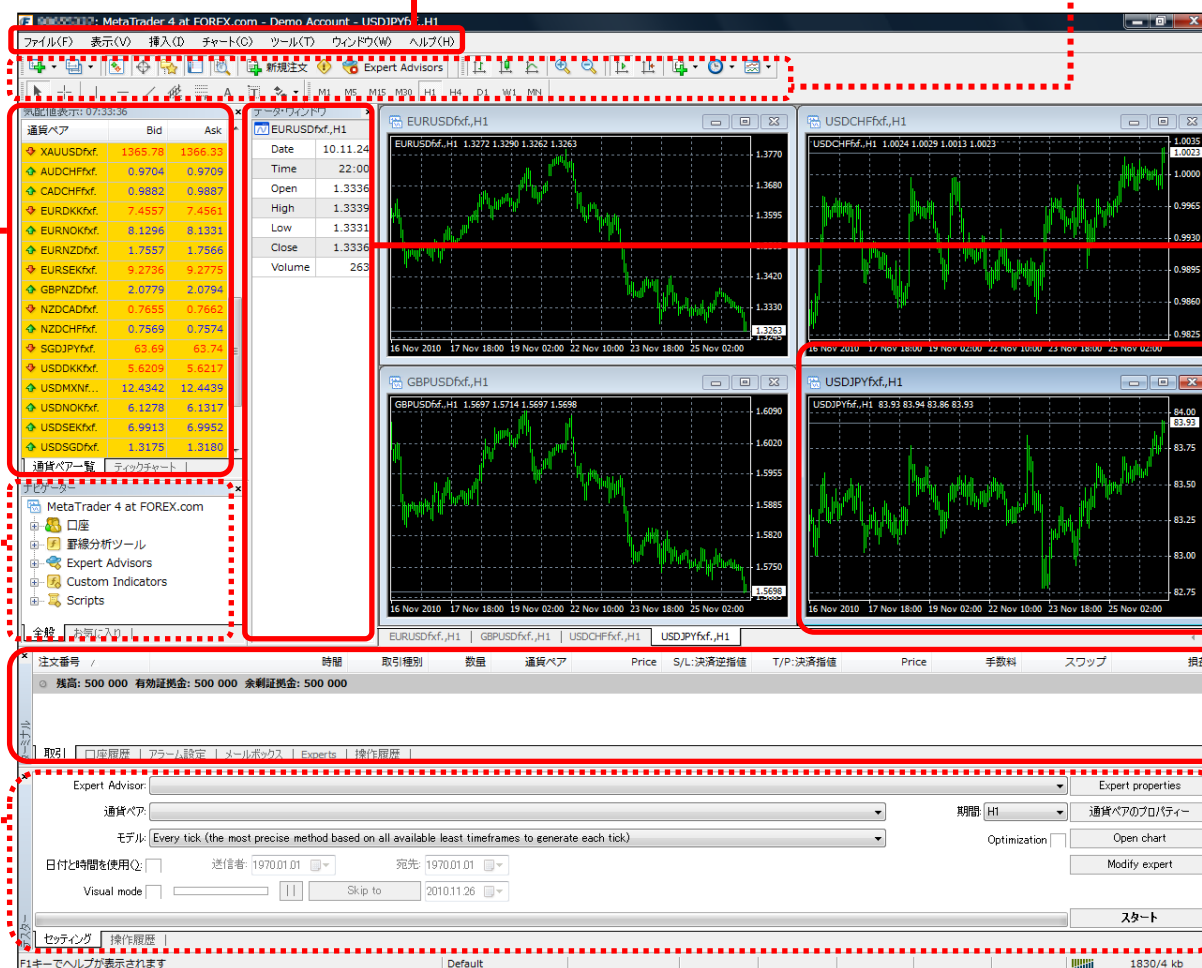
・[取引]→P.24

・[口座履歴]→P.25

・[アラーム設定]→P.25

・[メールボックス]→P.25

・[操作履歴]→P.25



第2章 取引(売買)する

取引の流れ

FX取引は、2つの通貨の為替差で損益が発生する金融商品です。

新規注文で保有した通貨(ポジション)を決済(反対売買)することで、はじめて損益が発生します。

具体的には、「買い」のポジションには「売り」、「売り」のポジションには「買い」の取引を行います。

為替動向の予想 → 第3章 P.26



新規注文 → P.15



注文成立(約定)



決済注文 → P.20



注文成立(約定)



損益の発生

損益のしくみ

FXは「買い」と「売り」のどちらからでも取引を開始できます。

●「買い」から取引を開始する場合の例

例えば、「100円＝1ドル」の時に、0.1ロット分(10,000通貨単位)のドルを新規注文で買った場合は、 $100円 \times 0.1ロット(10,000) = 100万円$ となり、

「100万円で1万ドルを買ったこと」になります。

その後、「102円＝1ドル」の時に、保有している1万ドル(0.1ロット)を決済注文で売れば、 $102円 \times 0.1ロット(10,000) = 102万円$ となり、

2万円の利益を得ることができます。

このように「買い」から取引を開始した場合は、「買ったレートよりも高いレートで売る」ことで、利益を得ることができます。

●「売り」から取引を開始する場合の例

「買い」とは逆に、「売ったレートよりも安いレートで買う(買い戻す)」ことで、利益を得ることができます。下降トレンドにある通貨ペアなどで有効な取引方法です。

しかし、いずれの場合でも思惑と反対方向に動いた場合、投資した金額以上の大きな損失が出る可能性があります。

スワップポイントとは

スワップポイントは、取引通貨間の金利差を意味するものです。原則として金利の高い通貨を買い、金利の低い通貨を売った場合は受け取りになり、反対に金利の高い通貨を売り、金利の低い通貨を買っている場合は支払いになります。

例えば、NZD/JPYでNZドルを買いポジションとして持ち続けた場合、日本円の低金利(0.1%)を支払ってNZドルの高金利(2.50%)を受け取ることと同義となります。

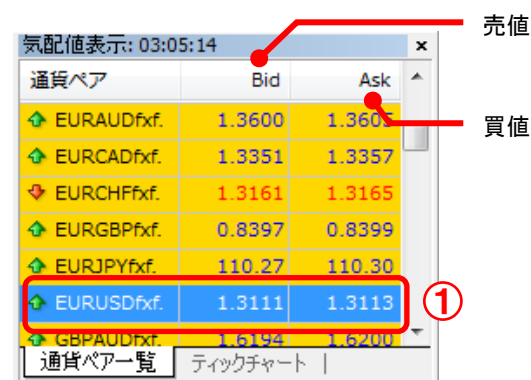
金利差の2.40%分相当のスワップポイントが、ポジションを維持している間に貯まります。

一方、NZD/JPYでNZドルを売りポジションとして持ち続けた場合、金利差分のスワップポイントを支払うことになります。

新規注文する

MetaTrader 4では、チャートでの分析に基づいて注文することも、[気配値表示]に表示されるリアルタイムのレートを見て注文することもできます。

気配値表示から注文する



- ① [気配値表示]の[通貨ペア一覧]で通貨ペアを選び、ダブルクリック

[注文の発注]画面が表示されます。(下の画面と同じ)

☐ 以後の操作について
→右欄へ続く

チャートから注文する



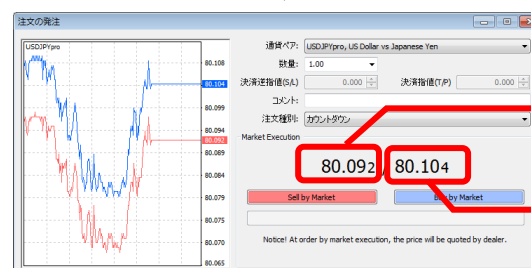
- ① チャートをクリック

☐ チャートについて
→第3章 P.26

- ② ツールバーの[新規注文]をクリック

[注文の発注]画面が表示されます。

☐ 以後の操作について
→右欄へ続く



カウントダウン注文する

リアルタイムで表示されているレートから、その場のタイミングで売買できる注文方法を「カウントダウン注文」といいます。カウントダウン注文は、約定力を優先した注文方法です。レートが動き始めた時などに有効です。

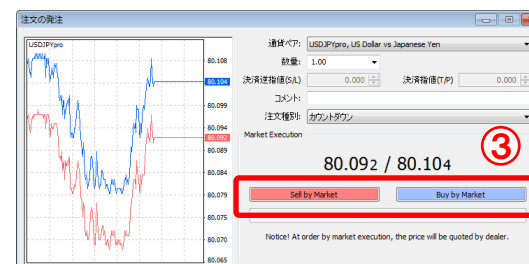


- ① [注文の発注] 画面を表示

☐ 操作について
→左欄

- ② 赤枠内を必ず設定

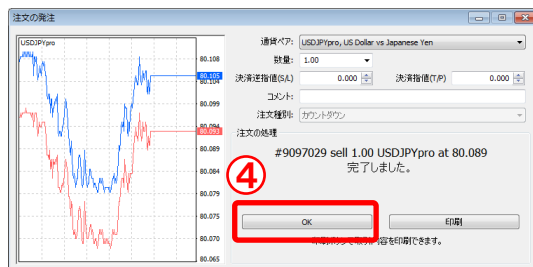
項目名	意味
通貨ペア	売買する通貨ペアを確認します。
数量	売買する通貨ペアの数量を、ロット単位で指定します。 ☐ 1,000通貨単位=0.01ロット ☐ 10,000通貨単位=0.10ロット ☐ 100,000通貨単位=1.00ロット
コメント	取引理由などを記録したいときに入力できます。
注文種別	[カウントダウン]から変更しません。



- ③ [Sell by Market] または [Buy by Market] をクリック

注文が発注され、「完了しました。」と表示されます。

新規注文する



④ [OK] をクリック

⑤ [ターミナル] の [取引] タブで注文の成立を確認



項目名	意味
注文番号	各注文に自動的に割り当てられた番号です。
取引種別	☐ 「sell」は、売りポジション。 ☐ 「buy」は、買いポジション。
スワップ	通貨間の金利差から生じる損益です。→P.14
損益	現在の相場 (Price) で決済した場合の損益です。

☐ その他の項目について→P.24

スリッページの可能性についてのご注意

当システムでは約定成立を優先とするため、注文を出した時から取引成立までのあいだにレートが変化し、当初提示されたレートと異なるレートで約定される可能性があります (スリッページ)。ご希望のレートで取引成立をしたい場合は、次の「指値注文」をご利用ください。

なお「逆指値注文」をご利用になる場合も、スリッページが起こる可能性があります。ご注意ください。

指値または逆指値で注文する [Limit / Stop]

価格を指定する注文方法を「指値注文」および「逆指値注文」といいます。相場が指定した価格になったときに約定します。

●指値注文 (Limit)

現状より安いレートになったら買う「指値買い (Buy Limit)」と、高いレートになったら売る「指値売り (Sell Limit)」があります。

相場の上下変動に備えるときは、指値買い (Buy Limit) を選択します。例えば、現在の為替レートが1ドル=100円の場合、1ドル=99円まで下がったら買うように指定します。その後、相場が以前のレートに戻るならば、高く売ることができます。

●逆指値注文 (Stop)

現状より高いレートになったら買う「逆指値買い (Buy Stop)」と、低いレートになったら売る「逆指値売り (Sell Stop)」があります。

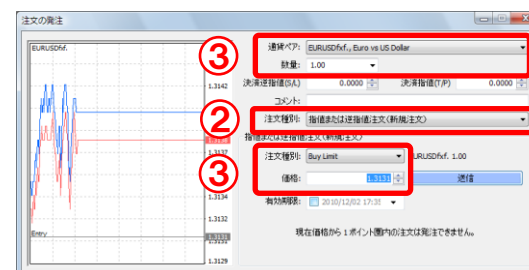
上昇トレンドに備えるときは、逆指値買い (Buy Stop) を選択します。例えば、現在の為替レートが1ドル=100円の場合、1ドル=101円まで上がった買うように指定します。上昇トレンドがさらに続くならば、高く売ることができます。

① [注文の発注] 画面を表示

☐ 操作について
→P.15

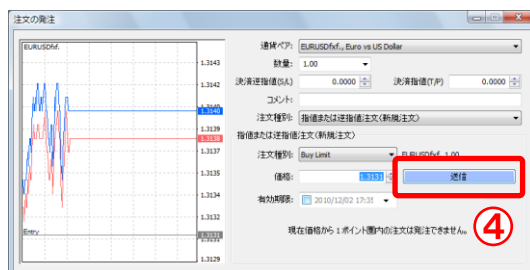
② [指値または逆指値注文 (新規注文)] を選択

③ 赤枠内を必ず設定

☐ 各項目について
→次ページ


新規注文する

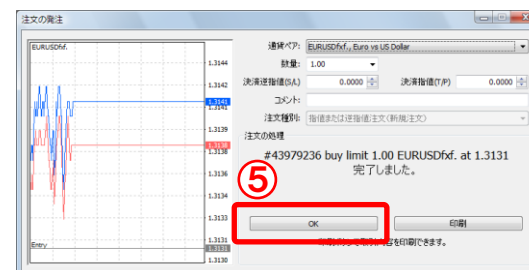
項目名	意味
通貨ペア	売買する通貨ペアを確認します。
数量	売買する通貨ペアの数量を、ロット単位で指定します。 ☐ 1,000通貨単位=0.01ロット ☐ 10,000通貨単位=0.10ロット ☐ 100,000通貨単位=1.00ロット
コメント	取引理由などを記録したいときに入力できます。
注文種別	次の4つから選択します。 ☐ 「Buy Limit」は、指値買い。 ☐ 「Sell Limit」は、指値売り。 ☐ 「Buy Stop」は、逆指値買い。 ☐ 「Sell Stop」は、逆指値売り。
価格	売買価格を指定します。
有効期限	注文に有効期限を設けたい場合に、チェックを入れ、有効期限を指定します。



④ [送信] をクリック

注文が発注され、「完了しました。」と表示されます。

- ☐ 注文に不備があった場合は、「無効なS/LまたはT/P」と表示されます。訂正し、再度注文してください。



⑤ [OK] をクリック

⑥ [ターミナル] の [取引] タブで注文の成立を確認

約定前の注文は、「残高」行の下に表示されます。指定した価格が強調表示されます。

注文番号	時間	取引種別	数量	通貨ペア	Price	S/L 決済価格	T/P 決済価格	Price	手数料	スワップ	損益
43979236	2010/12/02 08:32	buy limit	1.00	eurusd	1.3131			1.3141			0

項目名	意味
注文番号	各注文に自動的に割り当てられた番号です。
取引種別	左の表をご覧ください。

- ☐ その他の項目について→P.24

注文が約定したら

[ターミナル]の[取引]タブが、カウントダウン注文と同じ表示に変化します。

→P.16

注文を取り消すとき

注文が約定する前は、注文を取り消せます。

→P.22

新規注文する

新規注文と同時に決済注文を設定する [イフダン注文]

新規注文する際に、相場が指定した価格になったときに決済注文するよう設定できます。

●イフダン(If Done)注文

新規指値注文と同時に、決済注文の指値を設定する注文方法です。

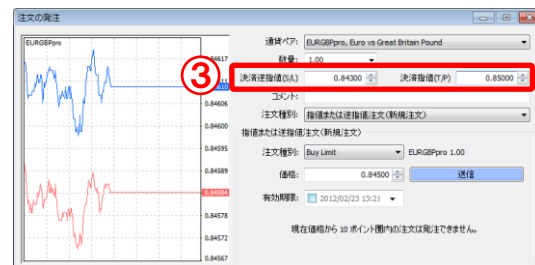
例えば、現在の為替レートが1ドル＝100円の場合に、「1ドル＝98円で買った後、1ドル＝103円で売る」といった注文ができます。

●イフダンOCO(One Cancel the Other order)注文

新規指値注文と同時に、指値と逆指値の決済注文をそれぞれ設定する注文方法です。（決済注文は、いずれか一方が実行されます。）

例えば、現在の為替レートが1ドル＝100円の場合に、「1ドル＝98円で買った後、1ドル＝103円で売る、または1ドル＝97円で売る」といった注文ができます。

☐ OCOについて→P.21



① [注文の発注] 画面を表示

② 注文を設定

☐ 指値または逆指値の注文について
→P.16

③ 決済注文を設定

項目名	意味
決済逆指値 (S/L)	損失を限定するための損切り価格を設定できます。 未設定のときは「0.00」。
決済指値 (T/P)	利益確定の利食い価格を設定できます。 未設定のときは「0.00」。

④ 注文する

☐ 指値または逆指値の注文について
→P.16

⑤ [OK] をクリック

⑥ [ターミナル] の [取引] タブで注文の成立を確認

入力した決済指値または決済逆指値が、強調表示されます。

決済注文が約定すると、[取引] タブから消えます。



注文番号	時間	取引種別	数量	通貨ペア	Price	S/L: 決済逆指値	T/P: 決済指値	Price	手数料	スワップ	損益
9097059	2012.02.23 13:18	sell	1.00	usdgbppro	0.84300	0.000	0.000		0	0	-2.200
9097065	2012.02.23 13:24	buy limit	1.00	eurgbppro	0.84500	0.84300	0.85000	0.84616			

項目名	意味
S/L(決済逆指値)	損切り価格。相場が設定した価格になったとき、損失を限定するための決済注文が行われます。
T/P(決済指値)	利食い価格。相場が設定した価格になったとき、利益確定の決済注文が行われます。

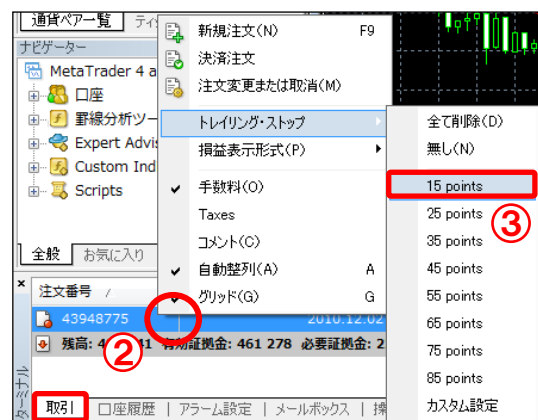
☐ その他の項目について→P.24

新規注文する

決済逆指値を相場に連動させる [トレイリング・ストップ]

決済注文の逆指値が、相場の動きに合わせて連動するよう設定できます。

例えば、1ドル＝100円の時に買ったポジションに「15 point」のトレイリング・ストップ注文を設定した場合、1ドル＝103円になれば逆指値も連動して「1ドル＝102円85銭の売り注文」が設定されます。その後、1ドル＝102円85銭になれば約定されます。



① 注文する

② [ターミナル] の [取引] タブで、ポジション(または約定前の注文)を右クリック
ポップアップメニューが表示されます。

③ [トレイリング・ストップ] サブメニューでトレイルポイントをクリック

☐ 任意のトレイルポイントを設定したいときは、[カスタム設定]を選びます。

決済逆指値をあらかじめ設定していたとき

注文の[S/L(決済逆指値)]欄に決済逆指値が設定してあっても、トレイリング・ストップを設定すると、トレイリング・ストップが優先されます。

トレイリング・ストップの設定を解除すると、[S/L(決済逆指値)]欄の損切り価格が再び有効になります。

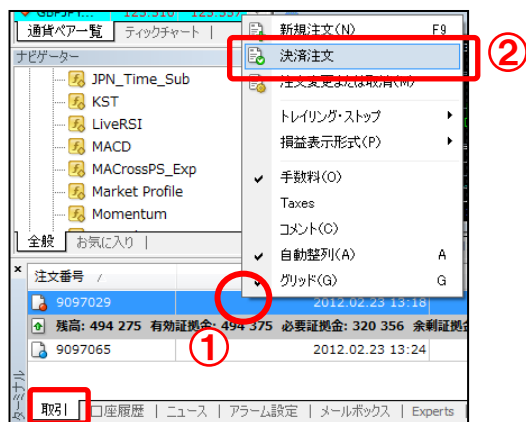
トレイリング・ストップを解除するとき

手順③の[トレイリング・ストップ]サブメニューで[無し]をクリックします。

決済注文する

カウントダウンで決済注文する

保有しているポジションに対し、現在の相場で決済注文し、損益を確定させます。

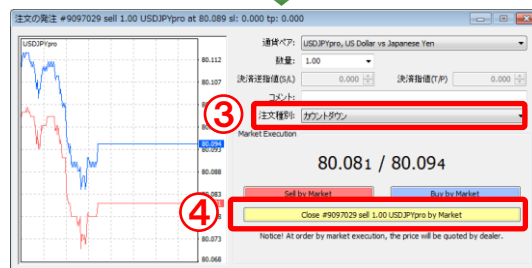


- ① [ターミナル] の [取引] タブでポジションを右クリック

ポップアップメニューが表示されます。

- ② [決済注文] をクリック

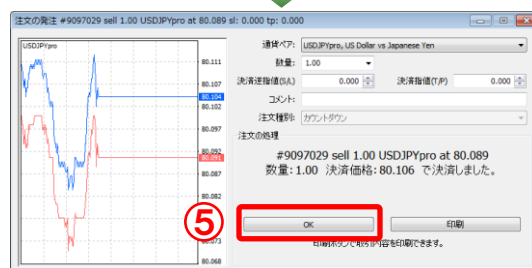
[注文の発注]画面が表示されます。



- ③ [注文種別] が [カウントダウン] であることを確認

- ④ [Close] をクリック

決済注文が発注され、[取引]タブからポジションが消え、「決済しました。」と表示されます。



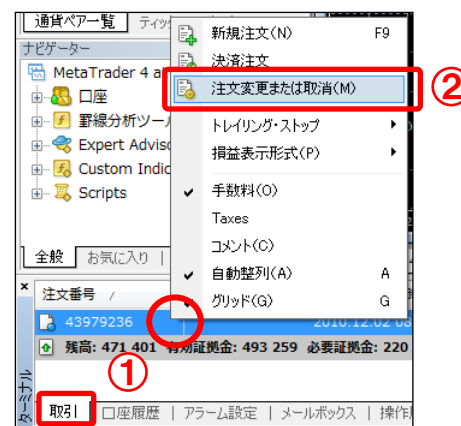
- ⑤ [OK] をクリック

ポジションを部分的に決済するとき(カウントダウン注文のみ)

手順④の画面で、[数量]の数値を減らします。

指値または逆指値で決済注文する

保有しているポジションに対し、相場が指定した価格になったときに決済するよう注文します。



- ① [ターミナル] の [取引] タブでポジションを右クリック

- ② [注文変更または取消] をクリック

[注文の発注]画面が表示されます。

- ③ [注文種別] が [注文の変更または取消] であることを確認

- ④ [決済指値] または [決済逆指値] を入力

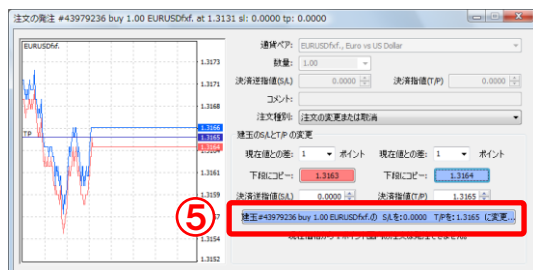
☐ [下段にコピー]の金額ボタンをクリックすると、簡単に入力できます。

☐ 各項目について
→ 次ページ



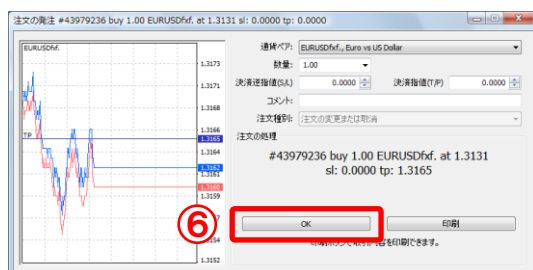
決済注文する

項目名	意味
決済逆指値 (S/L)	損失を限定するための損切り価格を入力できます。 未設定のときは「0.0000」。
決済指値 (T/P)	利益確定の利食い価格を入力できます。 未設定のときは「0.0000」。



⑤ [建玉…] をクリック

決済注文が発注され、結果の画面が表示されます。



⑥ [OK] をクリック

⑦ [ターミナル] の [取引] タブで注文の成立を確認

入力した決済指値または決済逆指値が、強調表示されます。

約定すると、[取引]タブから消えます。

注文番号	時間	取引種別	数量	通貨ペア	Price	S/L: 決済逆指値	T/P: 決済指値	Price	手数料	スワップ	損益
43979236	2010.12.02 08:37	buy	1.00	eurusdf	1.3131	0.000	1.3165	1.3161	0	0	25.215
残高: 471.401 有効証拠金: 496.616 必要証拠金: 220.900 未決済注文: 275.716 証拠金維持率: 224.81%											

決済注文を取り消すとき

注文が約定する前は、注文を取り消せます。

→ P.22

利益確定と損切りの注文を同時に行うとき

手順④で、[決済指値]と[決済逆指値]を共に入力します。これをOCO (One Cancel the Other order) 注文と呼びます。

例えば、1ドル＝100円で買ったポジションを所有しているときに、次の注文を出すことができます。

- ・利益を確定するため、指値売りの注文を102円に設定する。
- ・損失を限定するため、逆指値売りの注文を98円に設定する。

決済逆指値を相場に連動させる [トレイリング・ストップ]

決済注文の逆指値が、相場の動きに合わせて連動するよう設定できます。

→ P.19

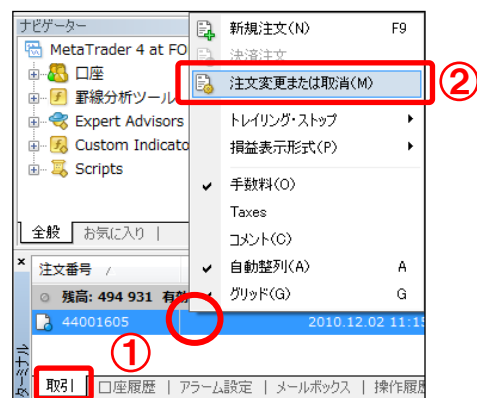
注文を変更または取り消す

新規注文を変更または取り消す

指値または逆指値で新規注文した場合、約定するまでは、注文を変更したり取り消したりできます。

☐ 本操作で変更または取り消せるのは、[ターミナル]の[取引]タブで「残高」の行よりも下にある行のみです。

ここでは、取り消し操作を例に説明します。

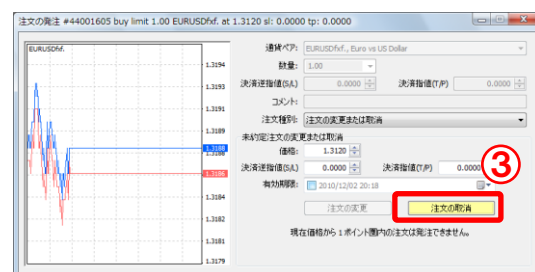


① [ターミナル]の[取引]タブで注文を右クリック

ポップアップメニューが表示されます。

② [注文変更または取消]をクリック

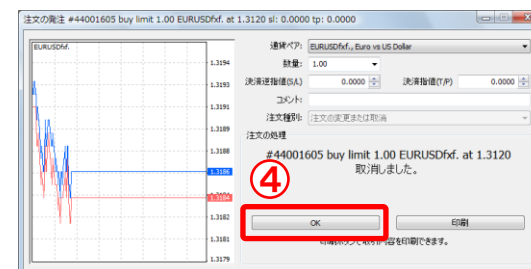
[注文の発注]画面が表示されます。



③ [注文の取消]をクリック

「取消しました。」と表示されます。

☐ 注文を変更するときは、価格などの数値を変更し、[注文の変更]をクリックします。



④ [OK]をクリック

⑤ [ターミナル]の[取引]タブで注文が消えたことを確認

☐ 注文を変更したときは、変更されたことを確認します。

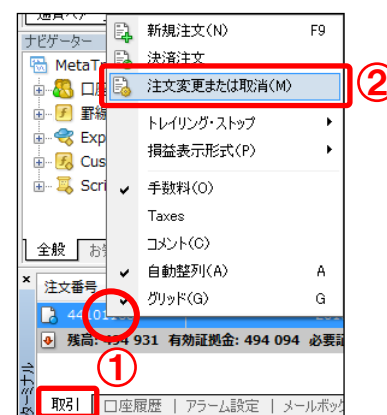
決済指値や決済逆指値を変更または取り消す

約定する前の決済注文を、次の操作で変更したり取り消したりできます。

さらに、新規注文と同時に設定した決済指値と決済逆指値を、同じ操作で変更したり取り消したりできます。

☐ 本操作で変更または取り消せるのは、[ターミナル]の[取引]タブで[S/L(決済逆指値)]欄または[T/P(決済指値)]欄に「0.0000」以外の数値がある行のみです。

ここでは、変更操作を例に説明します。



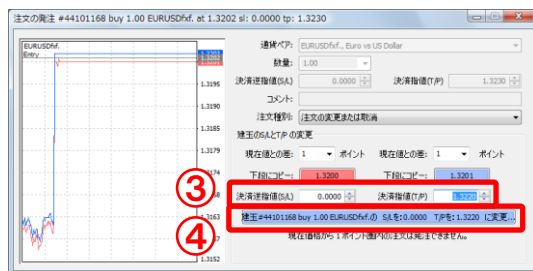
① [ターミナル]の[取引]タブでポジションを右クリック

ポップアップメニューが表示されます。

② [注文変更または取消]をクリック

[注文の発注]画面が表示されます。

注文を変更または取り消す

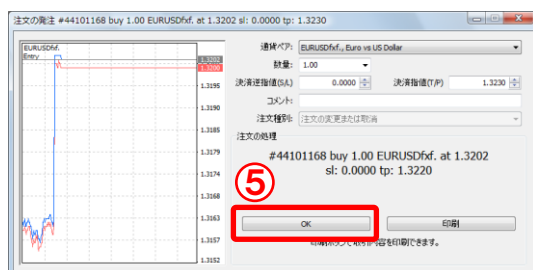


③ [決済逆指値] や [決済指値] の数値を変更

☐ 取り消すときは、それぞれに「0」を入力します。

④ [建玉...] をクリック

注文が変更され、結果の画面が表示されます。



⑤ [OK] をクリック

⑥ [ターミナル] の [取引] タブで変更を確認

☐ 取り消したときは、[S/L(決済逆指値)]欄と[T/P(決済指値)]欄の数値が「0.0000」になっていることを確認します。

注文/ポジション/履歴などを確認する

[ターミナル]では、取引の状況と履歴を確認できます。さらに、相場の動向を自動的にメールするよう設定したり、FOREX.comからのお知らせを読んだりできます。

注文/ポジション/口座情報を確認する [取引]

[ターミナル]の[取引]タブでは、次の3つを確認できます。

- ・ 注文（注文中の新規注文）
- ・ ポジション（約定された新規注文、決済注文）
- ・ 口座情報（残高、保証金）

注文番号	時間	取引種別	数量	通貨ペア	Price	S/L 決済指値	T/P 決済指値	手数料	スワップ	損益
44101168	2010.12.03 03:33	buy	1.00	eurusd/f	1.3200	0.0000	1.3200	0	0	-1.673
残高: 494.931 有効証拠金: 493.258 必要証拠金: 221.040 余剰証拠金: 272.218 証拠金維持率: 223.15%										
44106272	2010.12.03 05:00	buy limit	1.00	eurusd/f	1.3192	0.0000	0.0000	1.3202		-1.673

注文 (残高より下の行)

項目名	意味
S/L(決済逆指値)	損切り価格。相場が設定した価格になったとき、損失を限定するための決済注文が行われます。
T/P(決済指値)	利食い価格。相場が設定した価格になったとき、利益確定の決済注文が行われます。
Price	現在の価格です。 ☐ 売り注文では、現在の買値。 ☐ 買い注文では、現在の売値。
手数料	FOREX.comでは、常に「0円」です。
スワップ	通貨間の金利差から生じる損益です。
損益	現在の相場(Price)で決済した場合の損益です。
残高	現在、お客様よりお預かりしている金額です。 計算式＝預け入れ金額±実現損益
有効証拠金	残高に所有するポジションのリアルタイムの損益を加減した金額。 計算式＝残高±値洗い損益
必要証拠金	ポジションを維持するのに必要な証拠金額です。
余剰証拠金	所有ポジションの維持もしくは新規取引に使用できる金額です。 計算式＝有効証拠金－必要証拠金
証拠金維持率	必要証拠金に対する有効証拠金の割合をパーセント表示した数値。 計算式＝有効証拠金÷必要証拠金×100

ポジションの決済や注文の変更/取消を行うとき

それぞれのポジションまたは注文を右クリックします。

➔ P.20, 22

注文/ポジション/履歴などを確認する

取引結果を確認する [口座履歴]

[ターミナル]の[口座履歴]タブでは、決済した取引を確認できます。

注文番号 /	時間	取引種別	数量	通貨ペア	Price	S/L:決済逆...	T/P:決済指値	時間	Price	スワップ	損益
43997151	2010.12.02 10:44	sell	1.00	eurusdxf	1.3195	1.3201	1.3187	2010.12.02 10:46	1.3201	0	-5.050
44001605	2010.12.02 11:15	buy limit	1.00	eurusdxf	1.3120	0.0000	0.0000	2010.12.02 11:16	1.3186		
損益計: -5.069 クレジット計: 0 入金計: 0 出金計: 0											-5.069

項目名	意味
注文番号	各注文に自動的に割り当てられた番号です。
時間	約定した日時、または注文した日時です。
取引種別	☐ 「balance」は、口座の残高。 ☐ 「sell」は、売りポジション。 ☐ 「buy」は、買いポジション。 ☐ 「Buy Limit」は、指値買い注文。 ☐ 「Sell Limit」は、指値売り注文。 ☐ 「Buy Stop」は、逆指値買い注文。 ☐ 「Sell Stop」は、逆指値売り注文。
数量	注文または保有したロット数です。
通貨ペア	注文または保有した通貨ペアの名称です。
Price	約定した価格です。
S/L(決済逆指値)	損切り価格です。
T/P(決済指値)	利食い価格です。
時間	決済された日時です。
Price	決済された価格です。
スワップ	金利差調整分。取引通貨間の金利差から生じる損益です。
損益	確定した損益です。

口座履歴の表示期間を変更するとき

[口座履歴]タブのなかを右クリックし、表示期間(全履歴／3ヶ月／1ヶ月／期間のカスタム設定)をクリックします。

口座履歴の内容をほかのソフトで使うとき

[口座履歴]タブのなかを右クリックし、[レポートの保存]または[Save as Detailed Report (詳細レポートの保存)]をクリックします。保存形式はHTML形式です。

その他の情報を見る [アラーム設定/メールボックス/操作履歴]

●相場の動向を自動的に知らせる

[ターミナル]の[アラーム設定]タブでは、指定した通貨ペアの相場が設定した状態になったときに音やメールで通知するよう設定できます。

●FOREX.comからのお知らせを読む

[ターミナル]の[メールボックス]タブでは、FOREX.comからのお知らせを読むことができます。初期状態では、デモ口座のログインIDとパスワードを知らせるメッセージがあります。

●操作履歴を確認する

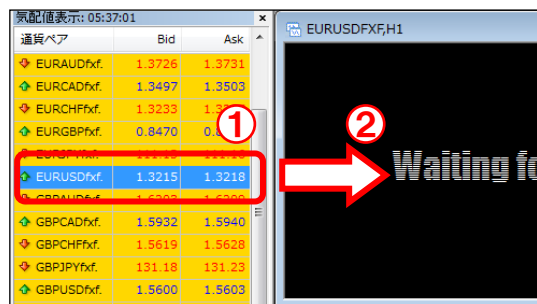
[ターミナル]の[操作履歴]タブでは、MetaTrader 4で行った操作を詳細に確認できます。

第3章 為替の動向を予想・分析する

通貨ペアのチャートを表示する

チャートの通貨ペアを変更する

まずは、動向を知りたい為替銘柄(通貨ペア)を、次の操作でチャートに表示しましょう。画面に「Waiting for update」または「アップデート待機中」と表示されているときは、次の操作で解消できます。



- ① [気配値表示] のなかから表示する通貨ペアを選んでクリック

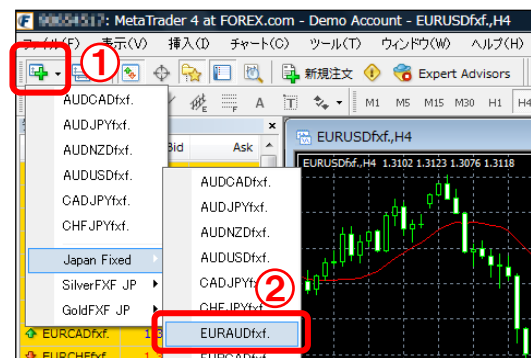
(マウスのボタンを押したまま…)

- ② 表示を変更したいチャートのウィンドウに、選んだ通貨ペアをドラッグ

(マウスのボタンを離す)
ドラッグ先のチャートが、選んだ通貨ペアに変化します。

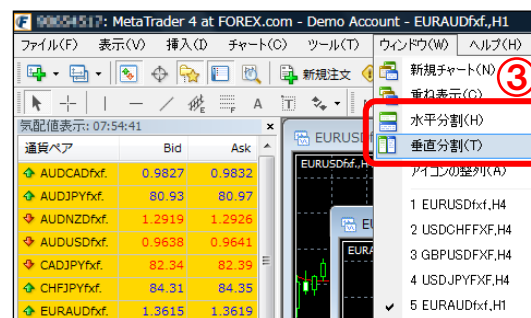


チャートを増やす



- ① ツールバーの [New Chart] をクリック
メニューが表示されます。

- ② 表示したい通貨ペアをクリック
選んだ通貨ペアのチャートが新しいウィンドウに表示されます。



- ③ ウィンドウメニューの [水平分割] または [垂直分割] をクリック
すべてのチャートのウィンドウが整列します。

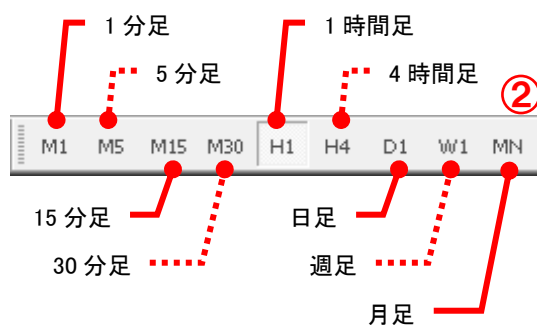
チャートを減らすとき

削除したいチャートの右上の [×] ボタンをクリックします。

チャートから為替の動向を予想する

チャートの表示方法を変更する

表示したばかりのチャートは、1時間足のバーチャートです。これを、取引の目的に応じた表示方法に変更しましょう。



③ 左から、バーチャート、
ロウソク足、ラインチャート

④ 左から、
ズーム・イン、
ズーム・アウト

① 表示を変更するチャートを
クリック

② ツールバーの周期設定ボ
タンをクリック

選んだ周期(1分足、1時間足、
日足など)にチャートの表示が
変化します。

③ チャートの種類ボタンをク
リック

チャートの表示が変化します。

④ ズームボタンをクリック

☐ ロウソク足のチャートがバ
ーチャートに見えるときは、
[ズーム・イン]をクリックします。

☐ [ズーム・イン]では、チャートの表示期
間が減ります。

☐ [ズーム・アウト]では、チャートの表示期
間が増えます。

チャートの表示が変化します。

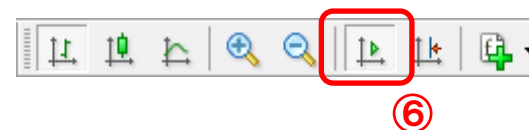


⑤ [移動]を何度かクリック

ウィンドウの右端にチャートの
右端が合うよう、チャートが移
動します。

☐ 一目均衡表の先行スパンを
見るときなどに、押した状態
(ON)にして、未来の状態を
表示します。

☐ マウスでウィンドウ内を左右
にドラッグしても、チャートを
移動できます。



⑥ [移動]が押した状態(ON)で
あることを確認

時間と共に、チャートが自動的
に左に移動します。

☐ 過去のレートを見るときな
ど、自動的に移動させたく
ない場合は、押していない
状態(OFF)にします。

チャートに出来高を表示したいとき

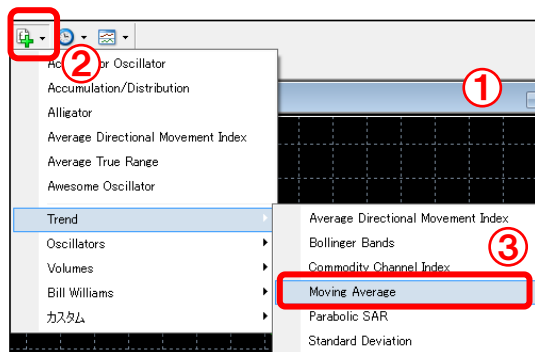
チャートメニューの[出来高]をクリックします。

チャートから為替の動向を予想する

テクニカルインディケーターを使う [罫線分析ツール]

為替の動向を予想するには、テクニカルインディケーター（罫線分析ツール）が役立ちます。MetaTrader 4にはさまざまなテクニカルインディケーターが備わっています。目的と状況に応じて使いわけましょう。

ここでは、基本的なテクニカルインディケーターであるMoving Average（移動平均線）を例に、テクニカルインディケーターの基礎的な使い方を説明します。



- ① チャートをクリック
- ② ツールバーの  をクリック
メニューが表示されます。
- ③ [Trend] サブメニューの [Moving Average] をクリック
Moving Averageのパラメーター設定画面が表示されます。
- ④ パラメーターを設定
☐ ここでは、単純移動平均線を表示することにします。
[移動平均の種類]で [Simple]を選択し、
[適用価格]で[Close]（終値）を選択します。
- ⑤ [OK] をクリック
チャートに単純移動平均線が表示されます。



●SMA(単純移動平均線)とは

過去の一定期間のレートの平均値を示すものです。為替動向のトレンド（上昇／下落）を予想できます。

その他の操作方法

挿入メニューの[罫線分析ツール]をクリックし、[Moving Average]をクリックします。
または、[ナビゲーター]の[罫線分析ツール]を開き、[Moving Average]をクリックします。

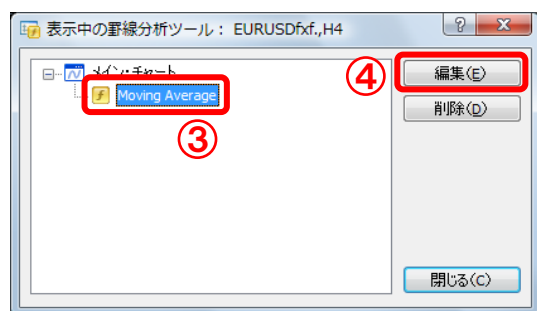
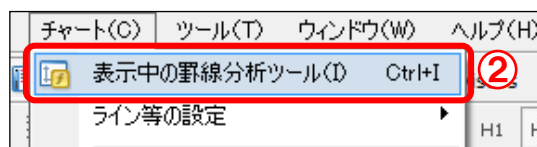
表示するテクニカルインディケーターを増やすとき

テクニカルインディケーターを追加するときは、手順①～⑤を繰り返します。区別のため、手順④で線の色を変えることをおすすめします。
同じ種類のテクニカルインディケーターを複数表示することもできます。例えば、手順④で[期間]の値を変更すると、異なる曲線の単純移動平均線を追加できます。

チャートから為替の動向を予想する

パラメーターを変更する

ここでは、Moving Averageの変更を例に説明します。



- ① チャートをクリック
- ② チャートメニューの[表示中の野線分析ツール]をクリック
[表示中の野線分析ツール]画面が表示されます。

- ③ [Moving Average]をクリック
- ④ [編集]をクリック
Moving Averageのパラメーター設定画面が表示されます。

- ⑤ パラメーターを変更
☐ ここでは、指数移動平均線に変更することになります。
[移動平均の種類]で[Exponential]を選択します。

- ⑥ [OK]をクリック



- ⑦ [閉じる]をクリック

チャートのMoving Averageが指数移動平均線に変化します。

●EMA(指数移動平均線)とは

過去の値動きを考慮し、直近の値動きを多く反映するよう調整されている移動平均線です。SMAよりも、値動きに沿った動きとなるため、よりトレンドを把握しやすくなります。

テクニカルインディケーターを削除するとき

[表示中の野線分析ツール]画面(手順③)でテクニカルインディケーター(左図では[Moving Average])を選択し、[削除]をクリックします。

必要なテクニカルインディケーターがないとき

MetaTrader 4では、カスタムインディケーターを追加して利用できます。

→ 第4章 P.48

チャートをカスタマイズして分析する

チャートをカスタマイズすることで、より自分に合った分析ができます。
ここでは、トレンドラインなどの分析ツールの追加方法などを説明します。

トレンドライン／等距離幅チャンネルを引く

チャートにトレンドラインや等距離幅チャンネルなどを引き、レートの上昇・下落を予想できます。ここでは、等距離幅チャンネルの引き方を例に説明します。

●トレンドラインとは

トレンドラインとは、

- ・ 上昇トレンドの場合： 安値と安値を結んだ線
- ・ 下落トレンドの場合： 高値と高値を結んだ線

のことです。

上昇トレンドラインを割り込んでレートが下落した場合、上昇トレンドの終了や上昇力の低下を示します。

下降トレンドラインを割り込んでレートが上昇した場合、下降トレンドの終了や下落の勢いの低下を示します。

●等距離幅チャンネルとは

相場はある一定のリズムを持って上昇と下落を繰り返すことが多く、平行な2本のラインを引くことで、上昇と下落の一定のリズムを把握しやすくなります。

等距離幅チャンネルを引く



トレンドラインの
とき

① ツールバーのをクリック

マウスポインターが等距離幅チャンネルのアイコンに変わります。



② 線の始点を決めてクリック (マウスのボタンを押したまま…)

2本の平行線が表示されます。

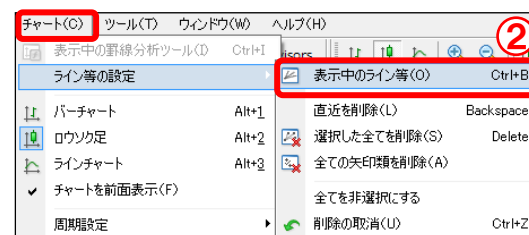
③ 線の終点までマウスをドラッグ (マウスのボタンを離す)

平行線の傾きが変化します。

等距離幅チャンネルを増やすとき

手順①から手順③を繰り返します。

等距離幅チャンネルを調整する

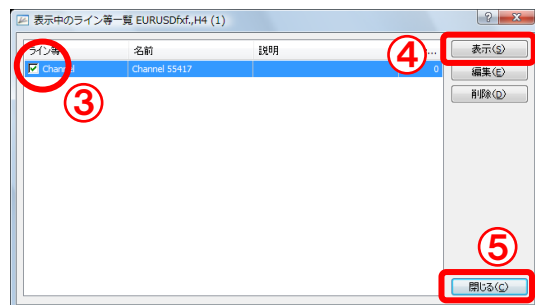


① チャートをクリック

② チャートメニューの[表示中のライン等]をクリック

[表示中のライン等一覧]画面が表示されます。

チャートをカスタマイズして分析する



③ ライン名にチェック(✓)を入れる

④ [表示] をクリック

⑤ [閉じる] をクリック

チャートの平行線に白い点が表示されます。



⑥ 白い点をマウスでドラッグ
線が移動します。

☐ 調整が終わったら、手順③の画面でチェック(✓)を消します。
平行線から白い点が消えます。

☐ 手順③の画面で[編集]をクリックして調整することもできます。

等距離幅チャンネルを削除するとき

[表示中のライン等一覧]画面(手順③)でライン名を選択し、[削除]をクリックします。

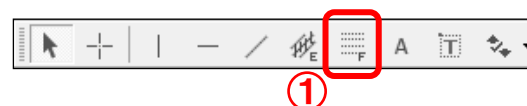
フィボナッチリトレースメントを引く

トレンドラインや等距離幅チャンネルだけではなく、その他の様々なラインをチャート上に引くことができます。

ここでは、フィボナッチリトレースメントの引き方を例に説明します。

●フィボナッチリトレースメントとは

フィボナッチリトレースメントとは、フィボナッチ数間の比(0.236、0.382、0.5、0.618)を用いて目標レートを推測する方法で、相場の戻りや押し目を判断するのに役立ちます。例えば、ある変動幅において、高値から、78.6%、61.8%、50%、38.2%、23.6%のところにラインを引き、押し目買いや戻り売りを行う際のレートを判断します。



① ツールバーの [F] をクリック
マウスポインターがフィボナッチリトレースメントのアイコンに変わります。



② 始点(変動幅の高値または安値の位置)を決めてクリック
(マウスのボタンを押したまま…)

③ 終点(変動幅の高値または安値の位置)までマウスをドラッグ
(マウスのボタンを離す)
フィボナッチリトレースメントが引かれます。

フィボナッチリトレースメントを調整または削除するとき

等距離幅チャンネルと同じ操作で、調整または削除できます。

→ P.30

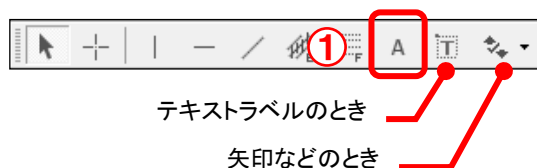
チャートをカスタマイズして分析する

テキストや矢印などを挿入する

チャート上にテキストや矢印などを挿入し、チャートをカスタマイズできます。

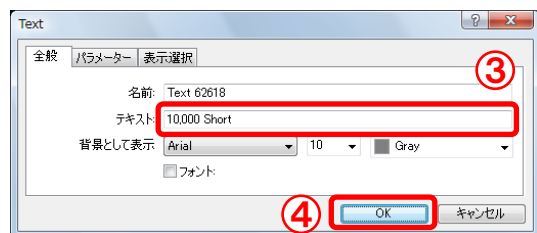
- MetaTrader 4でチャートに挿入できるテキストには、「テキスト」と「テキストラベル」の2つがあります。「テキスト」はチャートの日付に連動します。チャートがスクロールすると、テキストも一緒にスクロールします。「テキストラベル」はチャートの背景に貼り付きます。チャートがスクロールしても、テキストは動きません。
- 日本語のテキストを入力するときは、日本語フォントを指定してください。ただし、一部の画面で入力したテキストが正しく表示されないことがあります。

ここでは、テキストを挿入する場合を例に説明します。



- ① ツールバーの **A** をクリック
マウスポインターがabcに変わります。

- ② テキストを配置する位置を決めてクリック
[Text]画面が表示されます。



- ③ [テキスト] 欄に、テキストを入力
- ④ [OK] をクリック
テキストが挿入されます。



テキストや矢印などを調整または削除するとき

等距離幅チャンネルと同じ操作で、調整または削除できます。

→ P.30

チャートの状態を保存する

MetaTrader 4では、チャートの組み合わせや、チャートの表示設定を保存しておくことができます。

チャートの組み合わせに名前を付けて切り替える [組表示]

MetaTrader 4では、複数のチャートを同時に表示できます。しかし、次のように、状況に応じて表示するチャートを制限したいときがあります。

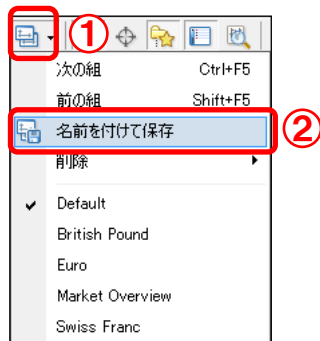
- ドル相場に関するチャートだけを表示したいとき
- ユーロ相場に関するチャートだけを表示したいとき

このような場合、それぞれのチャートの組み合わせ(チャートの組表示)に名前を付けて保存しておくくと便利です。(例:USDチャート、EURチャート)

簡単な操作で、表示するチャートの組み合わせを切り替えることができます。

チャートの組み合わせを保存する

まず、現在のチャートの組み合わせを、名前を付けて保存します。

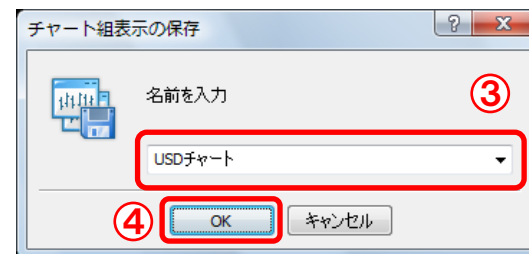


- ① ツールバーの  をクリック

メニューが表示されます。

- ② [名前を付けて保存] をクリック

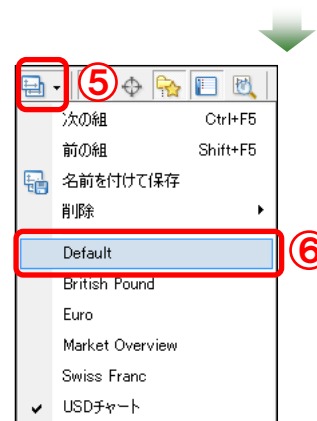
[チャート組表示の保存]画面が表示されます。



- ③ チャートの組み合わせの名前を入力

- ④ [OK] をクリック

チャートの組み合わせが保存され、ツールバーの  のメニューに登録されます。



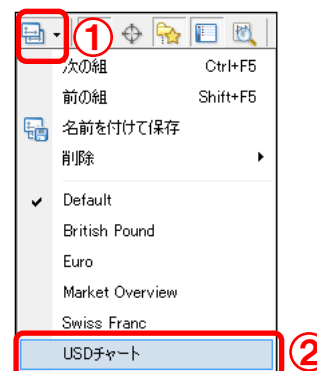
- ⑤ ツールバーの  をクリック

メニューが表示されます。

- ⑥ [Default] をクリック

☐ 以後、チャートの数や種類を変更しても、手順④で保存したチャートの組み合わせには影響しません。

チャートの組み合わせを切り替える



- ① ツールバーの  をクリック

メニューが表示されます。

- ② 以前に保存した名前をクリック

以前に保存したときのチャートの組み合わせが表示されます。

チャートの状態を保存する

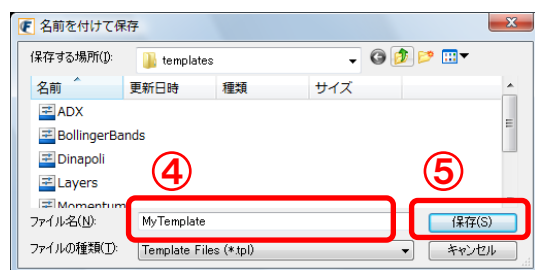
チャートの表示設定を別のチャートに適用する [定型]

チャートの表示設定をテンプレート(定型)として保存すると、別のチャートに簡単に適用できます。複数のチャートを同じ表示設定で統一したいときなどに便利です。

- ☐ チャートの周期設定(日足など)や種類(ロウソク足など)、表示しているテクニカルインディケーターの種類や設定を、一括して保存できます。

チャートの表示設定を定型として保存する

まず、定型するチャートを選び、その表示設定に名前を付けて保存します。

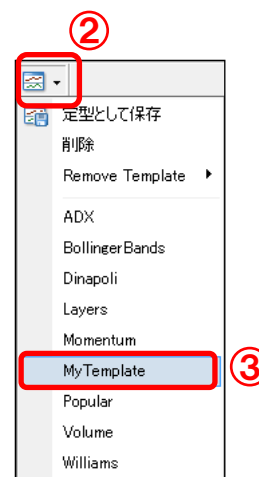


- ① チャートをクリック
- ② ツールバーの  をクリック
- ③ [定型として保存] をクリック
[名前を付けて保存]画面が表示されます。
- ④ [ファイル名] 欄に表示設定の名前を、半角の英数字で入力
☐ 日本語はMetaTrader 4で正常に表示されません。
- ⑤ [保存] をクリック

表示設定が保存され、ツールバーの  メニューに登録されます。

チャートの表示設定を適用する

次に、任意のチャートを選んで、保存済みの表示設定を適用します。



- ① チャートをクリック
- ② ツールバーの  をクリック
メニューが表示されます。
- ③ 以前に保存した名前をクリック
以前に保存した表示設定が、選択したチャートに適用されます。

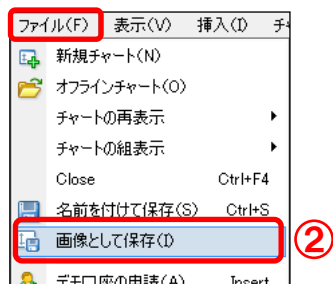
チャートの内容をほかのソフトで使う

チャートの内容をほかのソフトで使う場合、画像として利用するか、データとして利用するかを選ぶことができます。

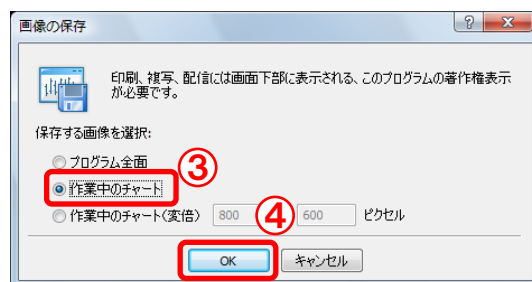
チャートを画像として保存する

チャートのウィンドウの内容を、BMP画像またはGIF画像として保存できます。
自身のホームページやブログにチャートを掲載する際などに便利です。

- ☐ ウィンドウに収まらずスクロールしないと表示されない部分は、画像として保存されません。
保存する前に、ウィンドウの大きさや拡大率を調整してください。



- ① チャートをクリック
- ② ファイルメニューの[画像として保存]をクリック
[画像の保存]画面が表示されます。



- ③ [作業中のチャート]をクリック
☐ [プログラム全体]は、MetaTrader 4の画面全体を保存するときに選びます。
☐ [作業中のチャート(変倍)]は、画像の大きさを指定したいときに選びます。

- ④ [OK]をクリック
[名前を付けて保存]画面が表示されます。



- ⑤ 保存先を選択
- ⑥ ファイル名を入力
- ⑦ ファイルの種類を選択
- ⑧ [保存]をクリック

チャートが画像として保存され、ファイルの種類に応じたアプリケーションで表示されます。



チャートの内容をほかのソフトで使う

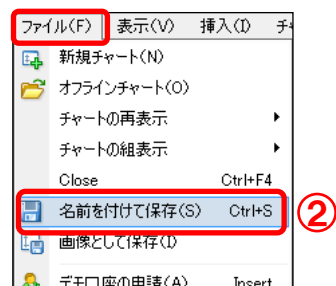
チャートをデータとして保存する

チャートの内容を、CSV形式、テキスト形式またはHTML形式で保存できます。

表計算ソフトやデータベースソフトで扱うときは、CSV形式が適しています。

☐ スクロールすると表示される部分は、すべてデータとして保存されます。

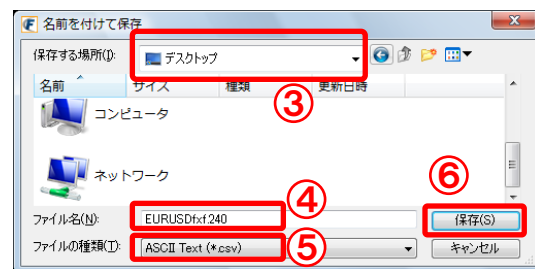
☐ テクニカルインディケーターの表示や、チャートに記入した線や矢印などは、データとして保存されません。



① チャートをクリック

② ファイルメニューの[名前を付けて保存]をクリック

[名前を付けて保存]画面が表示されます。



③ 保存先を選択

④ ファイル名を入力

⑤ ファイルの種類を選択

⑥ [保存]をクリック

チャートがデータとして保存されます。

第4章 自動的に売買する

自動売買するまでの流れ

MetaTrader 4には優れた自動売買機能が備わっています。世界中の投資家が開発した自動売買プログラム(EA:Expert Advisor)を使うことで、MetaTrader 4に取り込ませ続けることができます。

EA ファイルのインストール → 右段

バックテスト → P.38

EA の最適化 → P.41

自動売買の実行 → P.45

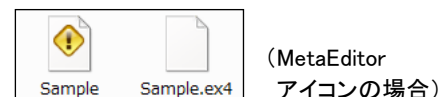
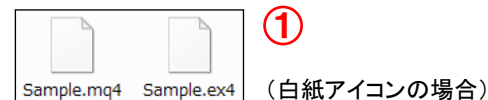
自動売買についてのご注意

StoneX証券株式会社では、特定のEAやインディケーターの推奨、または提供を行っておりません。したがって万が一、お客様が利用されているEAまたはインディケーター、その他の情報において何らかの不利益・不具合等が起こった場合、当社は一切関知せず、またその責任も一切持たないものとします。なお、EAおよびインディケーターの内容に関する質問や問い合わせには、一切応じられません。

※FOREX.com MT4 Web はEAや外部プログラムはご利用になれません。

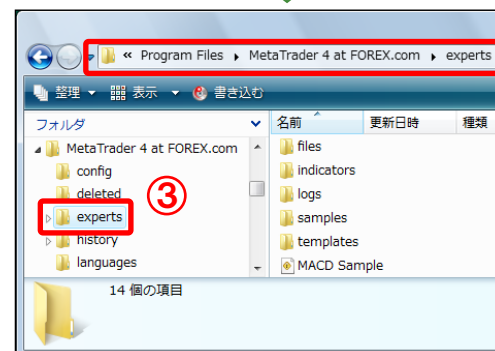
EAファイルをインストールする (Build600未満)

EAファイルには2種類あります(下図を参照)。ファイルの拡張子は、それぞれ「.mq4」と「.ex4」です。これらのいずれか、または両方をご用意ください。



① EAファイルを用意

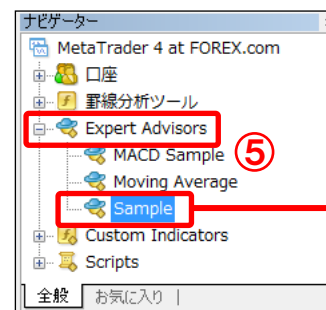
- ☐ 左図のファイル名は架空のものです。
- ☐ 拡張子「.mq4」のファイルはパソコンの設定によっては、黄色いマークのファイルになります(左図)。



② MetaTrader 4を終了

③ EAファイルを所定のフォルダにコピー

- ☐ 次の順にフォルダを開き、最後の[experts]フォルダのなかにコピーします。
[コンピュータ] →
[ローカル ディスク (C:)] →
[Program Files] →
[MetaTrader 4 at
FOREX.com] → [experts]



インストールした EA
(削除するには、
右クリックして[削除]
をクリックします。)

④ MetaTrader 4を起動

⑤ [ナビゲーター] の [Expert Advisors] を開く

- ☐ インストールしたEAが表示されていれば、インストールは成功です。

過去の相場データでテストする [Strategy Tester]

自動売買においては、使用するEAの性能と設定が、安定した成果を残せるかどうかを大きく左右します。使用するEAが有用であることと、その設定が適切であることを、自動売買を実行する前に十分にテストしましょう。

●バックテスト機能

過去の相場データを使って、「もし、数ヶ月～数年前に自動売買を開始していたら、その後の損益はどうなっていたか」を調べる機能です。これを使うと、EAとその設定の有用性を判断できます。

バックテスト機能についてのご注意

バックテスト機能は、自動売買プログラム(EA:Expert Advisor)動作を検証するための機能です。サンプルEAとして[MACD Sample]と[Moving Average]が搭載されており、本書では[Moving Average]の最適化を例に説明しておりますが、これらサンプルEAの実際の売買において利益を保証するものではありません。

バックテストで得られる情報は、すべて過去の相場データに基づいています。そのため、同機能で最適化したEAの有効性を、将来にわたって保証することはできません。

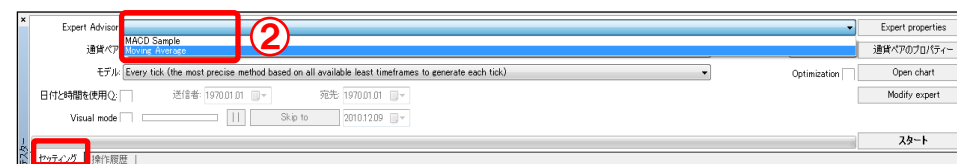
バックテストを開始する

ここでは、サンプルとしてあらかじめインストールされているMoving Average(移動平均線)を使って、バックテスト機能の基礎的な使い方を説明します。

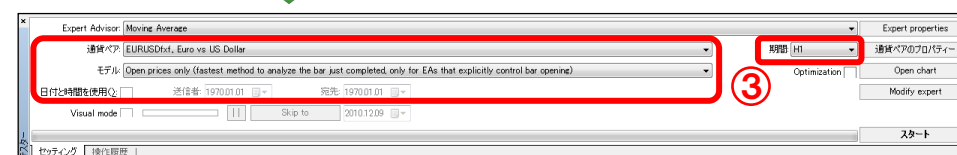


① ツールバーのをクリック
[テスト]画面が表示されます。

② [セッティング] タブの
[Expert Advisor] で
[Moving Average] を選択



③ パラメーターを設定



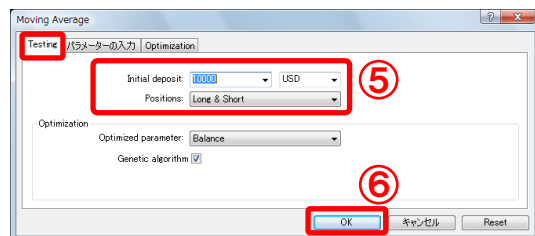
項目名	意味
通貨ペア	売買する通貨ペアを選択します。
モデル	EAの種類に合わせて選択します。 ☐ 「全ティック」は、すべてのEAに対応。(バックテストが遅い) ☐ 「コントロールポイント」は、多くのEAに対応。 ☐ 「始値のみ」は、非対応のEAがある。(バックテストが速い)
日付と時間を使用	バックテストの期間を指定する場合に、チェックを入れます。続いて、相場データをダウンロードするため、この画面で選択した通貨ペアをチャートに表示して、チャートの左端までスクロールしてください。 なお、指定した期間の相場データがサーバーにない場合は、サーバーにある相場データの範囲でバックテストを行います。 ☐ 「送信者」はバックテストの開始日。 ☐ 「宛先」はバックテストの終了日。
期間	周期設定を選択します。 ☐ 「Daily」は日足。

過去の相場データでテストする [Strategy Tester]



④ [Expert properties] をクリック

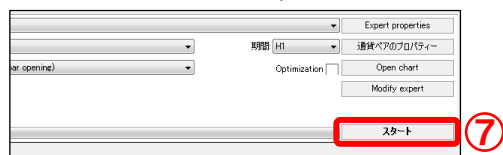
EAの設定画面が表示されます。



⑤ [Testing] タブでパラメーターを設定

⑥ [OK] をクリック

項目名	意味
Initial deposit	投資額と、その通貨を設定します。
Positions	売買の方向を選択します。 ☐ 「Long only」は、買いポジションのみ。(新規注文が常に買い) ☐ 「Short only」は、売りポジションのみ。(新規注文が常に売り) ☐ 「Long & Short」は、状況に応じて両方を行う。



⑦ [スタート] をクリック

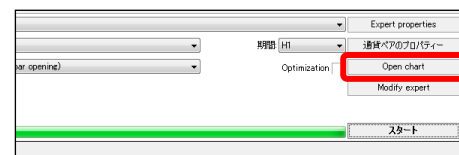
バックテストが開始され、ボタンが[ストップ]に変化します。

表示が[スタート]に戻ったら、バックテストは終了です。

☐ 続いて、バックテストの結果を評価します。

バックテストの結果を評価する

ここでは、前ページで行ったバックテストを例に、バックテストの結果の評価方法を説明します。



① [Open chart] をクリック

バックテストの結果のチャートが表示されます。



② チャートを確認

☐ 青い丸マークは、買いポジションが立った位置です。

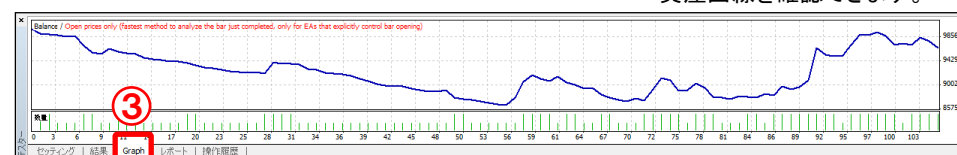
☐ 赤い丸マークは、売りポジションが立った位置です。

☐ 黄色い三角マークは、ポジションを決済した位置です。対応するポジションと点線で繋がっています。

☐ 個々の取引については、[テスター]画面の[結果]タブで確認できます。

③ [テスター] 画面の [Graph] タブをクリック

資産曲線を確認できます。



過去の相場データでテストする [Strategy Tester]

④ [レポート] タブをクリック

詳細な結果を確認できます。

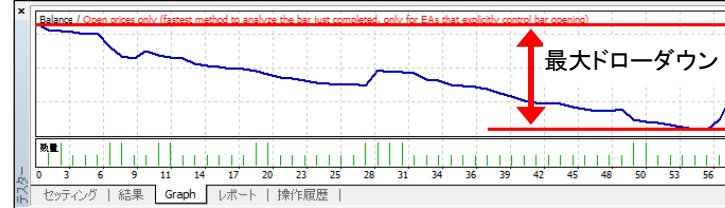
Total net profit	-333.80	Gross profit	3175.60	Gross loss	-3509.40
Profit factor	0.90	Expected payoff	-3.18		
Absolute drawdown	1363.40	Maximal drawdown	1385.40 (13.82%)	Relative drawdown	13.82% (1385.40)
Total trades	105	Short positions (won %)	61 (21.31%)	Long positions (won %)	44 (31.82%)
		Profit trades (% of total)	27 (25.71%)	Loss trades (% of total)	78 (74.29%)
		Largest profit trade	579.20	loss trade	-186.80
		Average profit trade	117.61	loss trade	-44.99
		Maximum consecutive wins (profit in money)	3 (727.20)	consecutive losses (loss in money)	19 (-526.60)

⑤ 以上の結果に基づいて、結果を評価

- ☐ 上図の場合、[Profit factor]が「1.00」未満なので、資産が減少しています。実際に運用できる結果ではありません。EAのパラメーターを調整する必要があります。

→ 次ページ

項目名	意味
Bars in test	バックテストに使ったバーの数。
Ticks modelled	バックテストで使ったティックの数。
Modelling quality	バックテストの正確さ。
Initial deposit	初期投資額。
Total net profit	総純損益。資産の増減量を示しています。 ☐ 「総利益 (Gross profit)」－「総損失 (Gross loss)」
Profit factor	プロフィットファクター。「1.00」以上なら純利益があります。 ☐ 「総利益 (Gross profit)」÷「総損失 (Gross loss)」
Expected payoff	期待損益。取引ごとの損益の平均値です。 ☐ 「総利益 (Total net profit)」÷「総トレード数 (Total trades)」
Absolute drawdown	初期投資額からのドロウダウン。 ☐ 「初期投資額 (Initial deposit)」－「最小ピーク値」

項目名	意味
Maximal drawdown	最大ドロウダウン。 ☐ 「資産曲線の最大ピーク値」－「最小ピーク値」 
Total trades	総トレード数。 数が多いほど、バックテストの信頼性が高くなります。
Short positions	売りトレード数と勝率。
Long positions	買いトレード数と勝率。
Profit trades	勝ちトレード数と勝率。
Loss trades	負けトレード数と敗率。
Largest ...	1トレード当たりの最大利益と最大損失。
Average ...	勝ちトレードの平均利益と、負けトレードの平均損失。
Maximal consecutive ...	最も連続した勝ちトレード数、負けトレード、利益、損失。
Average consecutive ...	連続勝ちトレード数と連続負けトレード数の平均値。

バックテストの結果を保存するとき

[レポート]タブのなかを右クリックし、[レポートの保存]をクリックします。保存形式はHTML形式です。

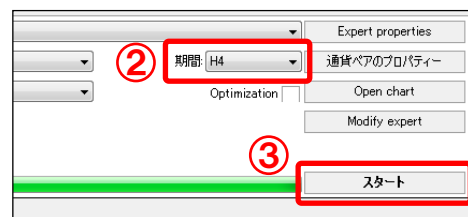
EAのパラメーターを調整する

バックテストの結果をもとにEAのパラメーターをさまざまに変更して、最も安定して利益がでるパラメーターを見つけます。

ここでは、「過去の相場データでテストする」(P.38)のバックテストを例に、EAの調整方法を説明します。

周期設定を変更する

まずは、周期設定の変更から初めてみましょう。



- ① [テスター] 画面でEAを選択し、パラメーターを設定

□ 操作について
→ P.38

- ② [期間] を変更

- ③ [スタート] をクリック

バックテストが実行されます。

- ④ [レポート] タブをクリック

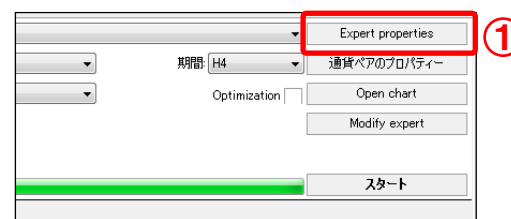
Total net profit	303.00	Gross profit	5097.20	Gross loss	-4794.20
Profit factor	1.06	Expected payoff	3.99		
Maximum drawdown	1681.80	Maximal drawdown	1641.40 (16.25%)	Relative drawdown	16.25% (1641.40)
Total trades	76	Short positions (won %)	29 (31.03%)	Long positions (won %)	47 (25.53%)
		Profit trades (% of total)	21 (27.63%)	Loss trades (% of total)	55 (72.37%)
		Largest profit trade	1611.60	loss trade	-729.60
		Average profit trade	242.72	loss trade	-87.17
		Maximum consecutive wins (profit in money)	3 (1796.80)	consecutive losses (loss in money)	7 (-531.80)

- ⑤ バックテストの結果を評価

□ 上図の場合、[Profit factor]が「1.00」より少しだけ大きくなっているの、資産がやや増加しています。前ページの結果と比べて改善されました。

EAのパラメーターを変更する

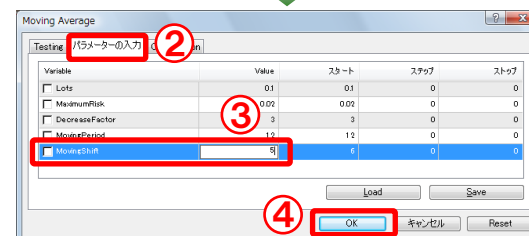
次に、EAごとのパラメーターを変更してみましょう。



- ① [テスター] 画面で [Expert properties] をクリック

EAの設定画面が表示されます。

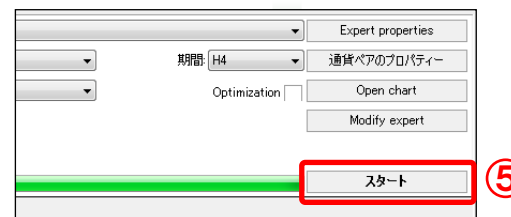
□ 左下の図は、[Moving Average]の設定画面です。



- ② [パラメーターの入力] タブをクリック

- ③ 任意のパラメーターの [Value] 欄を変更

- ④ [OK] をクリック



- ⑤ [スタート] をクリック

バックテストが実行されます。

- ⑥ [レポート] タブをクリック

- ⑦ バックテストの結果を評価

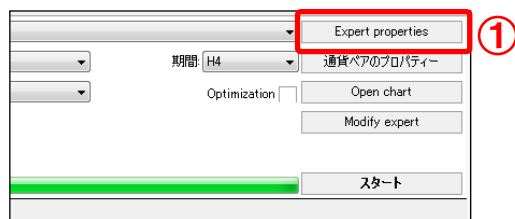
□ 左図では、[Profit factor]が改善されています。

Total net profit	1161.00	Gross profit	
Profit factor	1.22	Expected payoff	
Absolute drawdown	1681.80	Maximal drawdown	
Total trades	84	Short positions (won %)	
		Profit trades (% of total)	
		Largest profit trade	
		Average profit trade	
		Maximum consecutive wins (profit in money)	

EAのパラメーターを調整する

EAのパラメーターを自動的に変更する [最適化]

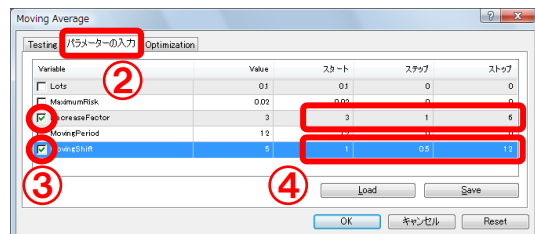
前ページの方法では、パラメーターを1つ変更するたびにバックテストを行うことになります。これでは、パラメーターをさまざまに変更するときに手間がかかりすぎます。しかし、MetaTrader 4には、複数のパラメーターを自動的に変更してバックテストを繰り返す機能があります。これを使うことで、最適なパラメーターの組み合わせを簡単に見つけ出せます。これをEAの最適化と呼びます。ここでは、EAの最適化の概要を説明します。



① [テスター] 画面で [Expert properties] をクリック

EAの設定画面が表示されます。

☐ 左下の図は、[Moving Average]の設定画面です。



② [パラメーターの入力] タブをクリック

③ 任意のパラメーターにチェック(✓)を入れる

☐ チェックしたパラメーターが、最適化の対象になります。

④ チェックしたパラメーターの下記の3列に入力

項目名	意味
スタート	パラメーターの初期値。
ステップ	パラメーターの変化幅。

ストップ

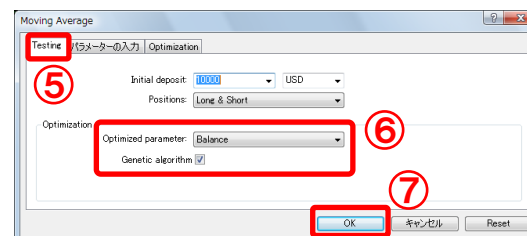
パラメーターの最終値。

EAの最適化のしくみ

左図の場合、3行目のパラメーター[DecreaseFactor]を、初期値「3」から変化幅「1」刻みで増やして最終値「6」になるまで繰り返しバックテストする設定になっています。つまり、4種類の設定でバックテストします。

さらに、5行目のパラメーター[MovingShift]は、「1」から「0.5」刻みで「12」まで増やすので、こちらは23種類の設定でバックテストします。

MetaTrader 4は、EAの設定画面でチェックを付けたパラメーターを組み合わせでバックテストします。左図の場合、2つのパラメーターにチェックを付けているので、パラメーターの設定の組み合わせは92種類になります。そして、92回のバックテストの結果から最も成果を上げた組み合わせを見つけます。これがEAの最適化です。



⑤ [Testing] タブをクリック

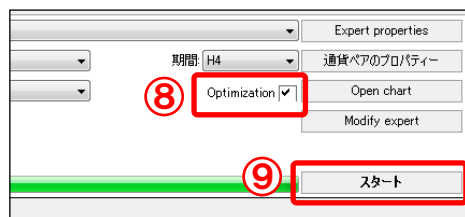
⑥ [Optimization] を検討

☐ 必要に応じて変更します。

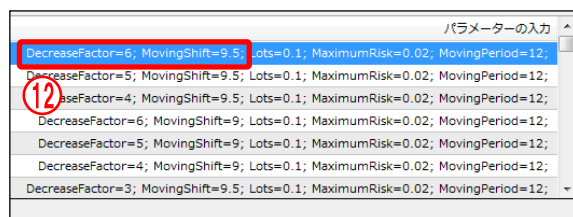
⑦ [OK] をクリック

項目名	意味
Optimized parameter	何を優先して最適化するかを選択します。 ☐ 「Balance」は、資産残高。 ☐ 「Profit Factor」「Expected Payoff」「Maximal Drawdown」 → P.39 ☐ 「Drawdown Percent」は、最大ドローダウンの割合。
Genetic algorithm	遺伝的アルゴリズムを用いてバックテストの回数を削減し、最適化にかかる時間を短縮できます。

EAのパラメーターを調整する



Pass	損益	Total trades	Profit factor	Exp
64	5523.80	57	2.72	
63	5523.80	57	2.72	
62	5523.80	57	2.72	
60	5523.80	57	2.72	
59	5523.80	57	2.72	
58	5523.80	57	2.72	
61	5420.80	57	2.69	



⑧ [Optimization] にチェック (✓)を入れる

⑨ [スタート] をクリック

最適化が開始され、ボタンが [ストップ] に変化します。

表示が [スタート]に戻ったら、最適化は終了です。

⑩ [Optimization Results] タブをクリック

⑪ 結果を確認

それぞれの行がバックテスト1回分の結果です。最良の結果が、最初に表示されます。

左図では、[Profit factor]が大幅に向上しています。

⑫ パラメーターを確認

左図では、[DecreaseFactor]が「6」、[MovingShift]が「9.5」のときに最良の結果を出したことがわかります。

最適化の結果をグラフで見るとき

[テスター]画面の[Optimization Graph]タブで確認できます。複数のパラメーターを最適化した場合は、グラフの種類を変更できます。グラフを右クリックして[2D Surface]を選びます。

グラフを画像として保存するには、右クリックして[Save as Picture]を選びます。GIF形式で保存できます。

以上は、EAの最適化の概要です。実際には、より多くのパラメーターを最適化の対象にしてください。

自動売買を実行する [Expert Advisors]

パソコンのマニュアルをご覧ください。

EAファイルをインストールし、EAをバックテストして最適化を済ませたら、いよいよ自動売買を実行します。

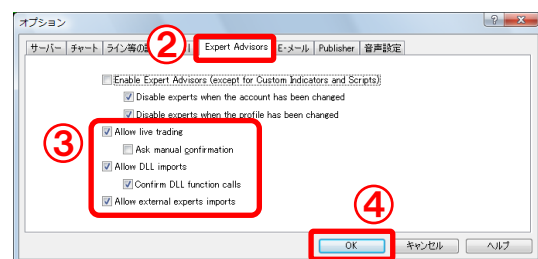
自動売買を準備する

MetaTrader 4 を準備する



① ツールメニューの [オプション] をクリック

[オプション]画面が表示されます。



② [Expert Advisors] タブをクリック

③ 次の4項目にチェック(✓)を入れる

- ☐ [Allow live trading]
- ☐ [Allow DLL imports]
- ☐ [Confirm DLL function calls]
- ☐ [Allow import of external experts]

④ [OK] をクリック

パソコンを準備する

自動売買のあいだパソコンが常に動作し続けるように設定します。詳しくは、お使いの

□ スタートメニューから[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]→[コンピュータがスリープ状態になる時間を変更]の順にクリックし、[コンピュータをスリープ状態にする]で[なし]を選択し、[変更の保存]をクリックします。

□ スタートメニューから[コントロールパネル]→[更新プログラムの確認]→[設定の変更]の順にクリックし、[重要な更新プログラム]で[更新プログラムを確認するが、ダウンロードとインストールを行うかどうかは選択する]を選択し、[OK]をクリックします。

□ ノートパソコンの場合、AC アダプターを接続します。

自動売買を開始する

ここでは、サンプルとしてあらかじめインストールされているMoving Average (移動平均線)を使って、自動売買について説明します。



① [ナビゲーター] の [Expert Advisors] を開く

② [Moving Average] をクリック (マウスのボタンを押したまま…)



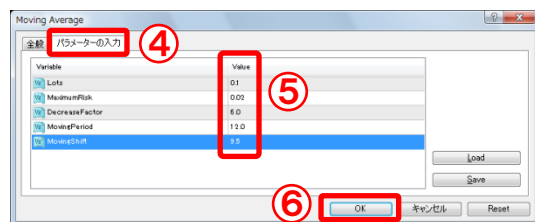
③ 自動売買したい通貨ペアのチャートのウィンドウに、[Moving Average] をドラッグ (マウスのボタンを離す)

EAの設定画面が表示されます

自動売買が開始されました。

す。

自動売買を実行する [Expert Advisors]



④ [パラメーターの入力] タブをクリック

⑤ それぞれのパラメーターの [Value] 欄に入力

☐ EAの最適化で求めた値を入力します。
→ P.42

⑥ [OK] をクリック

チャートの右上隅に
「Moving Average 」と表示されます。

⑦ ツールバーの周期設定ボタンをクリック

☐ EAの最適化の際に選んだ設定にします。
→ P.41

⑧ ツールバーの
 Expert Advisors をクリック

ツールバーのボタンが
 Expert Advisors に変化します。

⑨ チャートの右上隅に
「Moving Average 」と表示されたことを確認

別のマークが表示されたとき

チャートの右上隅に「Moving Average 」と表示されたときは、自動売買が開始されていません。

チャートからいったんEAを削除し(下記)、MetaTrader 4に自動売買の準備を正しく設定したのち(→P.45)、手順①からやり直してください。その際に、[Allow line trading]を必ずチェックしてください。

自動売買を終了する



① チャートをクリック

② ツールバーの
 Expert Advisors をクリック
ツールバーのボタンが
 Expert Advisors に変化します。

③ チャートの右上隅に
「Moving Average 」と
表示されたことを確認
自動売買が終了しました。

チャートから EA を削除するとき

チャートを右クリックし、ポップアップメニューの[Expert Advisors]サブメニューで[削除]をクリックします。チャートの右上隅の表示が消えます。

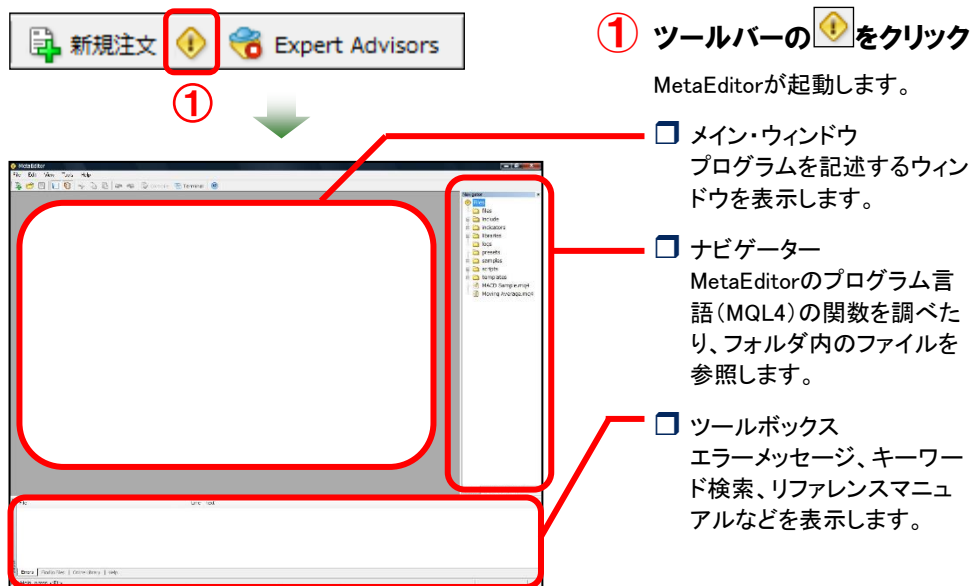
テクニカルインディケーターや EA ファイルを作る

MetaTrader 4では、付属のMetaEditorを使って自分用のテクニカルインディケーター（カスタムインディケーター）を作ることができます。なお、カスタムインディケーターは、サンプルとしてあらかじめ20種類が用意されています。

さらに、MetaEditorではEAファイルを作ることができます。

MetaEditorを起動する

ここでは、MetaEditorを起動する方法を説明します。MetaEditorの使い方については、MetaEditorのヘルプメニュー（英語）をご覧ください。



① ツールバーの  をクリック
MetaEditorが起動します。

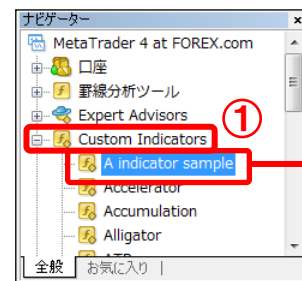
- メイン・ウィンドウ
プログラムを記述するウィンドウを表示します。
- ナビゲーター
MetaEditorのプログラム言語（MQL4）の関数を調べたり、フォルダ内のファイルを参照します。
- ツールボックス
エラーメッセージ、キーワード検索、リファレンスマニュアルなどを表示します。

MetaEditorを終了するとき

Fileメニューの[Exit]をクリックします。

カスタムインディケーターを確認する

MetaEditorで作成したカスタムインディケーターは、次の場所に表示されます。



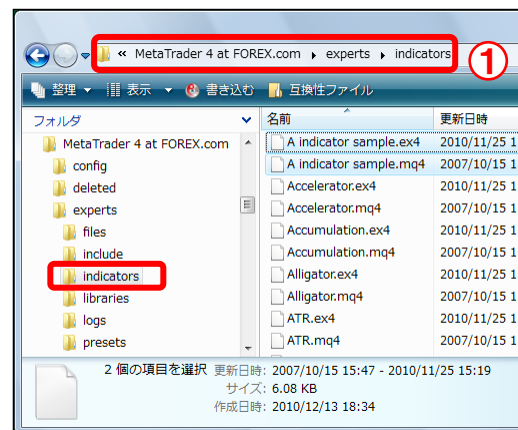
① [ナビゲーター] の [Custom Indicators] を開く
作成したインディケーター（削除するには、右クリックして[削除]をクリックします。）

① [ナビゲーター] の [Custom Indicators] を開く

既存のカスタムインディケーターと共に、自作のカスタムインディケーターが表示されます。

カスタムインディケーターの保存先

MetaEditorで作成したカスタムインディケーターは、次のフォルダに保存されます。



① 次の順にフォルダを開く

① 次の順にフォルダを開く

□ [コンピュータ] →
[ローカル ディスク (C:)]
→ [Program Files]
→ [MetaTrader 4 at
FOREX.com]
→ [experts]
→ [indicators]

最後の[indicators]フォルダに保存されています。

EA ファイルの保存先

EAファイルのインストール先（[experts] フォルダ）に保存されます。

➔ P.37

第5章 ライブ口座に入金する

実際の口座を開設する

デモ口座での取引練習に慣れたら、いよいよ実際の口座(ライブ口座)を開設して取引しましょう。



① ブラウザのURL欄に次のURLを入力
<https://www.forex.com/jp/>

② Enterキーを押す
FOREX.comのサイトが表示されます。

③ [口座開設] をクリック
[口座申込み]ページが表示されます。

④ [MetaTrader 4口座開設] をクリック
[MetaTrader 4口座開設]ページが表示されます。

□ 以後、画面の指示に従って操作します。

ログイン ID とパスワードを必ず控えてください

MetaTrader 4で取引する際に必要になります。さらに、Webのマイアカウントを利用する際にも必要です。

マイアカウントでできることについて

→ 次ページ

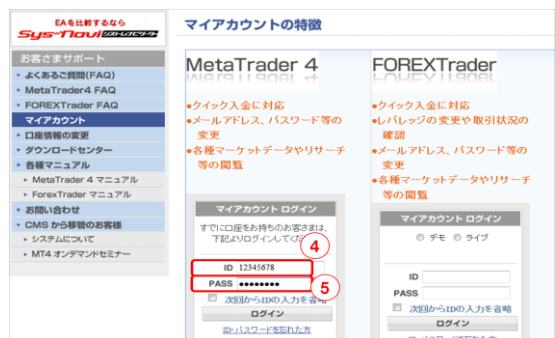
Webのマイアカウントでできること

当社のWebページのマイアカウントでは、以下を行うことができます。

- お客様情報の確認 → 本ページ手順⑥
- 入金のお手続き → P.51
- 出金依頼のお手続 → P.53
- 登録情報の確認と変更 → P.54
- 投資情報の確認 → P.55

※マイアカウント内の機能が一部変更になっている場合がありますのでご注意ください。

マイアカウントにログインする



① ブラウザのURL欄に次のURLを入力

<https://www.forex.com/jp/>

② Enterキーを押す

③ [マイアカウント]をクリック

[マイアカウント]ページが表示されます。

④ MetaTrader 4の[マイアカウント ログイン]に、ライブ口座のログインIDとパスワードを入力

☐ [ID]欄にログインIDを、
[PASS]欄にパスワードを入力します。

⑤ [ログイン]をクリック

[ホーム]ページが表示されます。

す。

⑥ [お客様情報]を確認

☐ ご登録いただきましたお客様のお名前、住所、メールアドレスが表示されます。



お問い合わせがあるとき／資料をダウンロードページしたいとき

マイアカウントの[サポート]ページをご利用ください。



オンラインで入金する [クイック入金]

クイック入金は、24時間・365日、いつでもライブ口座に即時入金できるサービスです。クイック入金の対象となる提携金融機関は、「三菱東京UFJ銀行」、「三井住友銀行」、「みずほ銀行」、「楽天銀行」、「住信SBIネット銀行」、「ゆうちょ銀行」、「ジャパンネット銀行」となります。

ここでは、三菱東京UFJ銀行から入金する場合を例に説明します。

□ クイック入金時の振込手数料は全て無料です。



① マイアカウントにログイン

[ホーム]ページが表示されます。

→ P.50

② [入出金] をクリック

[入出金]ページが表示されます。

③ [クイック入金] をクリック

[入出金]の[クイック入金]ページが表示されます。

④ 入金額を半角数字で入力

⑤ 銀行名を選択

⑥ [送信] をクリック

選択した銀行のインターネットバンキングのページが表示されます。

□ 以降の画面と操作は、選択した銀行ごとに異なります。詳しくは、ご利用の銀行にお問い合わせください。

⑦ 注意事項を確認

⑧ [同意する] をクリック

オンラインで入金する [クイック入金]

⑨ 銀行の [ご契約番号] を入力

⑩ 銀行の [パスワード] を入力

⑪ [ログイン] をクリック
お客様の口座に入金されます。

加入店情報確認	
加盟店名	フォレックス・ドットコムジャパン株式会社
振込内容確認	
振込先口座	三井東京UFJ銀行 本店 普通 7634021
振込金額	10,000円
1回来たいのご利用限度額	10,000,000円
1日あたりのご利用限度額	10,000,000円
本日のお取引金額累計	0円

⑫ 入金内容を確認

<注意事項>

- ・各提携銀行のインターネットバンキングサービスにご登録ください。
- ・手続き後は、MetaTrader 4 の[ターミナル]の[口座履歴]タブをご確認ください。
- ・手続きを完了せず途中で画面を閉じた場合やインターネット回線の通信状況により正しくデータの送信ができなかった場合は、お振込み金額が反映されない場合があります。
- ・当社のシステムメンテナンス時間帯は、本サービスはご利用できませんのでご注意ください。
- ・各行のシステムメンテナンス時間帯は、本サービスはご利用できませんのでご注意ください。各金融機関のメンテナンス時間は提携金融機関のウェブサイトにてご確認ください。

クイック入金をご利用になれない銀行口座をお使いのとき

当社よりお送りした「口座開設準備完了のお知らせ」に記載された銀行口座にお振り込みください。1～2営業日で、ご入金額がライブ口座に反映されます。
詳しくは、マイアカウントの[入出金]ページの[銀行振込]ページをお読みください。

クイック入金について

クイック入金の入金額は、1万円～250万円となります。1万円未満のご入金は受け付けておりませんので、予めご了承ください。また、250万円以上のご入金の場合は複数回に分けてご入金ください。

オンラインで出金する[出金依頼]

ライブ口座からご登録の銀行口座へ出金するには、マイアカウントで出金依頼を行います。2～3営業日以内に、指定した出金額がご登録の銀行口座に振り込まれます。

☐ 出金時の振込手数料は当社が負担します。(お客さまは無料)



① マイアカウントにログイン

[ホーム]ページが表示されます。
→ P.50

② [入出金] をクリック

[入出金]ページが表示されます。

③ [クイック入金] をクリック

[入出金]の[クイック入金]ページが表示されます。



④ 出金額を半角数字で入力

⑤ ご出金の理由を入力

⑥ [私は下記を了承の上、出金を依頼します。]にチェック(✓)を入れる

⑦ [送信] をクリック

ご登録の銀行口座への出金処理が開始されます。

証拠金残高にご注意ください

相場の急変等により証拠金残高が不足となった場合、ポジションが強制決済されることがあります。

出金の履歴を確認するとき

左段の画面の[出金履歴一覧]をクリックします。

登録情報を変更する [登録情報]

マイアカウントの[登録情報]ページでは、お客様の次の情報の確認と変更ができます。

- メールアドレス
- 電話番号 (FAX番号と携帯電話番号を含む)
- マイアカウントとMetaTrader 4のパスワード

メールアドレスや電話番号を変更された場合は、必ず登録情報を変更してください。
ここでは、メールアドレスを変更する場合を例に説明します。



① マイアカウントにログイン

[ホーム]ページが表示されます。
→ P.50

② [登録情報]をクリック

[登録情報]ページが表示されます。

③ [メールアドレス変更]をクリック

[登録情報]の[メールアドレス変更]ページが表示されます。

- ☐ [住所変更～こちらをクリックしてください]をクリックすると、住所変更や資金受取金融機関の変更用紙をダウンロードできます。



④ 現在のメールアドレスを入力

⑤ 新しいメールアドレスを入力(2か所)

⑥ [送信]をクリック

メールアドレスが変更されます。

リサーチ情報やニュースを読む

マイアカウントでは、為替の動向予想に役立つ様々なリサーチ情報やニュースを閲覧できます。取引の際にご活用ください。

リサーチ情報を読む

マイアカウントの[リサーチ]ページでは、FOREX.com独自の様々なリサーチ情報を閲覧できます。



① マイアカウントにログイン

[ホーム]ページが表示されます。

→ P.50

② [リサーチ] をクリック

[リサーチ]ページが表示されます。



第6章 付録

よくあるご質問

MetaTrader 4の操作方法などでわからないことがある場合は、まず、このページをご覧ください。

それでも問題を解決できないときは、FOREX.comにメールまたは電話で問い合わせることができます。

- ☐ お問い合わせの内容やタイミングによっては、メールでの回答に時間がかかる場合があります。ご了承ください。
- ☐ 当社ホームページの「よくあるご質問」もぜひご覧ください。
<https://www.forex.com/jp/support/faq/general>
- ☐ メールでのお問い合わせ
jpinfo@forex.com
- ☐ 電話でのお問い合わせ（フリーダイヤル）
0120-288-168

画面にチャートしか表示されない

MetaTrader 4の表示メニューで[チャート全画面表示]をクリックします。

チャートを印刷すると白黒になる

MetaTrader 4のツールメニューで[オプション]をクリックします。表示された[オプション]画面の[チャート]タブで、[カラー印刷]にチェックを入れてください。

デモ口座で稼働した EA がライブ口座で作動しない

MetaTrader 4のツールメニューで[オプション]をクリックします。表示された[オプション]画面の[Expert Advisors]タブで、以下の4項目にチェックを入れてください。

- ☐ Enable Expert Advisors (except for Custom Indicators and Scripts)
- ☐ Disable experts when the account has been changed
- ☐ Disable experts when the profile has been changed
- ☐ Allow live trading

トレイリング・ストップ注文が機能していない

トレイリング・ストップ注文が有効であるためにはパソコンがインターネットに接続し、MetaTrader 4で取引用サーバーにログインしていることが必要です。

接続を中断したとき、またはMetaTrader 4を終了したときは、トレイリング・ストップ注文は通常の指値注文または逆指値注文に切り替わります。

MetaTrader 4で取引用サーバーにログインすれば、再びトレイリング・ストップ注文が有効になります。

なお当社が提供しているMT4 EAホスティングのサービスをご利用の場合は、この限りではありません。

メニュー索引

ファイルメニュー		参照
新規チャート	新たなチャートを表示できます。	→P.25
オフラインチャート	インターネットに接続せず、過去のチャートを表示できます。	—
チャートの再表示	閉じたチャートを再表示できます。	
チャートの組表示	チャートの組み合わせを保存し、再表示できます。	→P.32
Close	選択したチャートを閉じます。	—
名前を付けて保存	選択したチャートをデータとして保存できます。	→P.35
画像として保存	選択したチャートを画像として保存できます。	→P.34
デモ口座の申請	デモ口座を開設できます。	→P.8
ログイン	別の口座でログインし直せます。	→P.10
プリンターの設定	プリンターを設定できます。	—
印刷プレビュー	選択したチャートの印刷プレビューを表示します。	
印刷	選択したチャートを印刷できます。	
プログラムの終了	MetaTrader 4を終了し、ログアウトします。	

表示メニュー		参照
Languages	MetaTrader 4に表示する言語を選択できます。 日本語で表示するときは「Japanese」を選択します。	—
ツールバー	表示するツールバーを選択できます。	→P.12
ステータスバー	ステータスバーの表示/非表示を切り替えます。	—
チャートバー	チャートの下に表示される通貨ペア名のタブ(チャートバー)の表示/非表示を切り替えます。	
気配値表示	気配値表示の表示/非表示を切り替えます。	→P.12

表示メニュー(つづき)		参照
データ・ウィンドウ	データ・ウィンドウの表示/非表示を切り替えます。	→P.12
ナビゲーター	ナビゲーターの表示/非表示を切り替えます。	
ターミナル	ターミナルの表示/非表示を切り替えます。	
Strategy Tester	Strategy Testerの表示/非表示を切り替えます。	
チャート全画面表示	チャート以外をすべて非表示にします。または、元に戻します。	—

挿入メニュー		参照
罫線分析ツール	テクニカルインディケーターをチャートに挿入できます。	→P.27
ライン	各種ラインをチャートに挿入できます。	→P.29
チャンネル	各種チャンネルをチャートに挿入できます。	
ギャン	ギャンラインなどをチャートに挿入できます。	—
フィボナッチ	フィボナッチをチャートに挿入できます。	→P.30
図形	長方形・三角形などをチャートに挿入できます。	—
矢印類	矢印などをチャートに挿入できます。	
アンドリューズ・ピッチフォーク	アンドリューズ・ピッチフォークをチャートに挿入できます。	
サイクル・ライン	サイクル・ラインをチャートに挿入できます。	→P.31
テキスト	テキストをチャートに挿入できます。	
テキストラベル	テキストラベルをチャートの背景に貼り付けられます。	

メニュー索引

チャートメニュー		参照
表示中の罫線分析ツール	テクニカルインディケーターのパラメーターを変更できます。	→P.27
ライン等の設定	ラインの位置などを調整できます。	→P.29
バーチャート／ ロウソク足／ ラインチャート	チャートの種類を変更できます。	→P.26
チャートを前面表示	選択したチャートを前面に移動できます。	—
周期設定	チャートの周期(1分足、1時間足など)を変更できます。	→P.26
定型チャート	チャートの表示設定を定型として保存できます。	→P.33
更新	チャートが自動的に更新されないとき、手動で更新できます。	—
グリッド	チャートにグリッドを表示できます。	
出来高	チャートに出来高のグラフを表示できます。	
自動スクロール	チャートが自動的にスクロールします。	
チャートの右端移動	チャートの右端がウィンドウの端まで移動します。または、端から距離が空くよう移動します。	→P.26
ズームイン／ ズームアウト	チャートを拡大または縮小できます。	
ステップ・バイ・ ステップ	チャートを区切りごとに移動します。	
プロパティ	チャートの表示設定やラインの色などを設定できます。	

ツールメニュー		参照
新規注文	選択したチャートの通貨ペアで新規注文できます。	→P.14
History Center	過去のデータを取り込みます。	—
Global Variables	Global Variablesを追加／削除できます。	
MetaQuotes Language Editor	MetaEditorを表示し、カスタムインディケーターやEAを作成できます。	
オプション	MetaTrader 4全体についての設定を行えます。	

ウィンドウメニュー		参照
新規チャート	新たなチャートを表示できます。	→P.25
重ね表示	チャートを重ねて表示します。	—
水平分割	チャートを縦に並べます。チャートが多いときは、横にも並べます。	→P.25
垂直分割	チャートを横に並べます。チャートが多いときは、縦にも並べます。	
アイコンの整列	最小化したチャートをドラッグして移動していた場合、チャート表示領域の下端に整列させます。	—

ヘルプメニュー		参照
ヘルプ・トピックス	MetaTrader4のヘルプ(日本語)が表示されます。	—
MQL4.community	MetaQuotes社のEAのユーザー・コミュニティが表示されます。	
バージョン情報	MetaTrader 4のバージョンが表示されます。	

ツールバー索引

標準ツールバー		参照
New Chart	新たなチャートを表示できます。	→P.25
Chart Group	チャートの組み合わせを保存し、再表示できます。	→P.32
Market Watch	気配値表示の表示/非表示を切り替えます。	→P.12
Data Window	データ・ウィンドウの表示/非表示を切り替えます。	
Navigator	ナビゲーターの表示/非表示を切り替えます。	
Terminal	ターミナルの表示/非表示を切り替えます。	
Strategy Tester	Strategy Testerの表示/非表示を切り替えます。	
新規注文	選択したチャートの通貨ペアで新規注文できます。	→P.14
MetaEditor	MetaEditorを表示し、カスタムインディケーターやEAを作成できます。	—
Expert Advisors	Expert Advisors	自動売買を開始/停止できます。

チャートツールバー		参照
Bar Chart	バーチャートに切り替えます。	→P.26
Candle Sticks	ロウソク足チャートに切り替えます。	
Line Chart	ラインチャートに切り替えます。	
Zoom In	チャートを拡大できます。	
Zoom Out	チャートを縮小できます。	
Auto Scroll	チャートが自動的にスクロールします。	
Chart Shift	チャートの右端がウィンドウの端まで移動します。 または、端から距離が空くよう移動します。	
Indicators	テクニカルインディケーターを挿入できます。	→P.27
Periods	周期(1分足、1時間足など)を変更できます。	→P.26
Templates	表示設定を定型として保存できます。	→P.33

ライン等ツールバー		参照
Cursor	チャートにカーソルを合わせると、日付・値段・出来高を表示します。	—
Crosshair	カーソルを十字カーソルに変更します。	
Vertical Line	垂直線をチャートに挿入できます。	
Horizontal Line	水平線をチャートに挿入できます。	
Trendline	トレンドラインをチャートに挿入できます。	→P.29
Equidistant Channel	等距離幅チャネルをチャートに挿入できます。	
Fibonacci Retracement	フィボナッチリトレースメントをチャートに挿入できます。	→P.30
Text	テキストをチャートに挿入できます。	→P.31
Text Label	テキストラベルをチャートの背景に貼り付けられます。	
Arrows	矢印などをチャートに挿入できます。	

周期設定ツールバー			参照
M1	1 Minutes	1分足に切り替えます。	➔P.26
M5	5 Minutes	5分足に切り替えます。	
M15	15 Minutes	15分足に切り替えます。	
M30	30 Minutes	30分足に切り替えます。	
H1	1 Hour	1時間足に切り替えます。	
H4	4 Hours	4時間足に切り替えます。	
D1	Daily	日足に切り替えます。	
W1	Weekly	週足に切り替えます。	
MN	Monthly	月足に切り替えます。	

用語索引

EA の最適化, 41

EA ファイル, 36

EMA, 28

Expert Advisor, 36

LiveUpdate, 7

MetaEditor, 45

OCO, 20

SMA, 27

アラーム設定, 24

イフダン (If Done) 注文, 17

イフダン OCO 注文, 17

インストール, 6

お問い合わせ, 53

カスタムインディケーター, 45

逆指値注文, 15

クイック入金, 48

罫線分析ツール, 27

決済注文, 19

口座履歴, 24

指値注文, 15

自動売買, 36, 43

出金依頼, 50

スワップポイント, 13

操作履歴, 24

損益のしくみ, 13

損切り価格, 20

チャート, 26

チャートの組表示, 32

通貨ペア, 25

定型, 33

テキスト, 31

テクニカルインディケーター, 27, 45

デモ口座, 8

等距離幅チャネル, 29

登録情報, 51

取引タブ, 23

トレイリング・ストップ, 18

トレンドライン, 29

成行注文, 14

バックテスト機能, 37

フィボナッチリトレースメント, 30

ポジション, 13

マイアカウント, 47

メールボックス, 24

ライブ口座, 8, 46

利食い価格, 20

リサーチ, 52

ログイン, 9

MetaTrader 4ショートカットキー一覧

キー	機能
—	チャートを縮小(ズーム・アウト)します。
+	チャートを拡大(ズーム・イン)します。
→	チャートを右にスクロールします。
←	チャートを左にスクロールします。
↑	チャートを左に早くスクロールします。 (固定している場合は上にスクロールします。)
↓	チャートを右に早くスクロールします。 (固定している場合は下にスクロールします。)
Home	チャートの一番古い場所に移動します。
End	チャートの一番新しい場所に移動します。
Page Up	チャートを左に速くスクロールします。
Page Down	チャートを右に速くスクロールします。
F1	MetaTrader 4のUserguideを表示します。
F2	ヒストリー・センターを表示します。
F3	Global Variables (グローバル変数: プログラム全体で有効な変数) を表示します。
F4	Meta Editorを表示します。
F7	EA利用時にEAのプロパティーを表示します。
F8	チャートのプロパティーを表示します。
F9	注文の発注を表示します。
F10	気配値をポップアップ表示します。
F11	チャートをフルスクリーン表示します。
F12	チャートを1本ずつ左に動かします。
Shift + F12	チャートを1本ずつ右に動かします。
Shift + F1	カーソルに「？」を表示し、クリックするとヘルプを表示します。

キー	機能
Alt + 1	バーチャートに切り替えます。
Alt + 2	ロウソク足に切り替えます。
Alt + 3	ラインチャートに切り替えます。
Ctrl + D	データ・ウィンドウを開きます。
Ctrl + E	自動売買を開始/停止できます。。
Ctrl + F	カーソルを十字カーソルに変更します。
Ctrl + G	グリッド線の表示/不表示を切り替えます。
Ctrl + H	チャートの左上の通貨ペア、寄付、終値、高値、安値を消します。
Ctrl + I	インディケーター利用時にインディケーターボックスを表示します。
Ctrl + L	ボリュームの表示/不表示を切り替えます。
Ctrl + M	気配値表示の表示/不表示を切り替えます。
Ctrl + N	ナビゲーターの表示/不表示を切り替えます。
Ctrl + O	[オプション]画面を表示します。
Ctrl + P	印刷画面を表示します。
Ctrl + R	Strategy Testerの表示/不表示を切り替えます。
Ctrl + S	選択したチャートをデータとして保存します。
Ctrl + T	ターミナルの表示/不表示を切り替えます。
Ctrl + W	チャートを閉じます。
Ctrl + F4	チャートを閉じます。
Ctrl + F6	表示中の別のチャートを選択します。



StoneX証券株式会社
StoneX Securities Co., Ltd.

〒103-0022

東京都中央区日本橋室町4-4-10 東短室町ビル3階

フリーダイヤル: 0120-288-168

金融商品取引業: 関東財務局長(金商)第291号

加入協会: 一般社団法人 金融先物取引業協会 会員番号1539

HP: <https://www.forex.com/jp/>

第2章 取引(売買)する

取引の流れ

FX取引は、2つの通貨の為替差で損益が発生する金融商品です。

新規注文で保有した通貨(ポジション)を決済(反対売買)することで、はじめて損益が発生します。

具体的には、「買い」のポジションには「売り」、「売り」のポジションには「買い」の取引を行います。

為替動向の予想 → 第3章 P.25



新規注文 → P.14



注文成立(約定)



決済注文 → P.19



注文成立(約定)



損益の発生

損益のしくみ

FXは「買い」と「売り」のどちらからでも取引を開始できます。

●「買い」から取引を開始する場合の例

例えば、「100円＝1ドル」の時に、0.1ロット分(10,000通貨単位)のドルを新規注文で買った場合は、 $100円 \times 0.1ロット(10,000) = 100万円$ となり、

「100万円で1万ドルを買ったこと」になります。

その後、「102円＝1ドル」の時に、保有している1万ドル(0.1ロット)を決済注文で売れば、 $102円 \times 0.1ロット(10,000) = 102万円$ となり、

2万円の利益を得ることができます。

このように「買い」から取引を開始した場合は、「買ったレートよりも高いレートで売る」ことで、利益を得ることができます。

●「売り」から取引を開始する場合の例

「買い」とは逆に、「売ったレートよりも安いレートで買う(買い戻す)」ことで、利益を得ることができます。下降トレンドにある通貨ペアなどで有効な取引方法です。

しかし、いずれの場合でも思惑と反対方向に動いた場合、投資した金額以上の大きな損失が出る可能性があります。

スワップポイントとは

スワップポイントは、取引通貨間の金利差を意味するものです。原則として金利の高い通貨を買い、金利の低い通貨を売った場合は受け取りになり、反対に金利の高い通貨を売り、金利の低い通貨を買っている場合は支払いになります。

例えば、NZD/JPYでNZドルを買いポジションとして持ち続けた場合、日本円の低金利(0.1%)を支払ってNZドルの高金利(2.50%)を受け取ることと同義となります。

金利差の2.40%分相当のスワップポイントが、ポジションを維持している間に貯まります。

一方、NZD/JPYでNZドルを売りポジションとして持ち続けた場合、金利差分のスワップポイントを支払うことになります。

新規注文する

MetaTrader 4では、チャートでの分析に基づいて注文することも、[気配値表示]に表示されるリアルタイムのレートを見て注文することもできます。

気配値表示から注文する

① [気配値表示]の[通貨ペア一覧]で通貨ペアを選び、ダブルクリック

[注文の発注]画面が表示されます。(下の画面と同じ)

☐ 以後の操作について
→右欄へ続く

チャートから注文する

② 新規注文

① チャートをクリック

☐ チャートについて
→第3章 P.25

② ツールバーの「新規注文」をクリック

[注文の発注]画面が表示されます。

☐ 以後の操作について
→右欄へ続く

カウントダウン注文する

リアルタイムで表示されているレートから、その場のタイミングで売買できる注文方法を「カウントダウン注文」といいます。カウントダウン注文は、約定力を優先した注文方法です。レートが動き始めた時などに有効です。

① [注文の発注] 画面を表示

☐ 操作について
→左欄

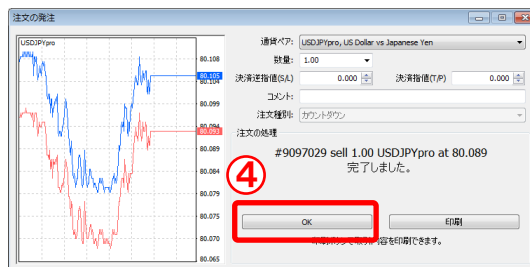
② 赤枠内を必ず設定

項目名	意味
通貨ペア	売買する通貨ペアを確認します。
数量	売買する通貨ペアの数量を、ロット単位で指定します。 ☐ 1,000通貨単位=0.01ロット ☐ 10,000通貨単位=0.10ロット ☐ 100,000通貨単位=1.00ロット
コメント	取引理由などを記録したいときに入力できます。
注文種別	[カウントダウン]から変更しません。

③ [Sell by Market] または [Buy by Market] をクリック

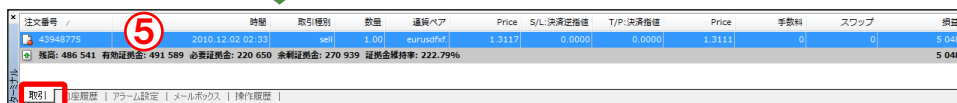
注文が発注され、「完了しました。」と表示されます。

新規注文する



④ [OK] をクリック

⑤ [ターミナル] の [取引] タブで注文の成立を確認



項目名	意味
注文番号	各注文に自動的に割り当てられた番号です。
取引種別	☐ 「sell」は、売りポジション。 ☐ 「buy」は、買いポジション。
スワップ	通貨間の金利差から生じる損益です。➡P.13
損益	現在の相場(Price)で決済した場合の損益です。

□ その他の項目について→P.23

スリッページの可能性についてのご注意

当システムでは約定成立を優先とするため、注文を出した時から取引成立までのあいだにレートが変化し、当初提示されたレートと異なるレートで約定される可能性があります(スリッページ)。ご希望のレートで取引成立をしたい場合は、次の「指値注文」をご利用ください。

なお「逆指値注文」をご利用になる場合も、スリッページが起こる可能性があります。ご注意ください。

指値または逆指値で注文する [Limit / Stop]

価格を指定する注文方法を「指値注文」および「逆指値注文」といいます。相場が指定した価格になったときに約定します。

●指値注文(Limit)

現状より安いレートになったら買う「指値買い(Buy Limit)」と、高いレートになったら売る「指値売り(Sell Limit)」があります。

相場の上下変動に備えるときは、指値買い(Buy Limit)を選択します。例えば、現在の為替レートが1ドル=100円の場合、1ドル=99円まで下がったら買うように指定します。その後、相場が以前のレートに戻るならば、高く売ることができます。

●逆指值注文(Stop)

現状より高いレートになったら買う「逆指値買い(Buy Stop)」と、低いレートになったら売る「逆指値売り(Sell Stop)」があります。

上昇トレンドに備えるときは、逆指値買い(Buy Stop)を選択します。例えば、現在の為替レートが1ドル=100円の場合、1ドル=101円まで上がったなら買うように指定します。上昇トレンドがさらに続くならば、高く売ることができます。

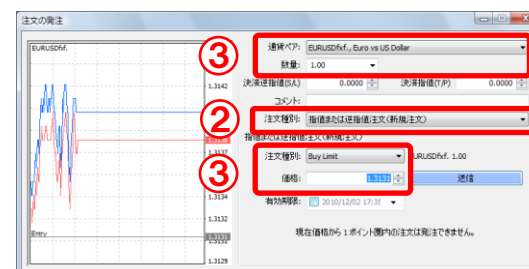
① [注文の発注] 画面を表示

□ 操作について
➔ P.14

② [指値または逆指値注文
(新規注文)] を選択

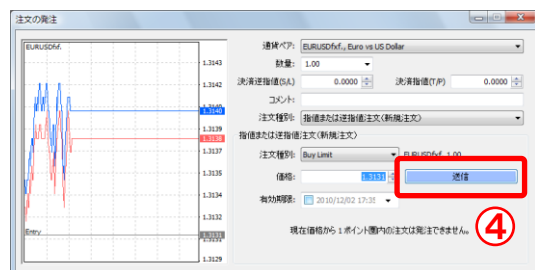
③ 赤枠内を必ず設定

□ 各項目について
➡次ページ



新規注文する

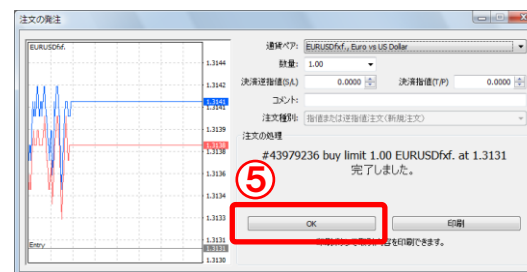
項目名	意味
通貨ペア	売買する通貨ペアを確認します。
数量	売買する通貨ペアの数量を、ロット単位で指定します。 ☐ 1,000通貨単位=0.01ロット ☐ 10,000通貨単位=0.10ロット ☐ 100,000通貨単位=1.00ロット
コメント	取引理由などを記録したいときに入力できます。
注文種別	次の4つから選択します。 ☐ 「Buy Limit」は、指値買い。 ☐ 「Sell Limit」は、指値売り。 ☐ 「Buy Stop」は、逆指値買い。 ☐ 「Sell Stop」は、逆指値売り。
価格	売買価格を指定します。
有効期限	注文に有効期限を設けたい場合に、チェックを入れ、有効期限を指定します。



④ [送信] をクリック

注文が発注され、「完了しました。」と表示されます。

☐ 注文に不備があった場合は、「無効なS/LまたはT/P」と表示されます。訂正し、再度注文してください。



⑤ [OK] をクリック

⑥ [ターミナル] の [取引] タブで注文の成立を確認

約定前の注文は、「残高」行の下に表示されます。指定した価格が強調表示されます。

注文番号	時間	取引種別	数量	通貨ペア	Price	S/L:決済指値	T/P:決済指値	Price	手数料	スワップ	損益
43979236	2010/12/02 08:32	buy limit	1.00	eurusd	1.3131		0.0000	1.3141			0

項目名	意味
注文番号	各注文に自動的に割り当てられた番号です。
取引種別	左の表をご覧ください。

☐ その他の項目について→P.23

注文が約定したら

[ターミナル]の[取引]タブが、カウントダウン注文と同じ表示に変化します。
→P.15

注文を取り消すとき

注文が約定する前は、注文を取り消せます。
→P.21

新規注文する

新規注文と同時に決済注文を設定する [イフダン注文]

新規注文する際に、相場が指定した価格になったときに決済注文するよう設定できます。指値や逆指値で注文する場合に設定できます。カウントダウン注文ではご使用できません。

●イフダン(If Done)注文

新規指値注文と同時に、決済注文の指値を設定する注文方法です。

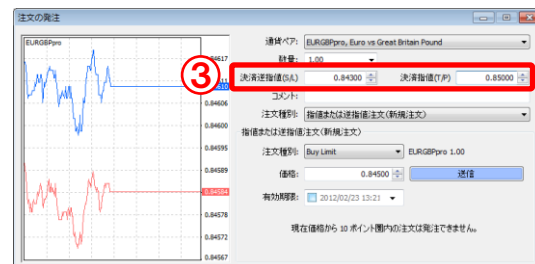
例えば、現在の為替レートが1ドル＝100円の場合に、「1ドル＝98円で買った後、1ドル＝103円で売る」といった注文ができます。

●イフダンOCO(One Cancel the Other order)注文

新規指値注文と同時に、指値と逆指値の決済注文をそれぞれ設定する注文方法です。（決済注文は、いずれか一方が実行されます。）

例えば、現在の為替レートが1ドル＝100円の場合に、「1ドル＝98円で買った後、1ドル＝103円で売る、または1ドル＝97円で売る」といった注文ができます。

☐ OCOについて→P.20



① [注文の発注] 画面を表示

② 注文を設定

☐ 指値または逆指値の注文について
→P.15

③ 決済注文を設定

項目名	意味
決済逆指値 (S/L)	損失を限定するための損切り価格を設定できます。 未設定のときは「0.00」。
決済指値 (T/P)	利益確定の利食い価格を設定できます。 未設定のときは「0.00」。

④ 注文する

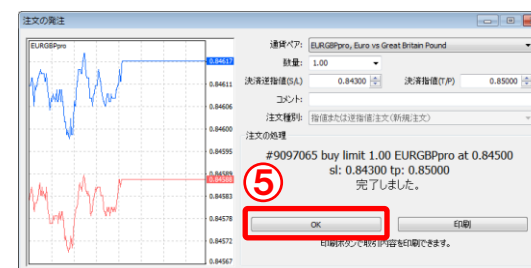
☐ 指値または逆指値の注文について
→P.15

⑤ [OK] をクリック

⑥ [ターミナル] の [取引] タブで注文の成立を確認

入力した決済指値または決済逆指値が、強調表示されます。

決済注文が約定すると、[取引] タブから消えます。



注文番号	時間	取引種別	数量	通貨ペア	Price	S/L: 決済逆指値	T/P: 決済指値	Price	手数料	スワップ	損益
9097059	2012.02.23 13:19	sell	1.00	usdgbp	0.84500	0.000	0.000	0.84616	0	0	-2.200
9097065	2012.02.23 13:24	buy limit	1.00	eurgbpp	0.84500	0.84300	0.85000				

項目名	意味
S/L(決済逆指値)	損切り価格。相場が設定した価格になったとき、損失を限定するための決済注文が行われます。
T/P(決済指値)	利食い価格。相場が設定した価格になったとき、利益確定の決済注文が行われます。

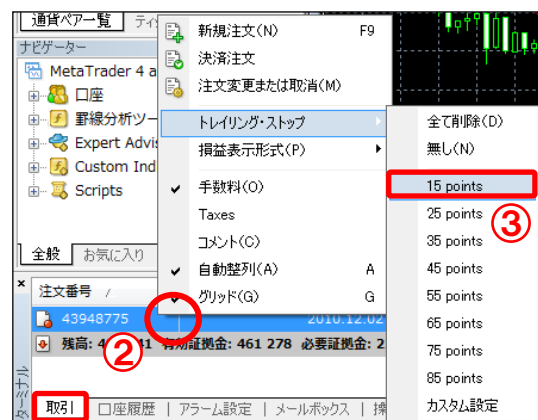
☐ その他の項目について→P.23

新規注文する

決済逆指値を相場に連動させる [トレイリング・ストップ]

決済注文の逆指値が、相場の動きに合わせて連動するように設定できます。

例えば、1ドル＝100円の時に買ったポジションに「15 point」のトレイリング・ストップ注文を設定した場合、1ドル＝103円になれば逆指値も連動して「1ドル＝102円85銭の売り注文」が設定されます。その後、1ドル＝102円85銭になれば約定されます。



① 注文する

② [ターミナル] の [取引] タブで、ポジション(または約定前の注文)を右クリック
ポップアップメニューが表示されます。

③ [トレイリング・ストップ] サブメニューでトレイルポイントをクリック

☐ 任意のトレイルポイントを設定したいときは、[カスタム設定]を選びます。

決済逆指値をあらかじめ設定していたとき

注文の[S/L(決済逆指値)]欄に決済逆指値が設定してあっても、トレイリング・ストップを設定すると、トレイリング・ストップが優先されます。

トレイリング・ストップの設定を解除すると、[S/L(決済逆指値)]欄の損切り価格が再び有効になります。

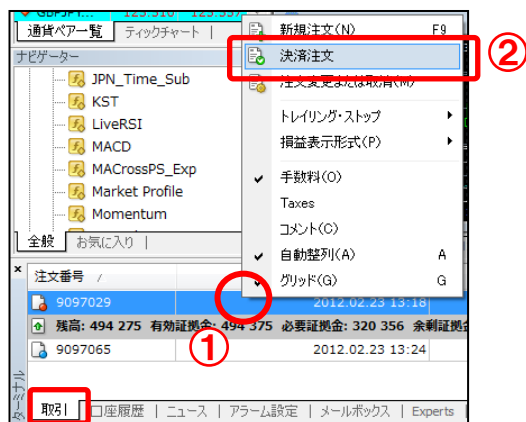
トレイリング・ストップを解除するとき

手順③の[トレイリング・ストップ]サブメニューで[無し]をクリックします。

決済注文する

カウントダウンで決済注文する

保有しているポジションに対し、現在の相場で決済注文し、損益を確定させます。

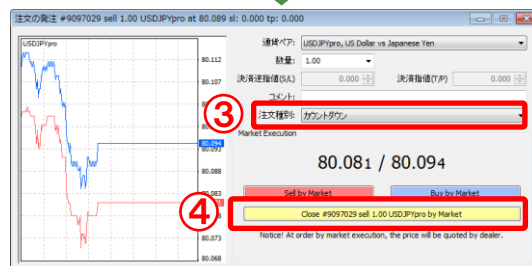


① [ターミナル] の [取引] タブでポジションを右クリック

ポップアップメニューが表示されます。

② [決済注文] をクリック

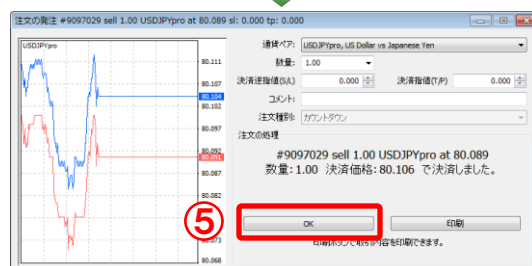
[注文の発注]画面が表示されます。



③ [注文種別] が [カウントダウン] であることを確認

④ [Close] をクリック

決済注文が発注され、[取引]タブからポジションが消え、「決済しました。」と表示されます。



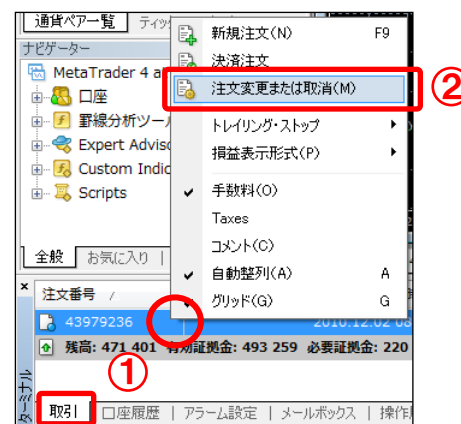
⑤ [OK] をクリック

ポジションを部分的に決済するとき(カウントダウン注文のみ)

手順④の画面で、[数量]の数値を減らします。

指値または逆指値で決済注文する

保有しているポジションに対し、相場が指定した価格になったときに決済するよう注文します。



① [ターミナル] の [取引] タブでポジションを右クリック

② [注文変更または取消] をクリック

[注文の発注]画面が表示されます。

③ [注文種別] が [注文の変更または取消] であることを確認

④ [決済指値] または [決済逆指値] を入力

☐ [下段にコピー]の金額ボタンをクリックすると、簡単に入力できます。

☐ 各項目について
→ 次ページ



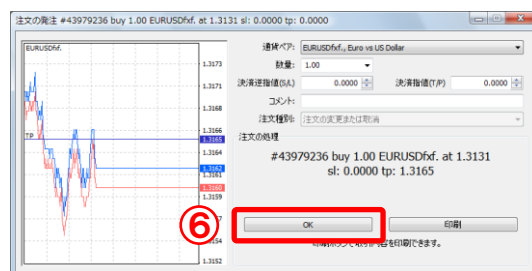
決済注文する

項目名	意味
決済逆指値 (S/L)	損失を限定するための損切り価格を入力できます。 未設定のときは「0.0000」。
決済指値 (T/P)	利益確定の利食い価格を入力できます。 未設定のときは「0.0000」。



⑤ [建玉…] をクリック

決済注文が発注され、結果の画面が表示されます。



⑥ [OK] をクリック

⑦ [ターミナル] の [取引] タブで注文の成立を確認

入力した決済指値または決済逆指値が、強調表示されます。

約定すると、[取引]タブから消えます。

注文番号	時間	取引種別	数量	通貨ペア	Price	S/L: 決済逆指値	T/P: 決済指値	手数料	スワップ	損益
43979236	2010.12.02 08:37	buy	1.00	eurusdf	1.3131	0.0000	1.3165	0	0	25.215
損益: 471.401 有効証拠金: 496.616 必要証拠金: 220.900 未決済注文: 275.716 証拠金維持率: 224.81%										

決済注文を取り消すとき

注文が約定する前は、注文を取り消せます。

→ P.21

利益確定と損切りの注文を同時に行うとき

手順④で、[決済指値]と[決済逆指値]を共に入力します。これをOCO (One Cancel the Other order) 注文と呼びます。

例えば、1ドル＝100円で買ったポジションを所有しているときに、次の注文を出すことができます。

- ・利益を確定するため、指値売りの注文を102円に設定する。
- ・損失を限定するため、逆指値売りの注文を98円に設定する。

決済逆指値を相場に連動させる [トレイリング・ストップ]

決済注文の逆指値が、相場の動きに合わせて連動するよう設定できます。

→ P.18

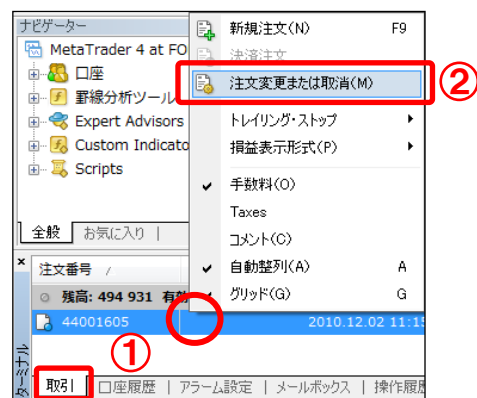
注文を変更または取り消す

新規注文を変更または取り消す

指値または逆指値で新規注文した場合、約定するまでは、注文を変更したり取り消したりできます。

- 本操作で変更または取り消せるのは、[ターミナル]の[取引]タブで「残高」の行よりも下にある行のみです。

ここでは、取り消し操作を例に説明します。

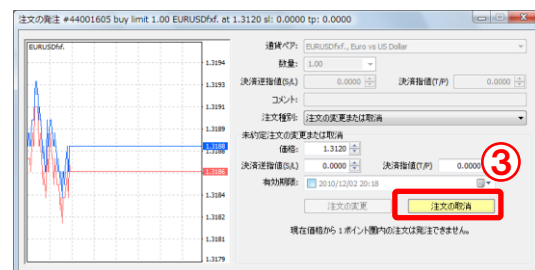


① [ターミナル]の[取引]タブで注文を右クリック

ポップアップメニューが表示されます。

② [注文変更または取消]をクリック

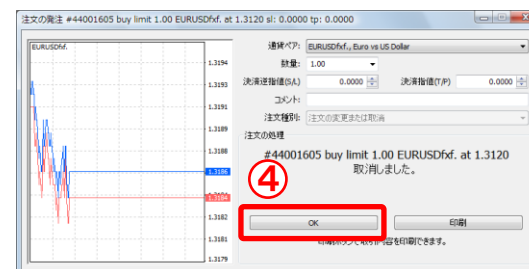
[注文の発注]画面が表示されます。



③ [注文の取消]をクリック

「取消しました。」と表示されます。

- 注文を変更するときは、価格などの数値を変更し、[注文の変更]をクリックします。



④ [OK]をクリック

⑤ [ターミナル]の[取引]タブで注文が消えたことを確認

- 注文を変更したときは、変更されたことを確認します。

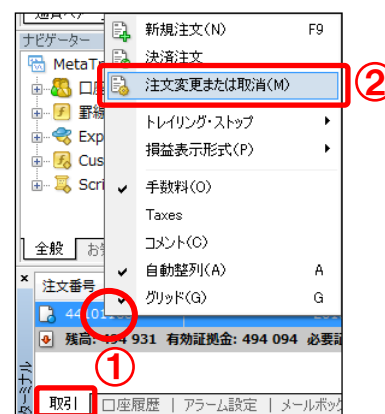
決済指値や決済逆指値を変更または取り消す

約定する前の決済注文を、次の操作で変更したり取り消したりできます。

さらに、新規注文と同時に設定した決済指値と決済逆指値を、同じ操作で変更したり取り消したりできます。

- 本操作で変更または取り消せるのは、[ターミナル]の[取引]タブで[S/L(決済逆指値)]欄または[T/P(決済指値)]欄に「0.0000」以外の数値がある行のみです。

ここでは、変更操作を例に説明します。



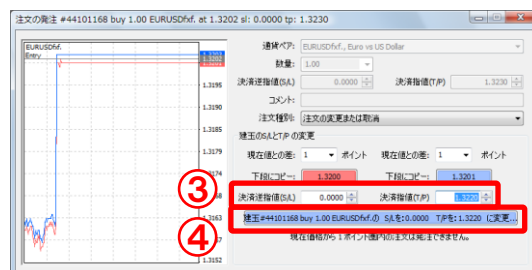
① [ターミナル]の[取引]タブでポジションを右クリック

ポップアップメニューが表示されます。

② [注文変更または取消]をクリック

[注文の発注]画面が表示されます。

注文を変更または取り消す

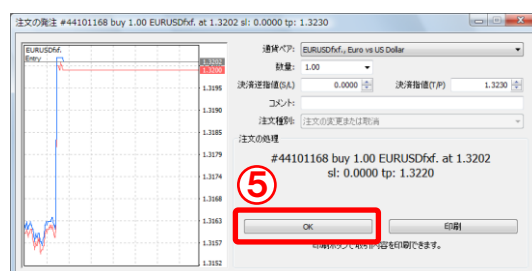


③ [決済逆指値] や [決済指値] の数値を変更

- ☐ 取り消すときは、それぞれに「0」を入力します。

④ [建玉...] をクリック

注文が変更され、結果の画面が表示されます。



⑤ [OK] をクリック

⑥ [ターミナル] の [取引] タブで変更を確認

- ☐ 取り消したときは、[S/L(決済逆指値)]欄と[T/P(決済指値)]欄の数値が「0.0000」になっていることを確認します。

注文/ポジション/履歴などを確認する

[ターミナル]では、取引の状況と履歴を確認できます。さらに、相場の動向を自動的にメールするよう設定したり、FOREX.comからのお知らせを読んだりできます。

注文/ポジション/口座情報を確認する [取引]

[ターミナル]の[取引]タブでは、次の3つを確認できます。

- ・ 注文（注文中の新規注文）
- ・ ポジション（約定された新規注文、決済注文）
- ・ 口座情報（残高、保証金）

注文番号	時間	取引種別	数量	通貨ペア	Price	S/L 決済指値	T/P 決済指値	手数料	スワップ	損益
44101168	2010.12.03 03:33	buy	1.00	eurusdxf	1.320	0.0000	1.3200	0	0	-1.673
残高: 494.931 有効証拠金: 493.258 必要証拠金: 221.040 余剰証拠金: 272.218 証拠金維持率: 223.15%										
44106272	2010.12.03 05:00	buy limit	1.00	eurusdxf	1.3192	0.0000	0.0000	1.3202		

ポジション(残高より上の行)

口座情報(「残高:」で始まる行)

注文(残高より下の行)

項目名	意味
注文番号	各注文に自動的に割り当てられた番号です。
時間	約定した日時、または注文した日時です。
取引種別	☐ 「sell」は、売りポジション。 ☐ 「buy」は、買いポジション。 ☐ 「Buy Limit」は、指値買い注文。 ☐ 「Sell Limit」は、指値売り注文。 ☐ 「Buy Stop」は、逆指値買い注文。 ☐ 「Sell Stop」は、逆指値売り注文。
数量	注文または保有したロット数です。
通貨ペア	注文または保有した通貨ペアの名称です。
Price	約定した価格です。

項目名	意味
S/L(決済逆指値)	損切り価格。相場が設定した価格になったとき、損失を限定するための決済注文が行われます。
T/P(決済指値)	利食い価格。相場が設定した価格になったとき、利益確定の決済注文が行われます。
Price	現在の価格です。 ☐ 売り注文では、現在の買値。 ☐ 買い注文では、現在の売値。
手数料	FOREX.comでは、常に「0円」です。
スワップ	通貨間の金利差から生じる損益です。
損益	現在の相場(Price)で決済した場合の損益です。
残高	現在、お客様よりお預かりしている金額です。 計算式＝預け入れ金額±実現損益
有効証拠金	残高に所有するポジションのリアルタイムの損益を加減した金額。 計算式＝残高±値洗い損益
必要証拠金	ポジションを維持するのに必要な証拠金額です。
余剰証拠金	所有ポジションの維持もしくは新規取引に使用できる金額です。 計算式＝有効証拠金－必要証拠金
証拠金維持率	必要証拠金に対する有効証拠金の割合をパーセント表示した数値。 計算式＝有効証拠金÷必要証拠金×100

ポジションの決済や注文の変更/取消を行うとき

それぞれのポジションまたは注文を右クリックします。

➔ P.19, 21

注文/ポジション/履歴などを確認する

取引結果を確認する [口座履歴]

[ターミナル]の[口座履歴]タブでは、決済した取引を確認できます。

注文番号 /	時間	取引種別	数量	通貨ペア	Price	S/L:決済逆...	T/P:決済指値	時間	Price	スワップ	損益
43997151	2010.12.02 10:44	sell	1.00	eurusdxf	1.3195	1.3201	1.3187	2010.12.02 10:46	1.3201	0	-5.050
44001605	2010.12.02 11:15	buy limit	1.00	eurusdxf	1.3120	0.0000	0.0000	2010.12.02 11:16	1.3186		
損益計: -5.069 クレジット計: 0 入金計: 0 出金計: 0											-5.069

項目名	意味
注文番号	各注文に自動的に割り当てられた番号です。
時間	約定した日時、または注文した日時です。
取引種別	☐ 「balance」は、口座の残高。 ☐ 「sell」は、売りポジション。 ☐ 「buy」は、買いポジション。 ☐ 「Buy Limit」は、指値買い注文。 ☐ 「Sell Limit」は、指値売り注文。 ☐ 「Buy Stop」は、逆指値買い注文。 ☐ 「Sell Stop」は、逆指値売り注文。
数量	注文または保有したロット数です。
通貨ペア	注文または保有した通貨ペアの名称です。
Price	約定した価格です。
S/L(決済逆指値)	損切り価格です。
T/P(決済指値)	利食い価格です。
時間	決済された日時です。
Price	決済された価格です。
スワップ	金利差調整分。取引通貨間の金利差から生じる損益です。
損益	確定した損益です。

口座履歴の表示期間を変更するとき

[口座履歴]タブのなかを右クリックし、表示期間(全履歴／3ヶ月／1ヶ月／期間のカスタム設定)をクリックします。

口座履歴の内容をほかのソフトで使うとき

[口座履歴]タブのなかを右クリックし、[レポートの保存]または[Save as Detailed Report (詳細レポートの保存)]をクリックします。保存形式はHTML形式です。

その他の情報を見る [アラーム設定/メールボックス/操作履歴]

●相場の動向を自動的に知らせる

[ターミナル]の[アラーム設定]タブでは、指定した通貨ペアの相場が設定した状態になったときに音やメールで通知するよう設定できます。

●FOREX.comからのお知らせを読む

[ターミナル]の[メールボックス]タブでは、FOREX.comからのお知らせを読むことができます。初期状態では、デモ口座のログインIDとパスワードを知らせるメッセージがあります。

●操作履歴を確認する

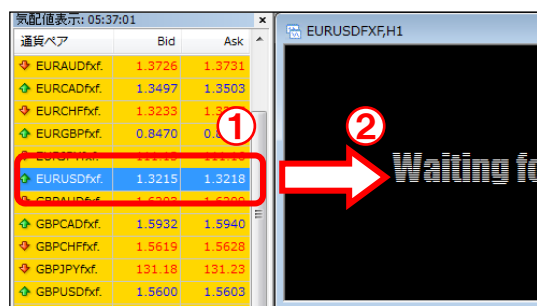
[ターミナル]の[操作履歴]タブでは、MetaTrader 4で行った操作を詳細に確認できます。

第3章 為替の動向を予想・分析する

通貨ペアのチャートを表示する

チャートの通貨ペアを変更する

まずは、動向を知りたい為替銘柄(通貨ペア)を、次の操作でチャートに表示しましょう。画面に「Waiting for update」または「アップデート待機中」と表示されているときは、次の操作で解消できます。



- ① [気配値表示] のなかから表示する通貨ペアを選んでクリック

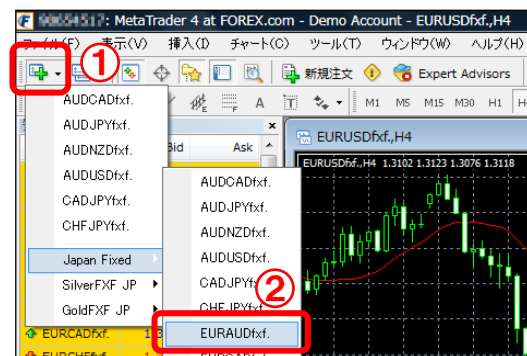
(マウスのボタンを押したまま…)

- ② 表示を変更したいチャートのウィンドウに、選んだ通貨ペアをドラッグ

(マウスのボタンを離す)
ドラッグ先のチャートが、選んだ通貨ペアに変化します。

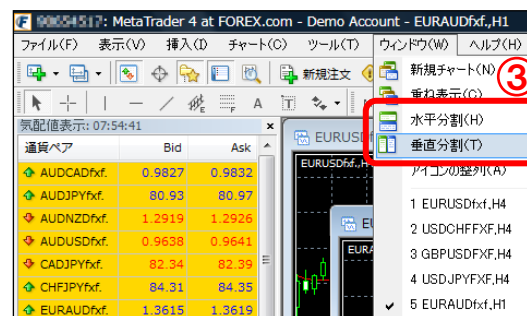


チャートを増やす



- ① ツールバーの [New Chart] をクリック
メニューが表示されます。

- ② 表示したい通貨ペアをクリック
選んだ通貨ペアのチャートが新しいウィンドウに表示されます。



- ③ ウィンドウメニューの [水平分割] または [垂直分割] をクリック
すべてのチャートのウィンドウが整列します。

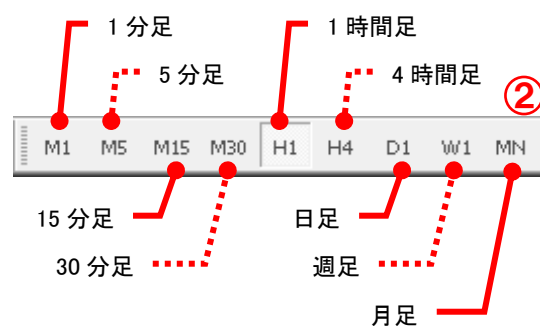
チャートを減らすとき

削除したいチャートの右上の [×] ボタンをクリックします。

チャートから為替の動向を予想する

チャートの表示方法を変更する

表示したばかりのチャートは、1時間足のバーチャートです。これを、取引の目的に応じた表示方法に変更しましょう。



- ③ 左から、バーチャート、
ロウソク足、ラインチャート



- ④ 左から、
ズーム・イン、
ズーム・アウト

- ① 表示を変更するチャートを
クリック

- ② ツールバーの周期設定ボ
タンをクリック

選んだ周期(1分足、1時間足、
日足など)にチャートの表示が
変化します。

- ③ チャートの種類ボタンをク
リック

チャートの表示が変化します。

- ④ ズームボタンをクリック

☐ ロウソク足のチャートがバ
ーチャートに見えるときは、
[ズーム・イン]をクリックします。

☐ [ズーム・イン]では、チャートの表示期
間が減ります。

☐ [ズーム・アウト]では、チャートの表示期
間が増えます。

チャートの表示が変化します。



⑤

- ⑤ [チャート移動]を何度かクリック

ウィンドウの右端にチャートの
右端が合うよう、チャートが移
動します。

☐ 一目均衡表の先行スパンを
見るときなどに、押した状態
(ON)にして、未来の状態を
表示します。

☐ マウスでウィンドウ内を左右
にドラッグしても、チャートを
移動できます。



⑥

- ⑥ [チャート移動]が押した状態(ON)で
あることを確認

時間と共に、チャートが自動的
に左に移動します。

☐ 過去のレートを見るときなど、
自動的に移動させたくない
場合は、押していない状態
(OFF)にします。

チャートに出来高を表示したいとき

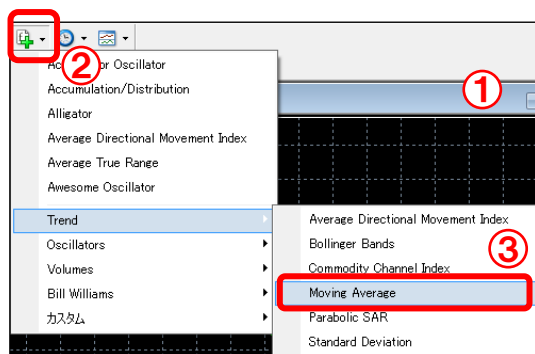
チャートメニューの[出来高]をクリックします。

チャートから為替の動向を予想する

テクニカルインディケーターを使う [罫線分析ツール]

為替の動向を予想するには、テクニカルインディケーター（罫線分析ツール）が役立ちます。MetaTrader 4にはさまざまなテクニカルインディケーターが備わっています。目的と状況に応じて使いわけましょう。

ここでは、基本的なテクニカルインディケーターであるMoving Average（移動平均線）を例に、テクニカルインディケーターの基礎的な使い方を説明します。



- ① チャートをクリック
- ② ツールバーの  をクリック
メニューが表示されます。
- ③ [Trend] サブメニューの [Moving Average] をクリック
Moving Averageのパラメーター設定画面が表示されます。
- ④ パラメーターを設定
☐ ここでは、単純移動平均線を表示することにします。
[移動平均の種類]で [Simple]を選択し、
[適用価格]で[Close]（終値）を選択します。
- ⑤ [OK] をクリック
チャートに単純移動平均線が表示されます。



●SMA（単純移動平均線）とは

過去の一定期間のレートの平均値を示すものです。為替動向のトレンド（上昇／下落）を予想できます。

その他の操作方法

挿入メニューの[罫線分析ツール]をクリックし、[Moving Average]をクリックします。
または、[ナビゲーター]の[罫線分析ツール]を開き、[Moving Average]をクリックします。

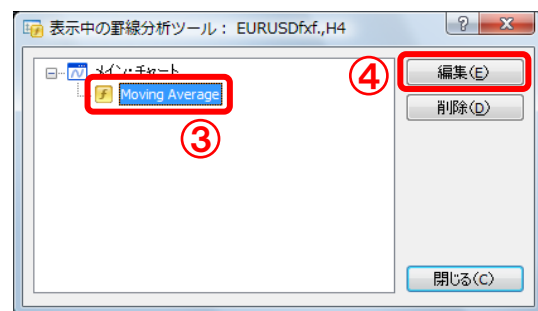
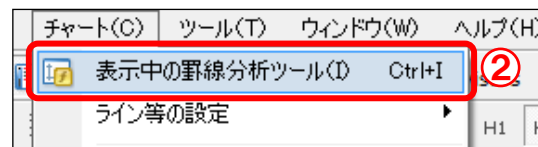
表示するテクニカルインディケーターを増やすとき

テクニカルインディケーターを追加するときは、手順①～⑤を繰り返します。区別のため、手順④で線の色を変えることをおすすめします。
同じ種類のテクニカルインディケーターを複数表示することもできます。例えば、手順④で[期間]の値を変更すると、異なる曲線の単純移動平均線を追加できます。

チャートから為替の動向を予想する

パラメーターを変更する

ここでは、Moving Averageの変更を例に説明します。



① チャートをクリック

② チャートメニューの[表示中の罫線分析ツール]をクリック

[表示中の罫線分析ツール]画面が表示されます。

③ [Moving Average]をクリック

④ [編集]をクリック

Moving Averageのパラメーター設定画面が表示されます。

⑤ パラメーターを変更

☐ ここでは、指数移動平均線に変更することになります。
[移動平均の種類]で
[Exponential]を選択します。

⑥ [OK]をクリック



⑦ [閉じる]をクリック

チャートのMoving Averageが指数移動平均線に変化します。

●EMA(指数移動平均線)とは

過去の値動きを考慮し、直近の値動きを多く反映するよう調整されている移動平均線です。SMAよりも、値動きに沿った動きとなるため、よりトレンドを把握しやすくなります。

テクニカルインディケーターを削除するとき

[表示中の罫線分析ツール]画面(手順③)でテクニカルインディケーター(左図では[Moving Average])を選択し、[削除]をクリックします。

必要なテクニカルインディケーターがないとき

MetaTrader 4では、カスタムインディケーターを追加して利用できます。

→ 第4章 P.45

チャートをカスタマイズして分析する

チャートをカスタマイズすることで、より自分に合った分析ができます。
ここでは、トレンドラインなどの分析ツールの追加方法などを説明します。

トレンドライン／等距離幅チャンネルを引く

チャートにトレンドラインや等距離幅チャンネルなどを引き、レートの上昇・下落を予想できます。ここでは、等距離幅チャンネルの引き方を例に説明します。

●トレンドラインとは

トレンドラインとは、

- ・ 上昇トレンドの場合： 安値と安値を結んだ線
- ・ 下落トレンドの場合： 高値と高値を結んだ線

のことで、

上昇トレンドラインを割り込んでレートが下落した場合、上昇トレンドの終了や上昇力の低下を示します。

下降トレンドラインを割り込んでレートが上昇した場合、下落トレンドの終了や下落の勢いの低下を示します。

●等距離幅チャンネルとは

相場はある一定のリズムを持って上昇と下落を繰り返すことが多く、平行な2本のラインを引くことで、上昇と下落の一定のリズムを把握しやすくなります。

等距離幅チャンネルを引く



トレンドラインの
とき

① ツールバーのをクリック

マウスポインターが等距離幅チャンネルのアイコンに変わります。



② 線の始点を決めてクリック (マウスのボタンを押したまま…)

2本の平行線が表示されます。

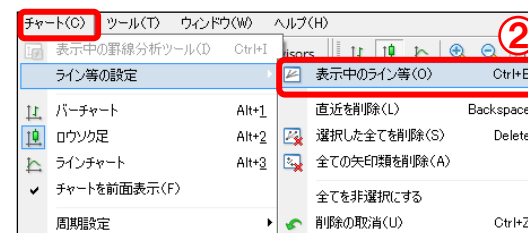
③ 線の終点までマウスをドラッグ (マウスのボタンを離す)

平行線の傾きが変化します。

等距離幅チャンネルを増やすとき

手順①から手順③を繰り返します。

等距離幅チャンネルを調整する

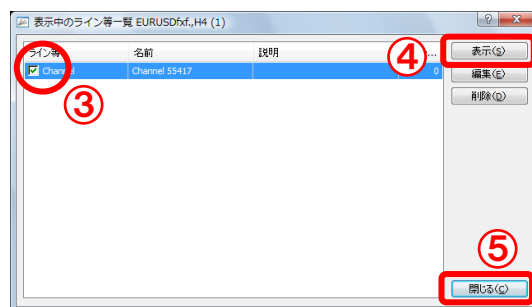


① チャートをクリック

② チャートメニューの[表示中のライン等]をクリック

[表示中のライン等一覧]画面が表示されます。

チャートをカスタマイズして分析する



③ ライン名にチェック(✓)を入れる

④ [表示] をクリック

⑤ [閉じる] をクリック

チャートの平行線に白い点が表示されます。



⑥ 白い点をマウスでドラッグ
線が移動します。

☐ 調整が終わったら、手順③の画面でチェック(✓)を消します。
平行線から白い点が消えます。

☐ 手順③の画面で[編集]をクリックして調整することもできます。

等距離幅チャンネルを削除するとき

[表示中のライン等一覧]画面(手順③)でライン名を選択し、[削除]をクリックします。

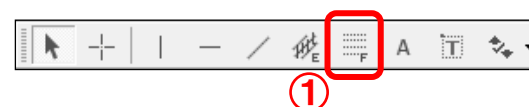
フィボナッチリトレースメントを引く

トレンドラインや等距離幅チャンネルだけではなく、その他の様々なラインをチャート上に引くことができます。

ここでは、フィボナッチリトレースメントの引き方を例に説明します。

●フィボナッチリトレースメントとは

フィボナッチリトレースメントとは、フィボナッチ数間の比(0.236、0.382、0.5、0.618)を用いて目標レートを推測する方法で、相場の戻りや押し目を判断するのに役立ちます。例えば、ある変動幅において、高値から、78.6%、61.8%、50%、38.2%、23.6%のところにラインを引き、押し目買いや戻り売りを行う際のレートを判断します。



① ツールバーのをクリック

マウスポインターがフィボナッチリトレースメントのアイコンに変わります。



② 始点(変動幅の高値または安値の位置)を決めてクリック
(マウスのボタンを押したまま…)

③ 終点(変動幅の高値または安値の位置)までマウスをドラッグ
(マウスのボタンを離す)

フィボナッチリトレースメントが引かれます。

フィボナッチリトレースメントを調整または削除するとき

等距離幅チャンネルと同じ操作で、調整または削除できます。

→ P.29

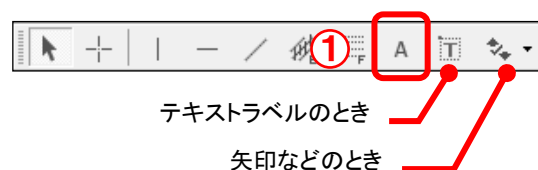
チャートをカスタマイズして分析する

テキストや矢印などを挿入する

チャート上にテキストや矢印などを挿入し、チャートをカスタマイズできます。

- MetaTrader 4でチャートに挿入できるテキストには、「テキスト」と「テキストラベル」の2つがあります。「テキスト」はチャートの日付に連動します。チャートがスクロールすると、テキストも一緒にスクロールします。「テキストラベル」はチャートの背景に貼り付きます。チャートがスクロールしても、テキストは動きません。
- 日本語のテキストを入力するときは、日本語フォントを指定してください。ただし、一部の画面で入力したテキストが正しく表示されないことがあります。

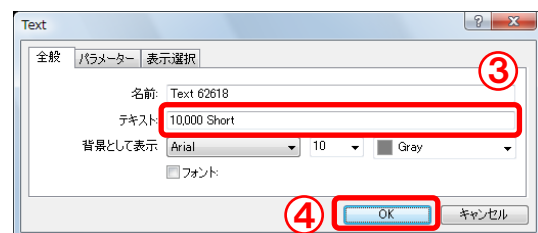
ここでは、テキストを挿入する場合を例に説明します。



- ① ツールバーの **A** をクリック
マウスポインターがabcに変わります。

- ② テキストを配置する位置を決めてクリック

[Text]画面が表示されます。



- ③ [テキスト] 欄に、テキストを入力

- ④ [OK] をクリック
テキストが挿入されます。



テキストや矢印などを調整または削除するとき

等距離幅チャンネルと同じ操作で、調整または削除できます。

→ P.29

チャートの状態を保存する

MetaTrader 4では、チャートの組み合わせや、チャートの表示設定を保存しておくことができます。

チャートの組み合わせに名前を付けて切り替える [組表示]

MetaTrader 4では、複数のチャートを同時に表示できます。しかし、次のように、状況に応じて表示するチャートを制限したいときがあります。

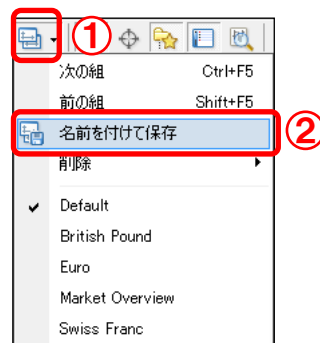
- ドル相場に関するチャートだけを表示したいとき
- ユーロ相場に関するチャートだけを表示したいとき

このような場合、それぞれのチャートの組み合わせ(チャートの組表示)に名前を付けて保存しておくくと便利です。(例:USDチャート、EURチャート)

簡単な操作で、表示するチャートの組み合わせを切り替えることができます。

チャートの組み合わせを保存する

まず、現在のチャートの組み合わせを、名前を付けて保存します。

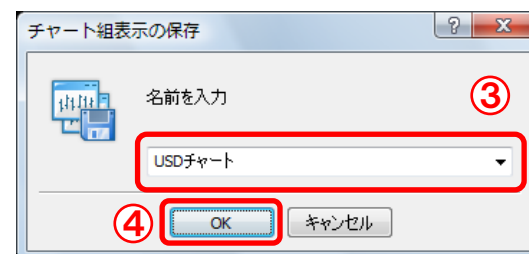


- ① ツールバーの をクリック

メニューが表示されます。

- ② [名前を付けて保存] をクリック

[チャート組表示の保存]画面が表示されます。



- ③ チャートの組み合わせの名前を入力

- ④ [OK] をクリック

チャートの組み合わせが保存され、ツールバーの のメニューに登録されます。



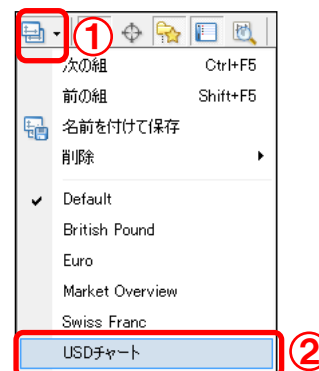
- ⑤ ツールバーの をクリック

メニューが表示されます。

- ⑥ [Default] をクリック

☐ 以後、チャートの数や種類を変更しても、手順④で保存したチャートの組み合わせには影響しません。

チャートの組み合わせを切り替える



- ① ツールバーの をクリック

メニューが表示されます。

- ② 以前に保存した名前をクリック

以前に保存したときのチャートの組み合わせが表示されます。

チャートの状態を保存する

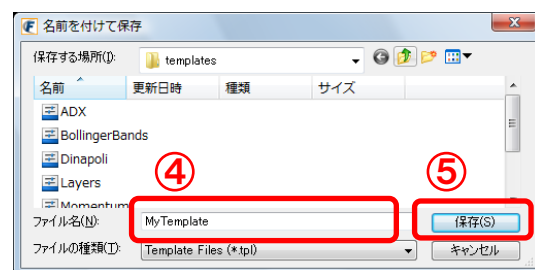
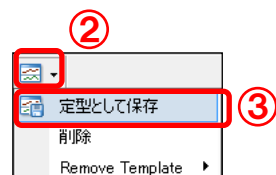
チャートの表示設定を別のチャートに適用する [定型]

チャートの表示設定をテンプレート(定型)として保存すると、別のチャートに簡単に適用できます。複数のチャートを同じ表示設定で統一したいときなどに便利です。

- ☐ チャートの周期設定(日足など)や種類(ロウソク足など)、表示しているテクニカルインディケーターの種類や設定を、一括して保存できます。

チャートの表示設定を定型として保存する

まず、定型するチャートを選び、その表示設定に名前を付けて保存します。



- ① チャートをクリック
- ② ツールバーの  をクリック
- ③ [定型として保存] をクリック
[名前を付けて保存]画面が表示されます。
- ④ [ファイル名] 欄に表示設定の名前を、半角の英数字で入力
☐ 日本語はMetaTrader 4で正常に表示されません。
- ⑤ [保存] をクリック

表示設定が保存され、ツールバーの  メニューに登録されます。

チャートの表示設定を適用する

次に、任意のチャートを選んで、保存済みの表示設定を適用します。



- ① チャートをクリック
- ② ツールバーの  をクリック
メニューが表示されます。
- ③ 以前に保存した名前をクリック
以前に保存した表示設定が、選択したチャートに適用されます。

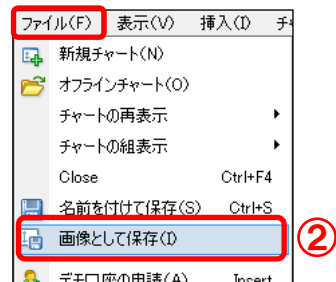
チャートの内容をほかのソフトで使う

チャートの内容をほかのソフトで使う場合、画像として利用するか、データとして利用するかを選ぶことができます。

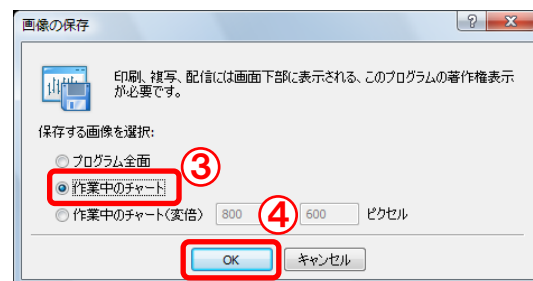
チャートを画像として保存する

チャートのウィンドウの内容を、BMP画像またはGIF画像として保存できます。
自身のホームページやブログにチャートを掲載する際などに便利です。

- ☐ ウィンドウに収まらずスクロールしないと表示されない部分は、画像として保存されません。
保存する前に、ウィンドウの大きさや拡大率を調整してください。



- ① チャートをクリック
- ② ファイルメニューの[画像として保存]をクリック
[画像の保存]画面が表示されます。



- ③ [作業中のチャート]をクリック
☐ [プログラム全体]は、MetaTrader 4の画面全体を保存するときに選びます。
☐ [作業中のチャート(変倍)]は、画像の大きさを指定したいときに選びます。

- ④ [OK]をクリック
[名前を付けて保存]画面が表示されます。



- ⑤ 保存先を選択
- ⑥ ファイル名を入力
- ⑦ ファイルの種類を選択
- ⑧ [保存]をクリック

チャートが画像として保存され、ファイルの種類に応じたアプリケーションで表示されます。



チャートの内容をほかのソフトで使う

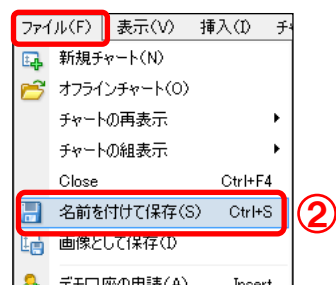
チャートをデータとして保存する

チャートの内容を、CSV形式、テキスト形式またはHTML形式で保存できます。

表計算ソフトやデータベースソフトで扱うときは、CSV形式が適しています。

☐ スクロールすると表示される部分は、すべてデータとして保存されます。

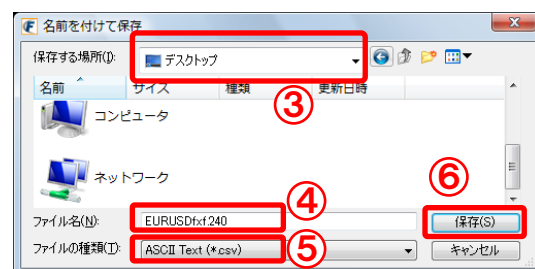
☐ テクニカルインディケーターの表示や、チャートに記入した線や矢印などは、データとして保存されません。



① チャートをクリック

② ファイルメニューの[名前を付けて保存]をクリック

[名前を付けて保存]画面が表示されます。



③ 保存先を選択

④ ファイル名を入力

⑤ ファイルの種類を選択

⑥ [保存]をクリック

チャートがデータとして保存されます。

第4章 自動的に売買する

自動売買するまでの流れ

MetaTrader 4には優れた自動売買機能が備わっています。世界中の投資家が開発した自動売買プログラム(EA:Expert Advisor)を使うことで、MetaTrader 4に取引させ続けることができます。

EA ファイルのインストール → 右段

バックテスト → P.37

EA の最適化 → P.40

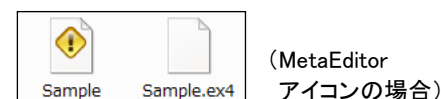
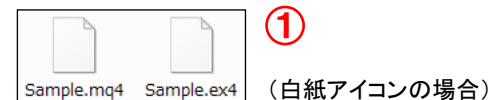
自動売買の実行 → P.43

自動売買についてのご注意

ゲインキャピタル・ジャパン株式会社では、特定のEAやインディケーターの推奨、または提供を行っておりません。したがって万が一、お客様が利用されているEAまたはインディケーター、その他の情報において何らかの不利益・不具合等が起こった場合、当社は一切関知せず、またその責任も一切持たないものとします。なお、EAおよびインディケーターの内容に関する質問や問い合わせには、一切応じられません。
※FOREX.com MT4 Web はEAや外部プログラムはご利用になれません。

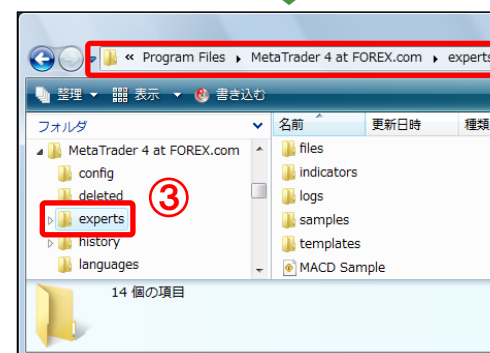
EAファイルをインストールする (Build600未満)

EAファイルには2種類あります(下図を参照)。ファイルの拡張子は、それぞれ「.mq4」と「.ex4」です。これらのいずれか、または両方をご用意ください。



① EAファイルを用意

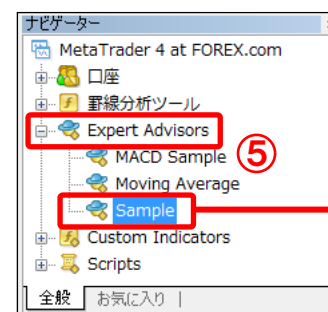
- ☐ 左図のファイル名は架空のもので。
- ☐ 拡張子「.mq4」のファイルはパソコンの設定によっては、黄色いマークのファイルになります(左図)。



② MetaTrader 4を終了

③ EAファイルを所定のフォルダにコピー

- ☐ 次の順にフォルダを開き、最後の[experts]フォルダのなかにコピーします。
[コンピュータ] → [ローカル ディスク (C:)] → [Program Files] → [MetaTrader 4 at FOREX.com] → [experts]



インストールした EA (削除するには、右クリックして[削除]をクリックします。)

④ MetaTrader 4を起動

⑤ [ナビゲーター] の [Expert Advisors] を開く

- ☐ インストールしたEAが表示されていれば、インストールは成功です。

過去の相場データでテストする [Strategy Tester]

自動売買においては、使用するEAの性能と設定が、安定した成果を残せるかどうかを大きく左右します。使用するEAが有用であることと、その設定が適切であることを、自動売買を実行する前に十分にテストしましょう。

●バックテスト機能

過去の相場データを使って、「もし、数ヶ月～数年前に自動売買を開始していたら、その後の損益はどうなっていたか」を調べる機能です。これを使うと、EAとその設定の有用性を判断できます。

バックテスト機能についてのご注意

バックテスト機能は、自動売買プログラム(EA:Expert Advisor)動作を検証するための機能です。サンプルEAとして[MACD Sample]と[Moving Average]が搭載されており、本書では[Moving Average]の最適化を例に説明しておりますが、これらサンプルEAの実際の売買において利益を保証するものではありません。

バックテストで得られる情報は、すべて過去の相場データに基づいています。そのため、同機能で最適化したEAの有効性を、将来にわたって保証することはできません。

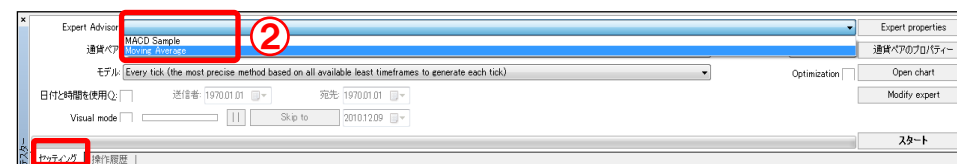
バックテストを開始する

ここでは、サンプルとしてあらかじめインストールされているMoving Average(移動平均線)を使って、バックテスト機能の基礎的な使い方を説明します。

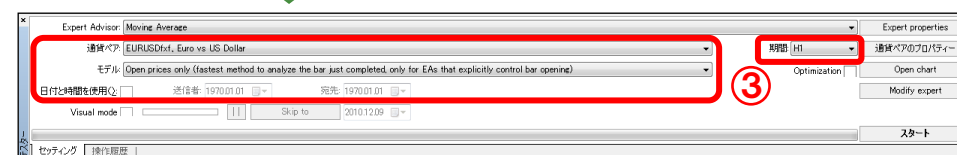


① ツールバーのをクリック
[テスト]画面が表示されます。

② [セッティング] タブの
[Expert Advisor] で
[Moving Average] を選択



③ パラメーターを設定



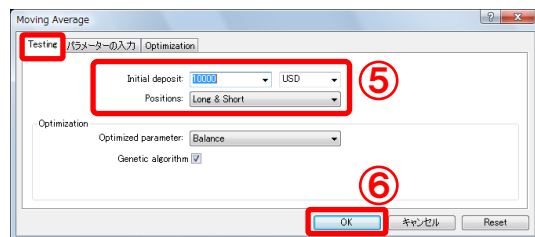
項目名	意味
通貨ペア	売買する通貨ペアを選択します。
モデル	EAの種類に合わせて選択します。 ☐ 「全ティック」は、すべてのEAに対応。(バックテストが遅い) ☐ 「コントロールポイント」は、多くのEAに対応。 ☐ 「始値のみ」は、非対応のEAがある。(バックテストが速い)
日付と時間を使用	バックテストの期間を指定する場合に、チェックを入れます。続いて、相場データをダウンロードするため、この画面で選択した通貨ペアをチャートに表示して、チャートの左端までスクロールしてください。 なお、指定した期間の相場データがサーバーにない場合は、サーバーにある相場データの範囲でバックテストを行います。 ☐ 「送信者」はバックテストの開始日。 ☐ 「宛先」はバックテストの終了日。
期間	周期設定を選択します。 ☐ 「Daily」は日足。

過去の相場データでテストする [Strategy Tester]



④ [Expert properties] をクリック

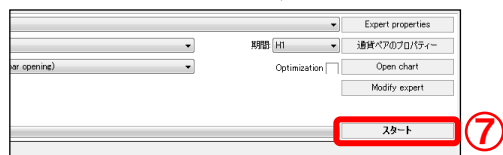
EAの設定画面が表示されます。



⑤ [Testing] タブでパラメーターを設定

⑥ [OK] をクリック

項目名	意味
Initial deposit	投資額と、その通貨を設定します。
Positions	売買の方向を選択します。 ☐ 「Long only」は、買いポジションのみ。(新規注文が常に買い) ☐ 「Short only」は、売りポジションのみ。(新規注文が常に売り) ☐ 「Long & Short」は、状況に応じて両方を行う。



⑦ [スタート] をクリック

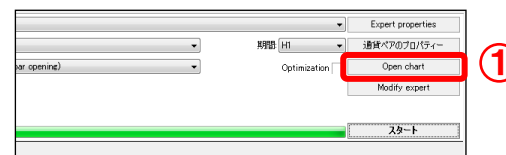
バックテストが開始され、ボタンが[ストップ]に変化します。

表示が[スタート]に戻ったら、バックテストは終了です。

☐ 続いて、バックテストの結果を評価します。

バックテストの結果を評価する

ここでは、前ページで行ったバックテストを例に、バックテストの結果の評価方法を説明します。



① [Open chart] をクリック

バックテストの結果のチャートが表示されます。



② チャートを確認

☐ マークは、買いポジションが立った位置です。

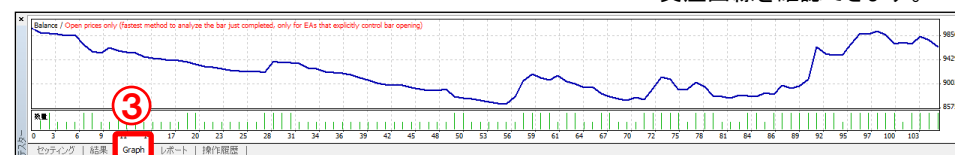
☐ マークは、売りポジションが立った位置です。

☐ マークは、ポジションを決済した位置です。対応するポジションと点線で繋がっています。

☐ 個々の取引については、[テスター]画面の[結果]タブで確認できます。

③ [テスター] 画面の [Graph] タブをクリック

資産曲線を確認できます。



過去の相場データでテストする [Strategy Tester]

④ [レポート] タブをクリック

詳細な結果を確認できます。

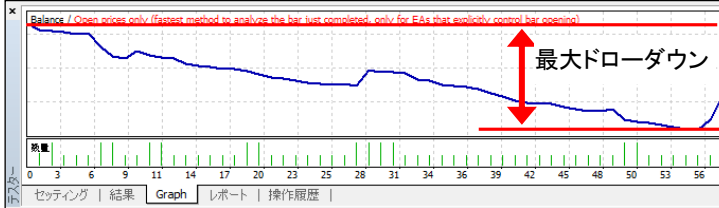
Total net profit	-333.80	Gross profit	3175.60	Gross loss	-3509.40
Profit factor	0.90	Expected payoff	-3.18		
Absolute drawdown	1363.40	Maximal drawdown	1385.40 (13.82%)	Relative drawdown	13.82% (1385.40)
Total trades	105	Short positions (won %)	61 (21.31%)	Long positions (won %)	44 (31.82%)
		Profit trades (% of total)	27 (25.71%)	Loss trades (% of total)	78 (74.29%)
		Largest profit trade	579.20	loss trade	-186.80
		Average profit trade	117.61	loss trade	-44.99
		Maximum consecutive wins (profit in money)	3 (727.20)	consecutive losses (loss in money)	19 (-526.60)

⑤ 以上の結果に基づいて、結果を評価

- ☐ 上図の場合、[Profit factor]が「1.00」未満なので、資産が減少しています。実際に運用できる結果ではありません。EAのパラメーターを調整する必要があります。

→ 次ページ

項目名	意味
Bars in test	バックテストに使ったバーの数。
Ticks modelled	バックテストで使ったティックの数。
Modelling quality	バックテストの正確さ。
Initial deposit	初期投資額。
Total net profit	総純損益。資産の増減量を示しています。 ☐ 「総利益 (Gross profit)」－「総損失 (Gross loss)」
Profit factor	プロフィットファクター。「1.00」以上なら純利益があります。 ☐ 「総利益 (Gross profit)」÷「総損失 (Gross loss)」
Expected payoff	期待損益。取引ごとの損益の平均値です。 ☐ 「総利益 (Total net profit)」÷「総トレード数 (Total trades)」
Absolute drawdown	初期投資額からのドロウダウン。 ☐ 「初期投資額 (Initial deposit)」－「最小ピーク値」

項目名	意味
Maximal drawdown	最大ドロウダウン。 ☐ 「資産曲線の最大ピーク値」－「最小ピーク値」 
Total trades	総トレード数。 数が多いほど、バックテストの信頼性が高くなります。
Short positions	売りトレード数と勝率。
Long positions	買いトレード数と勝率。
Profit trades	勝ちトレード数と勝率。
Loss trades	負けトレード数と敗率。
Largest ...	1トレード当たりの最大利益と最大損失。
Average ...	勝ちトレードの平均利益と、負けトレードの平均損失。
Maximal consecutive ...	最も連続した勝ちトレード数、負けトレード、利益、損失。
Average consecutive ...	連続勝ちトレード数と連続負けトレード数の平均値。

バックテストの結果を保存するとき

[レポート]タブのなかを右クリックし、[レポートの保存]をクリックします。保存形式はHTML形式です。

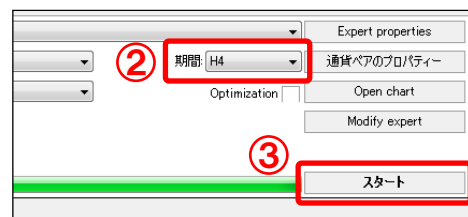
EAのパラメーターを調整する

バックテストの結果をもとにEAのパラメーターをさまざまに変更して、最も安定して利益がでるパラメーターを見つけます。

ここでは、「過去の相場データでテストする」(P.37)のバックテストを例に、EAの調整方法を説明します。

周期設定を変更する

まずは、周期設定の変更から初めてみましょう。



- ① [テスター] 画面でEAを選択し、パラメーターを設定

□ 操作について
→ P.37

- ② [期間] を変更

- ③ [スタート] をクリック

バックテストが実行されます。

- ④ [レポート] タブをクリック

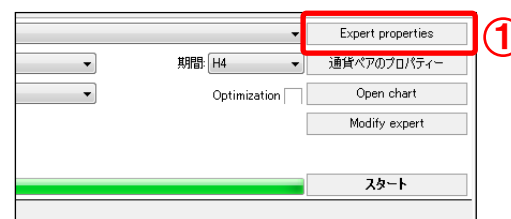
Total net profit	303.00	Gross profit	5097.20	Gross loss	-4794.20
Profit factor	1.06	Expected payoff	3.99		
Absolute drawdown	1792.20	Maximal drawdown	1641.40 (16.25%)	Relative drawdown	16.25% (1641.40)
Total trades	76	Short positions (won %)	29 (31.03%)	Long positions (won %)	47 (25.53%)
		Profit trades (% of total)	21 (27.63%)	Loss trades (% of total)	55 (72.37%)
		Largest profit trade	1611.60	loss trade	-729.60
		Average profit trade	242.72	loss trade	-87.17
		Maximum consecutive wins (profit in money)	3 (1796.80)	consecutive losses (loss in money)	7 (-531.80)

- ⑤ バックテストの結果を評価

□ 上図の場合、[Profit factor]が「1.00」より少しだけ大きくなっているのので、資産がやや増加しています。前ページの結果と比べて改善されました。

EAのパラメーターを変更する

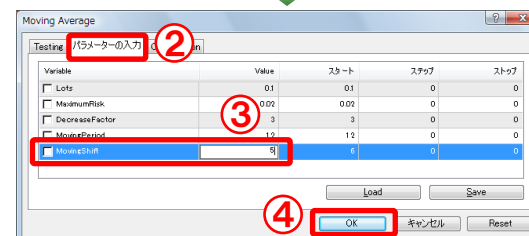
次に、EAごとのパラメーターを変更してみましょう。



- ① [テスター] 画面で [Expert properties] をクリック

EAの設定画面が表示されます。

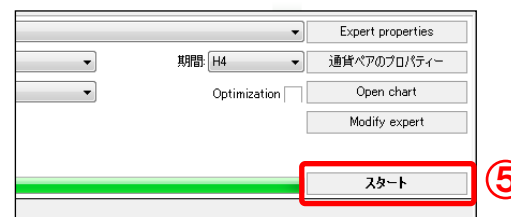
□ 左下の図は、[Moving Average]の設定画面です。



- ② [パラメーターの入力] タブをクリック

- ③ 任意のパラメーターの [Value] 欄を変更

- ④ [OK] をクリック



- ⑤ [スタート] をクリック

バックテストが実行されます。

- ⑥ [レポート] タブをクリック

- ⑦ バックテストの結果を評価

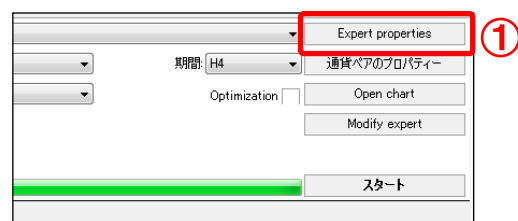
□ 左図では、[Profit factor]が改善されています。

Total net profit	1161.00	Gross profit	
Profit factor	1.22	Expected payoff	
Absolute drawdown	1681.80	Maximal drawdown	
Total trades	84	Short positions (won %)	
		Profit trades (% of total)	
		Largest profit trade	
		Average profit trade	
		Maximum consecutive wins (profit in money)	

EAのパラメーターを調整する

EAのパラメーターを自動的に変更する [最適化]

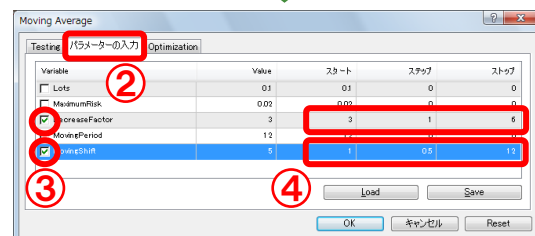
前ページの方法では、パラメーターを1つ変更するたびにバックテストを行うことになります。これでは、パラメーターをさまざまに変更するときに手間がかかりすぎます。しかし、MetaTrader 4には、複数のパラメーターを自動的に変更してバックテストを繰り返す機能があります。これを使うことで、最適なパラメーターの組み合わせを簡単に見つけ出せます。これをEAの最適化と呼びます。ここでは、EAの最適化の概要を説明します。



① [テスター] 画面で [Expert properties] をクリック

EAの設定画面が表示されます。

☐ 左下の図は、[Moving Average]の設定画面です。



② [パラメーターの入力] タブをクリック

③ 任意のパラメーターにチェック(✓)を入れる

☐ チェックしたパラメーターが、最適化の対象になります。

④ チェックしたパラメーターの下記の3列に入力

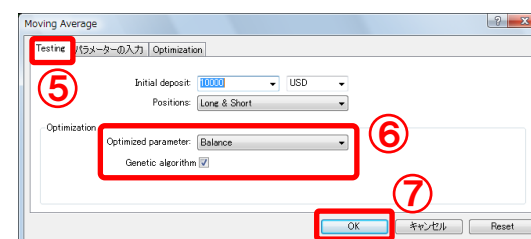
項目名	意味
スタート	パラメーターの初期値。
ステップ	パラメーターの変化幅。
ストップ	パラメーターの最終値。

EAの最適化のしくみ

左図の場合、3行目のパラメーター[DecreaseFactor]を、初期値「3」から変化幅「1」刻みで増やして最終値「6」になるまで繰り返しバックテストする設定になっています。つまり、4種類の設定でバックテストします。

さらに、5行目のパラメーター[MovingShift]は、「1」から「0.5」刻みで「12」まで増やすので、こちらは23種類の設定でバックテストします。

MetaTrader 4は、EAの設定画面でチェックを付けたパラメーターを組み合わせでバックテストします。左図の場合、2つのパラメーターにチェックを付けているので、パラメーターの設定の組み合わせは92種類になります。そして、92回のバックテストの結果から最も成果を上げた組み合わせを見つけます。これがEAの最適化です。



⑤ [Testing] タブをクリック

⑥ [Optimization] を検討

☐ 必要に応じて変更します。

⑦ [OK] をクリック

項目名	意味
Optimized parameter	何を優先して最適化するかを選択します。 ☐ 「Balance」は、資産残高。 ☐ 「Profit Factor」「Expected Payoff」「Maximal Drawdown」 → P.38 ☐ 「Drawdown Percent」は、最大ドローダウンの割合。
Genetic algorithm	遺伝的アルゴリズムを用いてバックテストの回数を削減し、最適化にかかる時間を短縮できます。

EAのパラメーターを調整する



Pass	損益	Total trades	Profit factor	Exp
64	5523.80	57	2.72	
63	5523.80	57	2.72	
62	5523.80	57	2.72	
60	5523.80	57	2.72	
59	5523.80	57	2.72	
58	5523.80	57	2.72	
61	5420.80	57	2.69	



パラメーターの入力	
DecreaseFactor=6; MovingShift=9.5; Lots=0.1; MaximumRisk=0.02; MovingPeriod=12;	
DecreaseFactor=5; MovingShift=9.5; Lots=0.1; MaximumRisk=0.02; MovingPeriod=12;	
DecreaseFactor=4; MovingShift=9.5; Lots=0.1; MaximumRisk=0.02; MovingPeriod=12;	
DecreaseFactor=6; MovingShift=9; Lots=0.1; MaximumRisk=0.02; MovingPeriod=12;	
DecreaseFactor=5; MovingShift=9; Lots=0.1; MaximumRisk=0.02; MovingPeriod=12;	
DecreaseFactor=4; MovingShift=9; Lots=0.1; MaximumRisk=0.02; MovingPeriod=12;	
DecreaseFactor=3; MovingShift=9.5; Lots=0.1; MaximumRisk=0.02; MovingPeriod=12;	

⑧ [Optimization] にチェック (✓)を入れる

⑨ [スタート] をクリック

最適化が開始され、ボタンが [ストップ] に変化します。

表示が [スタート] に戻ったら、最適化は終了です。

⑩ [Optimization Results] タブをクリック

⑪ 結果を確認

それぞれの行がバックテスト1回分の結果です。最良の結果が、最初に表示されます。

左図では、[Profit factor] が大幅に向上しています。

⑫ パラメーターを確認

左図では、[DecreaseFactor] が「6」、[MovingShift] が「9.5」のときに最良の結果を出したことがわかります。

最適化の結果をグラフで見るとき

[テスター]画面の[Optimization Graph]タブで確認できます。複数のパラメーターを最適化した場合は、グラフの種類を変更できます。グラフを右クリックして[2D Surface]を選びます。

グラフを画像として保存するには、右クリックして[Save as Picture]を選びます。GIF形式で保存できます。

以上は、EAの最適化の概要です。実際には、より多くのパラメーターを最適化の対象にしてください。

自動売買を実行する [Expert Advisors]

EAファイルをインストールし、EAをバックテストして最適化を済ませたら、いよいよ自動売買を実行します。

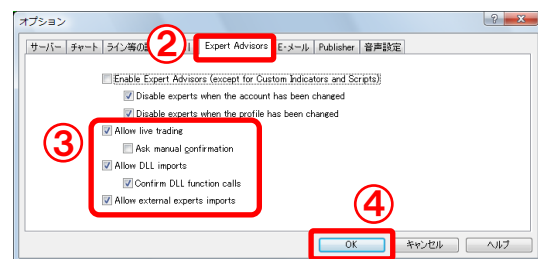
自動売買を準備する

MetaTrader 4 を準備する



① ツールメニューの [オプション] をクリック

[オプション]画面が表示されます。



② [Expert Advisors] タブをクリック

③ 次の4項目にチェック(✓)を入れる

- ☐ [Allow live trading]
- ☐ [Allow DLL imports]
- ☐ [Confirm DLL function calls]
- ☐ [Allow import of external experts]

④ [OK] をクリック

パソコンを準備する

自動売買のあいだパソコンが常に動作し続けるように設定します。詳しくは、お使いのパソコンのマニュアルをご覧ください。

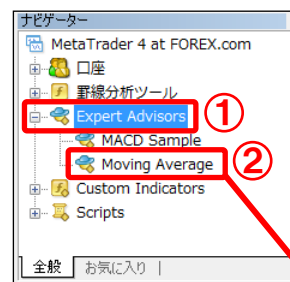
□ スタートメニューから[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]→[コンピュータがスリープ状態になる時間を変更]の順にクリックし、[コンピュータをスリープ状態にする]で[なし]を選択し、[変更の保存]をクリックします。

□ スタートメニューから[コントロールパネル]→[更新プログラムの確認]→[設定の変更]の順にクリックし、[重要な更新プログラム]で[更新プログラムを確認するが、ダウンロードとインストールを行うかどうかは選択する]を選択し、[OK]をクリックします。

□ ノートパソコンの場合、AC アダプターを接続します。

自動売買を開始する

ここでは、サンプルとしてあらかじめインストールされているMoving Average (移動平均線)を使って、自動売買について説明します。



① [ナビゲーター] の [Expert Advisors] を開く

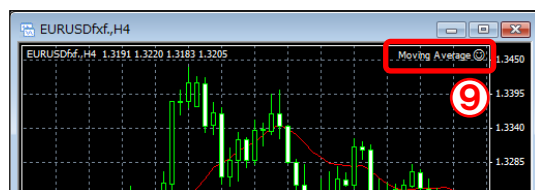
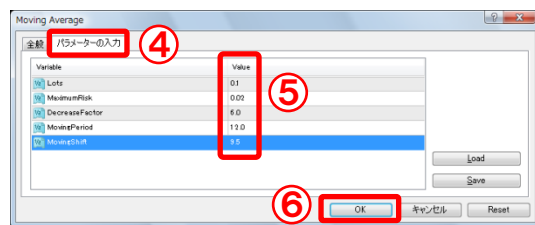
② [Moving Average] をクリック
(マウスのボタンを押したまま…)



③ 自動売買したい通貨ペアのチャートのウィンドウに、[Moving Average] をドラッグ
(マウスのボタンを離す)

EAの設定画面が表示されます。

自動売買を実行する [Expert Advisors]



④ [パラメーターの入力] タブをクリック

⑤ それぞれのパラメーターの [Value] 欄に入力

☐ EAの最適化で求めた値を入力します。

→ P.41

⑥ [OK] をクリック

チャートの右上隅に「Moving Average」と表示されます。

⑦ ツールバーの周期設定ボタンをクリック

☐ EAの最適化の際に選んだ設定にします。

→ P.40

⑧ ツールバーの Expert Advisors をクリック

ツールバーのボタンが  に変化します。

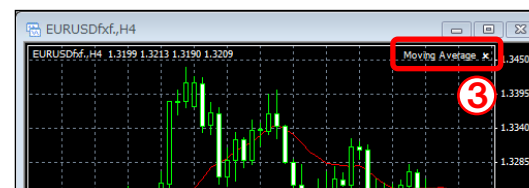
⑨ チャートの右上隅に「Moving Average」と表示されたことを確認
自動売買が開始されました。

別のマークが表示されたとき

チャートの右上隅に「Moving Average」と表示されたときは、自動売買が開始されていません。

チャートからいったんEAを削除し(下記)、MetaTrader 4に自動売買の準備を正しく設定したのち(→P.43)、手順①からやり直してください。その際に、[Allow line trading]を必ずチェックしてください。

自動売買を終了する



① チャートをクリック

② ツールバーの Expert Advisors をクリック

ツールバーのボタンが  に変化します。

③ チャートの右上隅に「Moving Average」と表示されたことを確認
自動売買が終了しました。

チャートから EA を削除するとき

チャートを右クリックし、ポップアップメニューの[Expert Advisors]サブメニューで[削除]をクリックします。チャートの右上隅の表示が消えます。

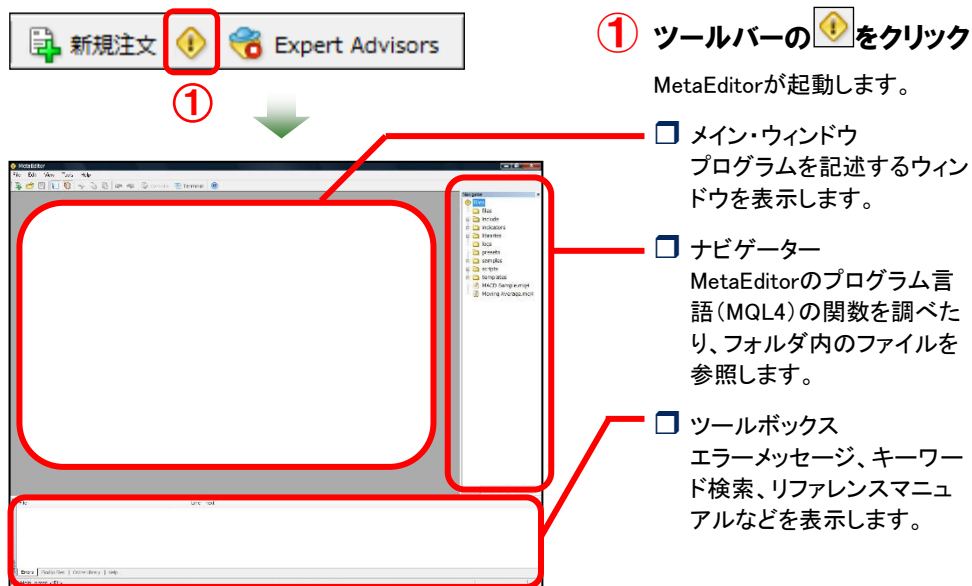
テクニカルインディケーターや EA ファイルを作る

MetaTrader 4では、付属のMetaEditorを使って自分用のテクニカルインディケーター（カスタムインディケーター）を作ることができます。なお、カスタムインディケーターは、サンプルとしてあらかじめ20種類が用意されています。

さらに、MetaEditorではEAファイルを作ることができます。

MetaEditorを起動する

ここでは、MetaEditorを起動する方法を説明します。MetaEditorの使い方については、MetaEditorのヘルプメニュー（英語）をご覧ください。



① ツールバーの  をクリック
MetaEditorが起動します。

② メイン・ウィンドウ
プログラムを記述するウィンドウを表示します。

③ ナビゲーター
MetaEditorのプログラム言語（MQL4）の関数を調べたり、フォルダ内のファイルを参照します。

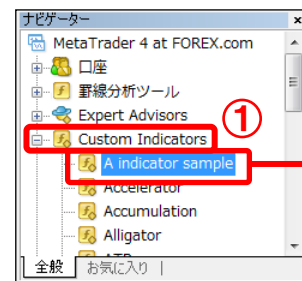
④ ツールボックス
エラーメッセージ、キーワード検索、リファレンスマニュアルなどを表示します。

MetaEditorを終了するとき

Fileメニューの[Exit]をクリックします。

カスタムインディケーターを確認する

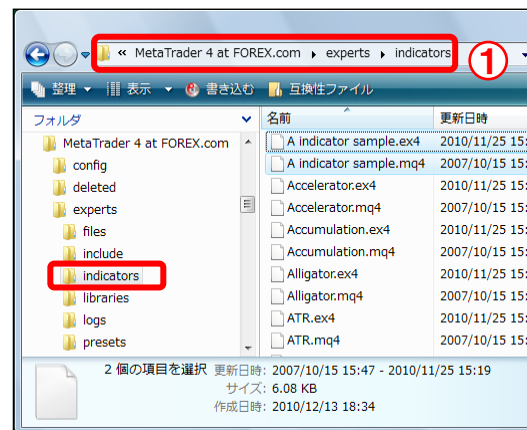
MetaEditorで作成したカスタムインディケーターは、次の場所に表示されます。



① [ナビゲーター] の [Custom Indicators] を開く
作成したインディケーター（削除するには、右クリックして[削除]をクリックします。）

カスタムインディケーターの保存先

MetaEditorで作成したカスタムインディケーターは、次のフォルダに保存されます。



① 次の順にフォルダを開く

- ① [コンピュータ] → [ローカル ディスク (C:)] → [Program Files] → [MetaTrader 4 at FOREX.com] → [experts] → [indicators]

最後の[indicators]フォルダに保存されています。

EA ファイルの保存先

EAファイルのインストール先（[experts] フォルダ）に保存されます。

➔ P.36

第5章 ライブ口座に入金する

実際の口座を開設する

デモ口座での取引練習に慣れたら、いよいよ実際の口座(ライブ口座)を開設して取引しましょう。



① ブラウザのURL欄に次のURLを入力
<https://www.forex.com/jp/>

② Enterキーを押す
FOREX.comのサイトが表示されます。

③ [口座開設]をクリック
[口座申込み]ページが表示されます。

④ [MetaTrader 4口座開設]をクリック
[MetaTrader 4口座開設]ページが表示されます。

□ 以後、画面の指示に従って操作します。

ログイン ID とパスワードを必ず控えてください

MetaTrader 4で取引する際に必要になります。さらに、Webのマイアカウントを利用する際にも必要です。

マイアカウントでできることについて

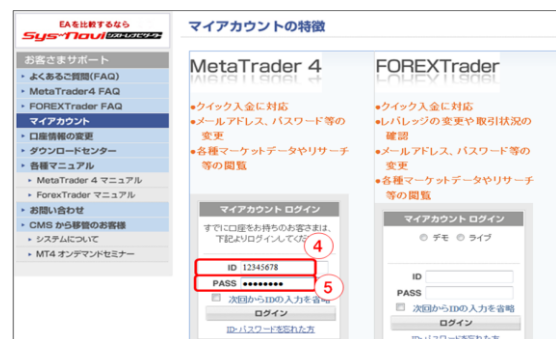
Webのマイアカウントでできること

当社のWebページのマイアカウントでは、以下を行うことができます。

- お客様情報の確認 → 本ページ手順⑥
- 入金のお手続き → P.48
- 出金依頼のお手続 → P.50
- 登録情報の確認と変更 → P.51
- 投資情報の確認 → P.52

※マイアカウント内の機能が一部変更になっている場合がありますのでご注意ください。

マイアカウントにログインする



① ブラウザのURL欄に次のURLを入力
<http://www.forex.com/jp/>

② Enterキーを押す

③ [マイアカウント]をクリック
[マイアカウント]ページが表示されます。

④ MetaTrader 4の[マイアカウント ログイン]に、ライブ口座のログインIDとパスワードを入力

- ☐ [ID]欄にログインIDを、
- ☐ [PASS]欄にパスワードを入力します。

⑤ [ログイン]をクリック
[ホーム]ページが表示されます。



⑥ [お客様情報]を確認

- ☐ ご登録いただきましたお客様のお名前、住所、メールアドレスが表示されます。

お問い合わせがあるとき／資料をダウンロードページしたいとき

マイアカウントの[サポート]ページをご利用ください。



オンラインで入金する [クイック入金]

クイック入金は、24時間・365日、いつでもライブ口座に即時入金できるサービスです。クイック入金の対象となる提携金融機関は、「三菱東京UFJ銀行」、「三井住友銀行」、「みずほ銀行」、「楽天銀行」、「住信SBIネット銀行」、「ゆうちょ銀行」、「ジャパンネット銀行」となります。

ここでは、三菱東京UFJ銀行から入金する場合を例に説明します。

☐ クイック入金時の振込手数料は全て無料です。



① **マイアカウントにログイン**
[ホーム]ページが表示されます。

② **[入金]をクリック**
[入金]ページが表示されます。

③ **[クイック入金]をクリック**
[入金]の[クイック入金]ページが表示されます。

④ **入金額を半角数字で入力**

⑤ **銀行名を選択**

⑥ **[送信]をクリック**

選択した銀行のインターネットバンキングのページが表示されます。

☐ 以降の画面と操作は、選択した銀行ごとに異なります。詳しくは、ご利用の銀行にお問い合わせください。

⑦ **注意事項を確認**

⑧ **[同意する]をクリック**

オンラインで入金する [クイック入金]

⑨ 銀行の[ご契約番号]を入力

⑩ 銀行の[パスワード]を入力

⑪ [ログイン]をクリック
お客様の口座に入金されます。

⑫ 入金内容を確認

<注意事項>

- ・各提携銀行のインターネットバンキングサービスにご登録ください。
- ・手続き後は、MetaTrader 4 の[ターミナル]の[口座履歴]タブをご確認ください。
- ・手続きを完了せず途中で画面を閉じた場合やインターネット回線の通信状況により正しくデータの送信ができなかった場合は、お振込み金額が反映されない場合があります。
- ・当社のシステムメンテナンス時間帯は、本サービスはご利用できませんのでご注意ください。
- ・各行のシステムメンテナンス時間帯は、本サービスはご利用できませんのでご注意ください。各金融機関のメンテナンス時間は提携金融機関のウェブサイトにてご確認ください。

クイック入金をご利用になれない銀行口座をお使いのとき

当社よりお送りした「口座開設準備完了のお知らせ」に記載された銀行口座にお振り込みください。1～2営業日で、ご入金額がライブ口座に反映されます。
詳しくは、マイアカウントの[入出金]ページの[銀行振込]ページをお読みください。

クイック入金について

クイック入金の入金額は、1万円～250万円となります。1万円未満のご入金は受け付けておりませんので、予めご了承ください。また、250万円以上のご入金の場合は複数回に分けてご入金ください。

オンラインで出金する[出金依頼]

ライブ口座からご登録の銀行口座へ出金するには、マイアカウントで出金依頼を行います。2～3営業日以内に、指定した出金額がご登録の銀行口座に振り込まれます。

☐ 出金時の振込手数料は当社が負担します。(お客さまは無料)



① **マイアカウントにログイン**
[ホーム]ページが表示されます。

② **[入金]をクリック**
[入金]ページが表示されます。

③ **[クイック入金]をクリック**
[入金]の[クイック入金]ページが表示されます。



④ **出金額を半角数字で入力**

⑤ **ご出金の理由を入力**

⑥ **[私は下記を了承の上、出金を依頼します。]にチェック(✓)を入れる**

⑦ **[送信]をクリック**
ご登録の銀行口座への出金処理が開始されます。

証拠金残高にご注意ください

相場の急変等により証拠金残高が不足となった場合、ポジションが強制決済されることがあります。

出金の履歴を確認するとき

左段の画面の[出金履歴一覧]をクリックします。

登録情報を変更する [登録情報]

マイアカウントの[登録情報]ページでは、お客様の次の情報の確認と変更ができます。

- メールアドレス
- 電話番号 (FAX番号と携帯電話番号を含む)
- マイアカウントとMetaTrader 4のパスワード

メールアドレスや電話番号を変更された場合は、必ず登録情報を変更してください。

ここでは、メールアドレスを変更する場合を例に説明します。



- ① **マイアカウントにログイン**
[ホーム]ページが表示されます。

- ② **[登録情報]をクリック**
[登録情報]ページが表示されます。

- ③ **[メールアドレス変更]をクリック**

[登録情報]の[メールアドレス変更]ページが表示されます。

- ☐ [住所変更～こちらをクリックしてください]をクリックすると、住所変更や資金受取金融機関の変更用紙をダウンロードできます。



- ④ **現在のメールアドレスを入力**

- ⑤ **新しいメールアドレスを入力(2か所)**

- ⑥ **[送信]をクリック**
メールアドレスが変更されます。

リサーチ情報やニュースを読む

マイアカウントでは、為替の動向予想に役立つ様々なリサーチ情報やニュースを閲覧できます。取引の際にご活用ください。

リサーチ情報を読む

マイアカウントの[リサーチ]ページでは、FOREX.com独自の様々なリサーチ情報を閲覧できます。



① **マイアカウントにログイン**
[ホーム]ページが表示されます。

② **[リサーチ]をクリック**
[リサーチ]ページが表示されます。



第6章 付録

よくあるご質問

MetaTrader 4の操作方法などでわからないことがある場合は、まず、このページをご覧ください。

それでも問題を解決できないときは、FOREX.comにメールまたは電話で問い合わせることができます。

- ☐ お問い合わせの内容やタイミングによっては、メールでの回答に時間がかかる場合があります。ご了承ください。
- ☐ 当社ホームページの「よくあるご質問」もぜひご覧ください。
<https://www.forex.com/jp/support/faq/general>
- ☐ メールでのお問い合わせ
jpclientservices@forex.com
- ☐ 電話でのお問い合わせ（フリーダイヤル）
0120-288-168

画面にチャートしか表示されない

MetaTrader 4の表示メニューで[チャート全画面表示]をクリックします。

チャートを印刷すると白黒になる

MetaTrader 4のツールメニューで[オプション]をクリックします。表示された[オプション]画面の[チャート]タブで、[カラー印刷]にチェックを入れてください。

デモ口座で稼動した EA がライブ口座で作動しない

MetaTrader 4のツールメニューで[オプション]をクリックします。表示された[オプション]画面の[Expert Advisors]タブで、以下の4項目にチェックを入れてください。

- ☐ Enable Expert Advisors (except for Custom Indicators and Scripts)
- ☐ Disable experts when the account has been changed
- ☐ Disable experts when the profile has been changed
- ☐ Allow live trading

トレイリング・ストップ注文が機能していない

トレイリング・ストップ注文が有効であるためにはパソコンがインターネットに接続し、MetaTrader 4で取引用サーバーにログインしていることが必要です。

接続を中断したとき、またはMetaTrader 4を終了したときは、トレイリング・ストップ注文は通常の指値注文または逆指値注文に切り替わります。

MetaTrader 4で取引用サーバーにログインすれば、再びトレイリング・ストップ注文が有効になります。

なお当社が提供しているMT4 EAホスティングのサービスをご利用の場合は、この限りではありません。

メニュー索引

ファイルメニュー		参照
新規チャート	新たなチャートを表示できます。	→P.25
オフラインチャート	インターネットに接続せず、過去のチャートを表示できます。	—
チャートの再表示	閉じたチャートを再表示できます。	
チャートの組表示	チャートの組み合わせを保存し、再表示できます。	→P.32
Close	選択したチャートを閉じます。	—
名前を付けて保存	選択したチャートをデータとして保存できます。	→P.35
画像として保存	選択したチャートを画像として保存できます。	→P.34
デモ口座の申請	デモ口座を開設できます。	→P.8
ログイン	別の口座でログインし直せます。	→P.10
プリンターの設定	プリンターを設定できます。	—
印刷プレビュー	選択したチャートの印刷プレビューを表示します。	
印刷	選択したチャートを印刷できます。	
プログラムの終了	MetaTrader 4を終了し、ログアウトします。	

表示メニュー		参照
Languages	MetaTrader 4に表示する言語を選択できます。日本語で表示するときは「Japanese」を選択します。	—
ツールバー	表示するツールバーを選択できます。	→P.12
ステータスバー	ステータスバーの表示/非表示を切り替えます。	—
チャートバー	チャートの下に表示される通貨ペア名のタブ(チャートバー)の表示/非表示を切り替えます。	
気配値表示	気配値表示の表示/非表示を切り替えます。	→P.12

表示メニュー(つづき)		参照
データ・ウィンドウ	データ・ウィンドウの表示/非表示を切り替えます。	→P.12
ナビゲーター	ナビゲーターの表示/非表示を切り替えます。	
ターミナル	ターミナルの表示/非表示を切り替えます。	
Strategy Tester	Strategy Testerの表示/非表示を切り替えます。	
チャート全画面表示	チャート以外をすべて非表示にします。または、元に戻します。	—

挿入メニュー		参照
罫線分析ツール	テクニカルインディケーターをチャートに挿入できます。	→P.27
ライン	各種ラインをチャートに挿入できます。	→P.29
チャンネル	各種チャンネルをチャートに挿入できます。	
ギャン	ギャンラインなどをチャートに挿入できます。	—
フィボナッチ	フィボナッチをチャートに挿入できます。	→P.30
図形	長方形・三角形などをチャートに挿入できます。	—
矢印類	矢印などをチャートに挿入できます。	
アンドリューズ・ピッチフォーク	アンドリューズ・ピッチフォークをチャートに挿入できます。	
サイクル・ライン	サイクル・ラインをチャートに挿入できます。	→P.31
テキスト	テキストをチャートに挿入できます。	
テキストラベル	テキストラベルをチャートの背景に貼り付けられます。	

メニュー索引

チャートメニュー		参照
表示中の罫線分析ツール	テクニカルインディケーターのパラメーターを変更できます。	→P.27
ライン等の設定	ラインの位置などを調整できます。	→P.29
バーチャート／ ロウソク足／ ラインチャート	チャートの種類を変更できます。	→P.26
チャートを前面表示	選択したチャートを前面に移動できます。	—
周期設定	チャートの周期(1分足、1時間足など)を変更できます。	→P.26
定型チャート	チャートの表示設定を定型として保存できます。	→P.33
更新	チャートが自動的に更新されないとき、手動で更新できます。	—
グリッド	チャートにグリッドを表示できます。	
出来高	チャートに出来高のグラフを表示できます。	
自動スクロール	チャートが自動的にスクロールします。	→P.26
チャートの右端移動	チャートの右端がウィンドウの端まで移動します。または、端から距離が空くよう移動します。	—
ズームイン／ ズームアウト	チャートを拡大または縮小できます。	
ステップ・バイ・ ステップ	チャートを区切りごとに移動します。	
プロパティ	チャートの表示設定やラインの色などを設定できます。	—

ツールメニュー		参照
新規注文	選択したチャートの通貨ペアで新規注文できます。	→P.14
History Center	過去のデータを取り込みます。	—
Global Variables	Global Variablesを追加／削除できます。	
MetaQuotes Language Editor	MetaEditorを表示し、カスタムインディケーターやEAを作成できます。	
オプション	MetaTrader 4全体についての設定を行えます。	—

ウィンドウメニュー		参照
新規チャート	新たなチャートを表示できます。	→P.25
重ね表示	チャートを重ねて表示します。	—
水平分割	チャートを縦に並べます。チャートが多いときは、横にも並べます。	→P.25
垂直分割	チャートを横に並べます。チャートが多いときは、縦にも並べます。	
アイコンの整列	最小化したチャートをドラッグして移動していた場合、チャート表示領域の下端に整列させます。	—

herupumenuー		参照
ヘルプ・トピックス	MetaTrader4のヘルプ(英語)が表示されます。	—
MQL4.community	EAのユーザー・コミュニティ(英語)が表示されます。	
バージョン情報	MetaTrader 4のバージョンが表示されます。	

ツールバー索引

標準ツールバー		参照
 New Chart	新たなチャートを表示できます。	→P.25
 Chart Group	チャートの組み合わせを保存し、再表示できます。	→P.32
 Market Watch	気配値表示の表示/非表示を切り替えます。	→P.12
 Data Window	データ・ウィンドウの表示/非表示を切り替えます。	
 Navigator	ナビゲーターの表示/非表示を切り替えます。	
 Terminal	ターミナルの表示/非表示を切り替えます。	
 Strategy Tester	Strategy Testerの表示/非表示を切り替えます。	
 新規注文 新規注文	選択したチャートの通貨ペアで新規注文できます。	→P.14
 MetaEditor	MetaEditorを表示し、カスタムインディケーターやEAを作成できます。	—
 Expert Advisors	Expert Advisors	自動売買を開始/停止できます。

チャートツールバー		参照
 Bar Chart	バーチャートに切り替えます。	→P.26
 Candle Sticks	ロウソク足チャートに切り替えます。	
 Line Chart	ラインチャートに切り替えます。	
 Zoom In	チャートを拡大できます。	
 Zoom Out	チャートを縮小できます。	
 Auto Scroll	チャートが自動的にスクロールします。	
 Chart Shift	チャートの右端がウィンドウの端まで移動します。 または、端から距離が空くよう移動します。	→P.27
 Indicators	テクニカルインディケーターを挿入できます。	
 Periods	周期(1分足、1時間足など)を変更できます。	→P.26
 Templates	表示設定を定型として保存できます。	→P.33

ライン等ツールバー		参照
 Cursor	チャートにカーソルを合わせると、日付・値段・出来高を表示します。	—
 Crosshair	カーソルを十字カーソルに変更します。	
 Vertical Line	垂直線をチャートに挿入できます。	
 Horizontal Line	水平線をチャートに挿入できます。	
 Trendline	トレンドラインをチャートに挿入できます。	→P.29
 Equidistant Channel	等距離幅チャネルをチャートに挿入できます。	
 Fibonacci Retracement	フィボナッチリトレースメントをチャートに挿入できます。	→P.30
 Text	テキストをチャートに挿入できます。	→P.31
 Text Label	テキストラベルをチャートの背景に貼り付けられます。	
 Arrows	矢印などをチャートに挿入できます。	

周期設定ツールバー			参照
M1	1 Minutes	1分足に切り替えます。	➔P.26
M5	5 Minutes	5分足に切り替えます。	
M15	15 Minutes	15分足に切り替えます。	
M30	30 Minutes	30分足に切り替えます。	
H1	1 Hour	1時間足に切り替えます。	
H4	4 Hours	4時間足に切り替えます。	
D1	Daily	日足に切り替えます。	
W1	Weekly	週足に切り替えます。	
MN	Monthly	月足に切り替えます。	

用語索引

EA の最適化, 41

EA ファイル, 36

EMA, 28

Expert Advisor, 36

LiveUpdate, 7

MetaEditor, 45

OCO, 20

SMA, 27

アラーム設定, 24

イフダン (If Done) 注文, 17

イフダン OCO 注文, 17

インストール, 6

お問い合わせ, 53

カスタムインディケーター, 45

逆指値注文, 15

クイック入金, 48

罫線分析ツール, 27

決済注文, 19

口座履歴, 24

指値注文, 15

自動売買, 36, 43

出金依頼, 50

スワップポイント, 13

操作履歴, 24

損益のしくみ, 13

損切り価格, 20

チャート, 26

チャートの組表示, 32

通貨ペア, 25

定型, 33

テキスト, 31

テクニカルインディケーター, 27, 45

デモ口座, 8

等距離幅チャネル, 29

登録情報, 51

取引タブ, 23

トレイリング・ストップ, 18

トレンドライン, 29

成行注文, 14

バックテスト機能, 37

フィボナッチリトレースメント, 30

ポジション, 13

マイアカウント, 47

メールボックス, 24

ライブ口座, 8, 46

利食い価格, 20

リサーチ, 52

ログイン, 9

MetaTrader 4ショートカットキー一覧

キー	機能
—	チャートを縮小(ズーム・アウト)します。
+	チャートを拡大(ズーム・イン)します。
→	チャートを右にスクロールします。
←	チャートを左にスクロールします。
↑	チャートを左に早くスクロールします。 (固定している場合は上にスクロールします。)
↓	チャートを右に早くスクロールします。 (固定している場合は下にスクロールします。)
Home	チャートの一番古い場所に移動します。
End	チャートの一番新しい場所に移動します。
Page Up	チャートを左に速くスクロールします。
Page Down	チャートを右に速くスクロールします。
F1	MetaTrader 4のUserguideを表示します。
F2	ヒストリー・センターを表示します。
F3	Global Variables (グローバル変数: プログラム全体で有効な変数) を表示します。
F4	Meta Editorを表示します。
F7	EA利用時にEAのプロパティーを表示します。
F8	チャートのプロパティーを表示します。
F9	注文の発注を表示します。
F10	気配値をポップアップ表示します。
F11	チャートをフルスクリーン表示します。
F12	チャートを1本ずつ左に動かします。
Shift + F12	チャートを1本ずつ右に動かします。
Shift + F1	カーソルに「？」を表示し、クリックするとヘルプを表示します。

キー	機能
Alt + 1	バーチャートに切り替えます。
Alt + 2	ロウソク足に切り替えます。
Alt + 3	ラインチャートに切り替えます。
Ctrl + D	データ・ウィンドウを開きます。
Ctrl + E	自動売買を開始/停止できます。。
Ctrl + F	カーソルを十字カーソルに変更します。
Ctrl + G	グリッド線の表示/不表示を切り替えます。
Ctrl + H	チャートの左上の通貨ペア、寄付、終値、高値、安値を消します。
Ctrl + I	インディケーター利用時にインディケーターボックスを表示します。
Ctrl + L	ボリュームの表示/不表示を切り替えます。
Ctrl + M	気配値表示の表示/不表示を切り替えます。
Ctrl + N	ナビゲーターの表示/不表示を切り替えます。
Ctrl + O	[オプション]画面を表示します。
Ctrl + P	印刷画面を表示します。
Ctrl + R	Strategy Testerの表示/不表示を切り替えます。
Ctrl + S	選択したチャートをデータとして保存します。
Ctrl + T	ターミナルの表示/不表示を切り替えます。
Ctrl + W	チャートを閉じます。
Ctrl + F4	チャートを閉じます。
Ctrl + F6	表示中の別のチャートを選択します。



ゲインキャピタル・ジャパン株式会社

〒103-0022

東京都中央区日本橋室町4-4-10 東短室町ビル3階

フリーダイヤル: 0120-288-168

FAX: 03-5205-6162

金融商品取引業: 関東財務局長(金商)第291号

加入協会: 一般社団法人 金融先物取引業協会 会員番号1539

HP: <https://www.forex.com/jp/>